

浪江町 住民意向調査 報告書

令和3年3月

復興庁
福島県
浪江町

浪江町 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果（主要項目）	5
2-1 現在の状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2（1））	7
2-1-2 世帯人数（問4・問7）	7
2-1-3 現在の居住自治体（問6）	8
2-1-4 現在の住居形態（問8）	8
2-2 将来の意向	9
2-2-1 浪江町への帰還意向（問9）	9
2-2-2 浪江町への帰還を決めた理由（問10）	11
2-2-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じている こと（問11）	12
2-2-4 浪江町へ帰還する場合の家族（問15）	13
2-2-5 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問16）	13
2-2-6 浪江町への帰還時期（問17）	14
2-2-7 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること （問17-1）	15
2-2-8 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件 （問17-3）	16
2-2-9 浪江町への帰還を判断するために必要なこと（問19）	17
2-2-10 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・ 帰還しない理由（問18・問22）	18
2-2-11 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を 希望する自治体（問17-4・問23）	19

2-2-12	帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まい として希望する住居形態（問 17-5・問 20・問 24）	20
2-2-13	帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との 関係（問 17-6（1）・問 21（1）・問 25（1））	21
2-2-14	帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援 （問 17-6（2）・問 21（2）・問 25（2））	22
2-3	不動産の取り扱い	23
2-3-1	浪江町内に保有する家屋の利用意向（問 28）	23
2-3-2	浪江町内に保有する宅地の利用意向（問 29）	23
III	調査結果（全項目）	25
3-1	回答者の属性	27
3-1-1	性別	27
3-1-2	年齢	27
3-1-3	現在の職業（就業形態）	28
3-1-4	現在の業種	29
3-1-5	今後の就業意向	30
3-1-6	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業 （就業形態）	30
3-1-7	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種	31
3-2	東日本大震災発生時の状況	32
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	32
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	32
3-2-3	震災発生当時の住居形態	33
3-3	現在の状況	34
3-3-1	現在の居住自治体	34
3-3-2	現在の世帯構成・人数	35
3-3-3	現在の住居形態	36
3-4	将来の意向	37
3-4-1	浪江町への帰還意向	37
3-4-2	浪江町への帰還を決めた理由	41
3-4-3	浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること	42
3-4-4	浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること の具体的な内容	43
3-4-5	浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕	44
3-4-6	浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕	44
3-4-7	回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由	45
3-4-8	浪江町へ帰還する場合の家族	46

3-4-9	浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数	47
3-4-10	浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態	47
3-4-11	浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由	48
3-4-12	浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区	48
3-4-13	浪江町への帰還時期	49
3-4-14	浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること	50
3-4-15	浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと	51
3-4-16	浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件	52
3-4-17	浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体	53
3-4-18	浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態	53
3-4-19	浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係	54
3-4-20	浪江町に帰還するまでの間に必要な支援	54
3-4-21	浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由	55
3-4-22	浪江町への帰還を判断するために必要なこと	56
3-4-23	浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態	57
3-4-24	浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係	57
3-4-25	浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援	58
3-4-26	浪江町に帰還しない理由	59
3-4-27	浪江町へ帰還したいと思える職業（就業形態）	60
3-4-28	浪江町へ帰還したいと思える業種	61
3-4-29	浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体	62
3-4-30	浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	62
3-4-31	浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係	63
3-4-32	浪江町に帰還しない場合に必要な支援	63
3-4-33	震災発生当時の居住地域に望む将来の姿	64
3-5	復興公営住宅	66
3-5-1	福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向	66
3-5-2	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村	66
3-6	不動産の取り扱い意向	67
3-6-1	浪江町内に保有する家屋の利用意向	67
3-6-2	浪江町内に保有する宅地の利用意向	67

3-7	情報入手	68
3-7-1	浪江町に関する情報の入手経路	68
3-7-2	浪江町役場からの情報提供に対する満足度	68
3-7-3	浪江町役場から欲しい情報	69
3-8	浪江町に対する思い	70
3-8-1	浪江町への誇り・愛着を持っているか	70
3-8-2	浪江町の自慢できるところ	70
3-9	意見・要望	71
3-9-1	意見に係る記入内容の分類結果	72
3-9-2	生活について	73
3-9-3	震災発生前の居住地について	74
3-9-4	賠償について	75
3-9-5	帰還について	76
3-9-6	避難期間中及び将来の住宅について	77
3-9-7	除染について	78
3-9-8	復旧・復興について	79
3-9-9	原発の安全性について	81
3-9-10	原発事故に対する対応について	82
3-9-11	その他	83
IV	参考資料	85
4-1	使用調査票	87

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた浪江町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	浪江町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 7,434世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和2年9月14日（月）～令和2年9月28日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、浪江町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 4,359世帯（有効回収率58.6%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和2年度について述べている。
（令和元年度の結果は、参考値として掲載）

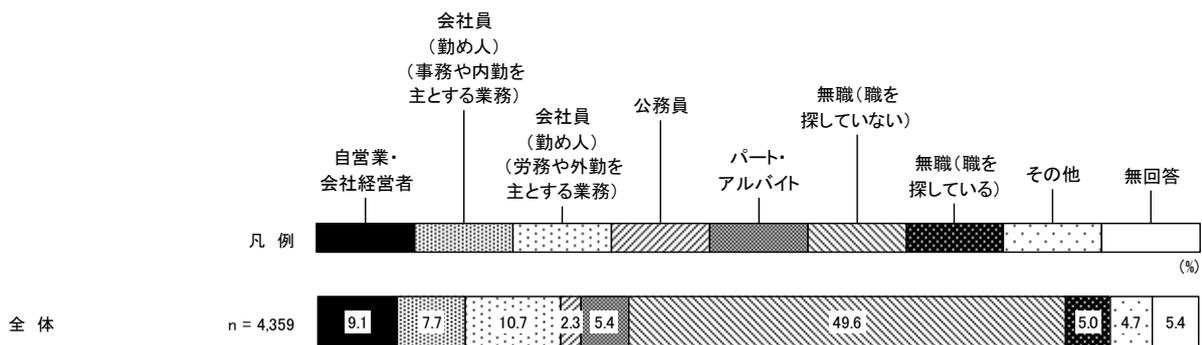
II 調查結果（主要項目）

2-1 現在の状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が10.7%と最も高く、次いで「自営業・会社経営者」が9.1%となっている。

<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>

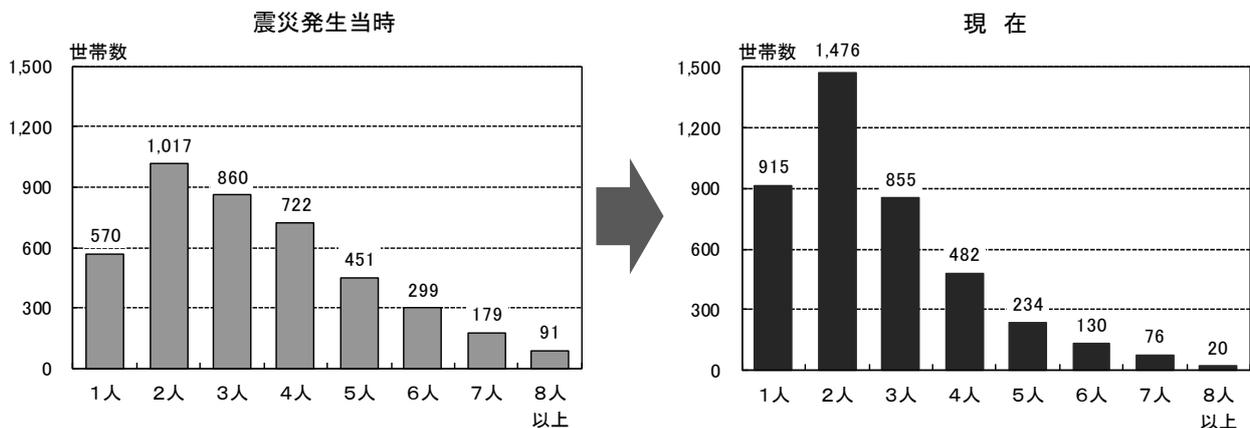


2-1-2 世帯人数（問4・問7）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が1,017世帯と最も多く、次いで「3人」が860世帯、「4人」が722世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が1,476世帯と最も多く、次いで「1人」が915世帯、「3人」が855世帯となっている。

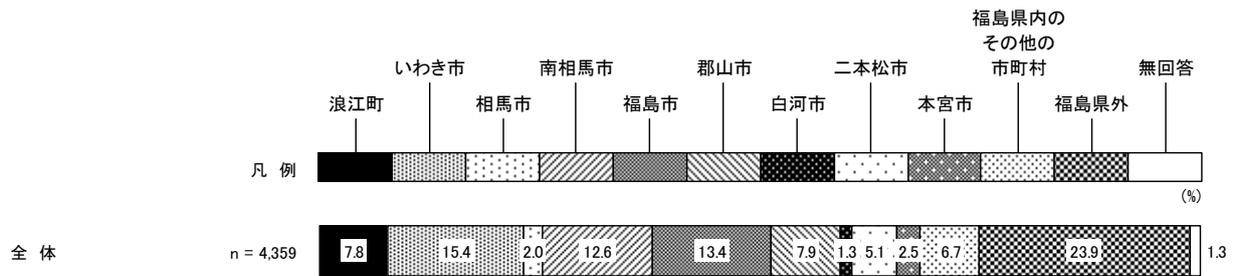
<図表2-1-2 世帯人数>



2-1-3 現在の居住自治体（問6）

現在の居住自治体については、「福島県外」が23.9%と最も高く、次いで「いわき市」が15.4%、「福島市」が13.4%となっている。

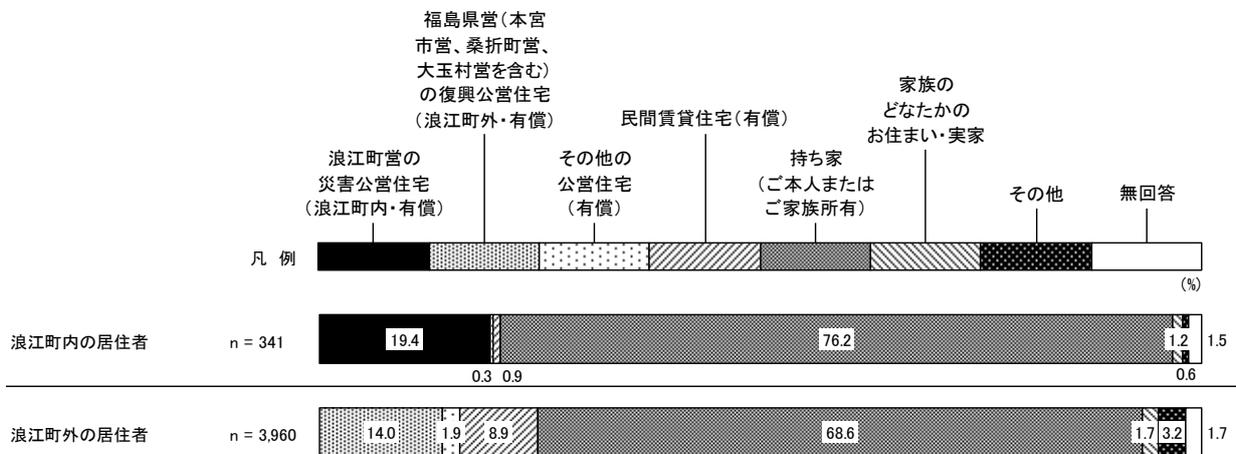
<図表2-1-3 現在の居住自治体>



2-1-4 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態について、浪江町内の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が76.2%と最も高く、次いで「浪江町営の災害公営住宅（浪江町内・有償）」が19.4%となっている。
 浪江町外の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が68.6%と最も高く、次いで「福島県営（本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む）の復興公営住宅（浪江町外・有償）」が14.0%、「民間賃貸住宅（有償）」が8.9%となっている。

<図表2-1-4 現在の住居形態（現在の居住自治体別）>



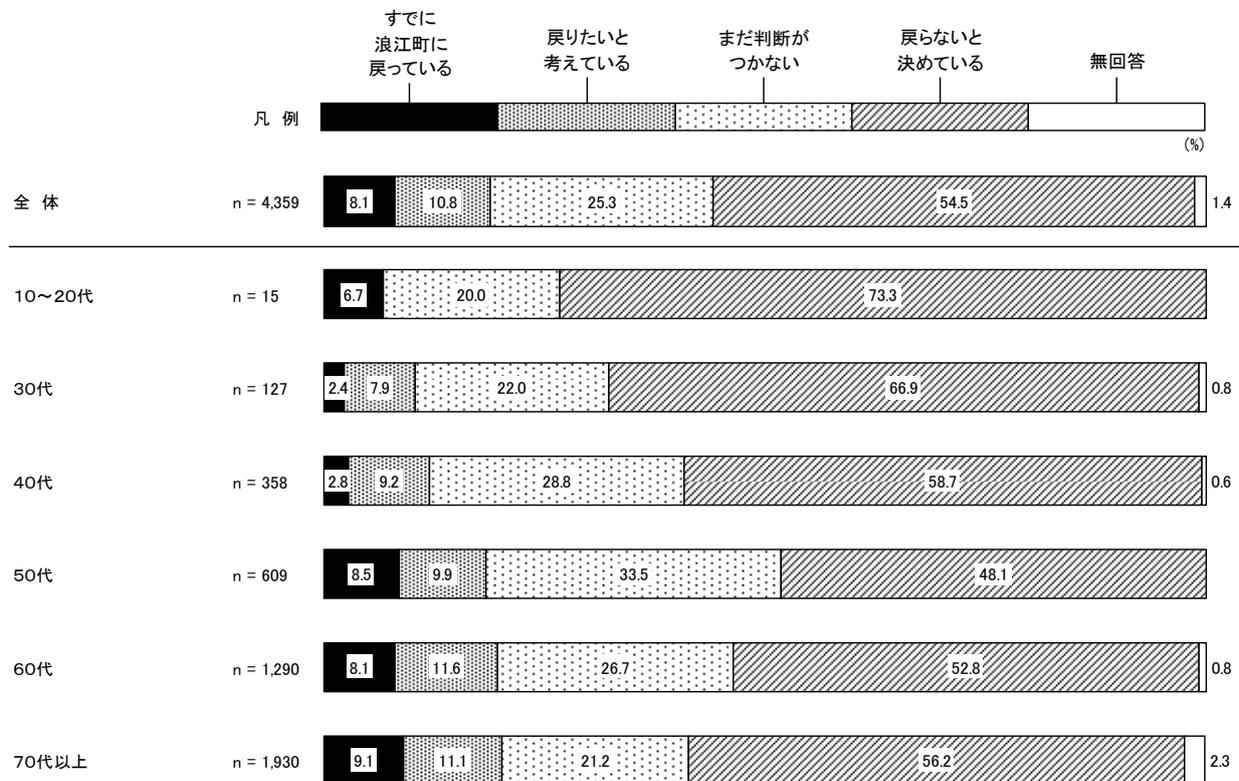
2-2 将来の意向

2-2-1 浪江町への帰還意向（問9）

浪江町への帰還意向については、「戻らないと決めている」が54.5%と最も高く、次いで「まだ判断がつかない」が25.3%、「戻りたいと考えている」が10.8%、「すでに浪江町に戻っている」が8.1%となっている。

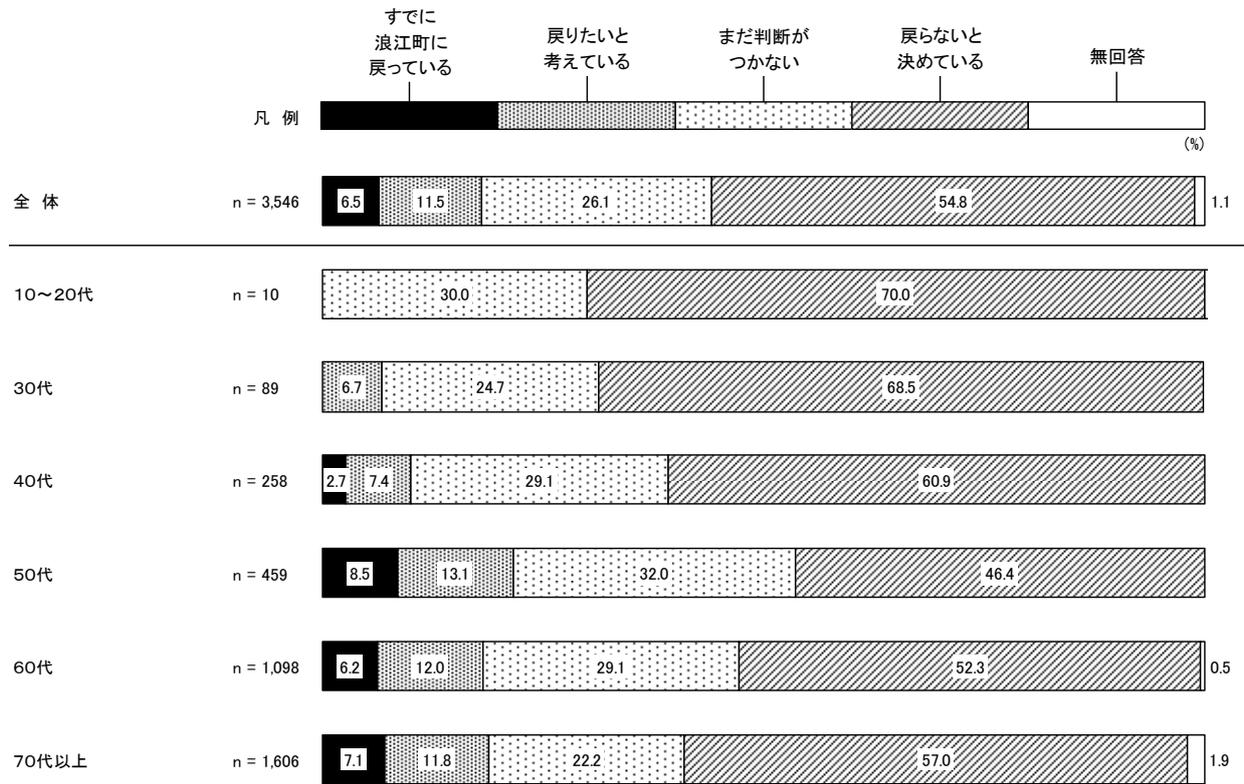
回答者の年齢別にみると、「すでに浪江町に戻っている」は高い年齢での割合が高く、50代で8.5%、60代で8.1%、70代以上で9.1%となっている。「戻りたいと考えている」についても同様に高い年齢での割合が高く、60代で11.6%、70代以上で11.1%となっている。一方、「戻らないと決めている」は30代以下の若い年齢で約7割となっている。

<図表2-2-1-1 浪江町への帰還意向：令和2年度（年齢別）>



II 調査結果（主要項目）

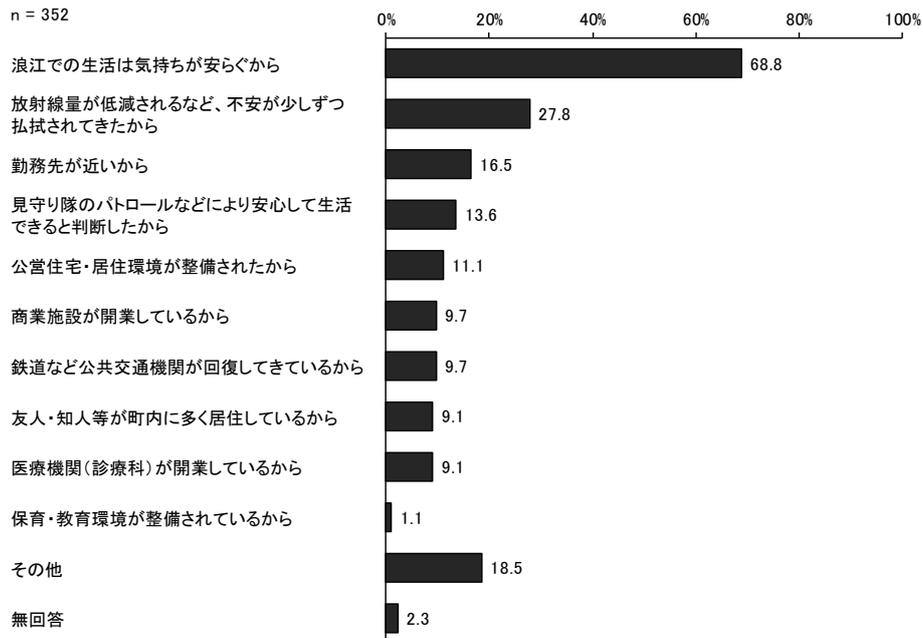
<図表2-2-1-2 浪江町への帰還意向：令和元年度（年齢別）>



2-2-2 浪江町への帰還を決めた理由（問10）

浪江町への帰還を決めた理由については、「浪江での生活は気持ちが安らぐから」が68.8%と最も高く、次いで「放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから」が27.8%、「勤務先が近いから」が16.5%となっている。

<図表2-2-2 浪江町への帰還を決めた理由>



※問9で「すでに浪江町に戻っている」と回答した方のみ

※令和2年度からの新規設問

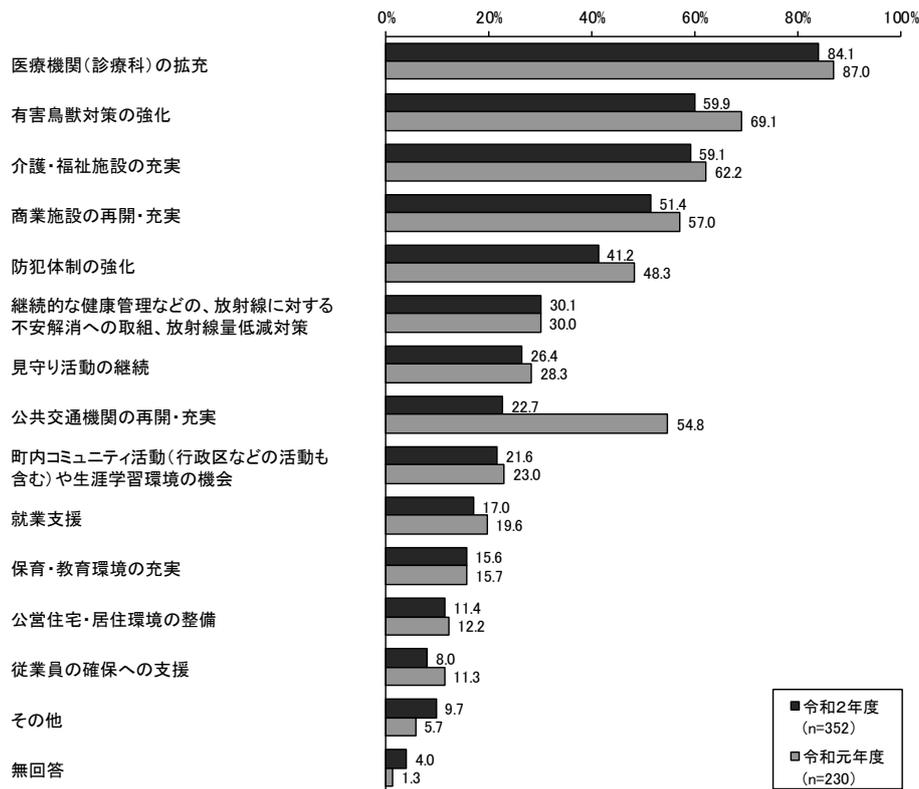
※複数回答可

II 調査結果（主要項目）

2-2-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（問11）

浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関（診療科）の拡充」が84.1%と最も高く、次いで「有害鳥獣対策の強化」が59.9%、「介護・福祉施設の充実」が59.1%となっている。

<図表2-2-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること>

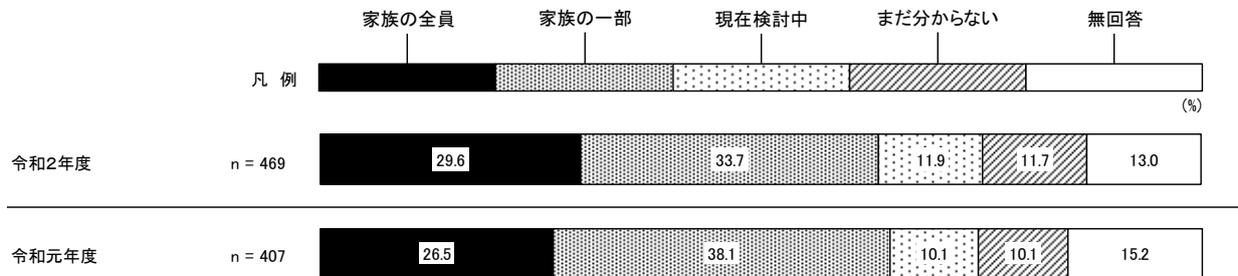


※問9で「すでに浪江町に戻っている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-4 浪江町へ帰還する場合の家族（問 15）

浪江町へ帰還する場合の家族については、「家族の一部」が33.7%と最も高く、次いで「家族の全員」が29.6%、「現在検討中」が11.9%となっている。

<図表2-2-4 浪江町へ帰還する場合の家族>

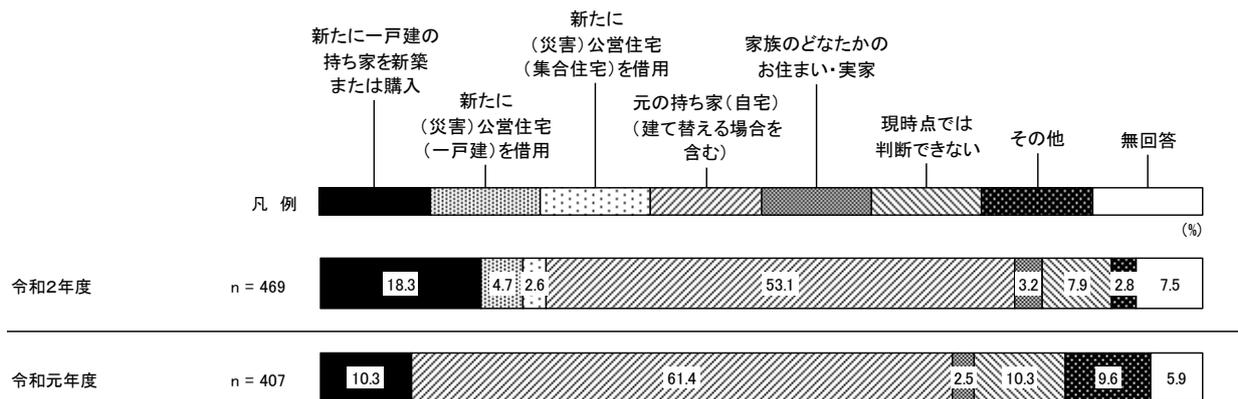


※問9で「戻りたいと考えている」と回答した方のみ

2-2-5 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問 16）

浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が53.1%と最も高く、次いで「新たに一戸建の持ち家を新築または購入」が18.3%、「現時点では判断できない」が7.9%となっている。

<図表2-2-5 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態>

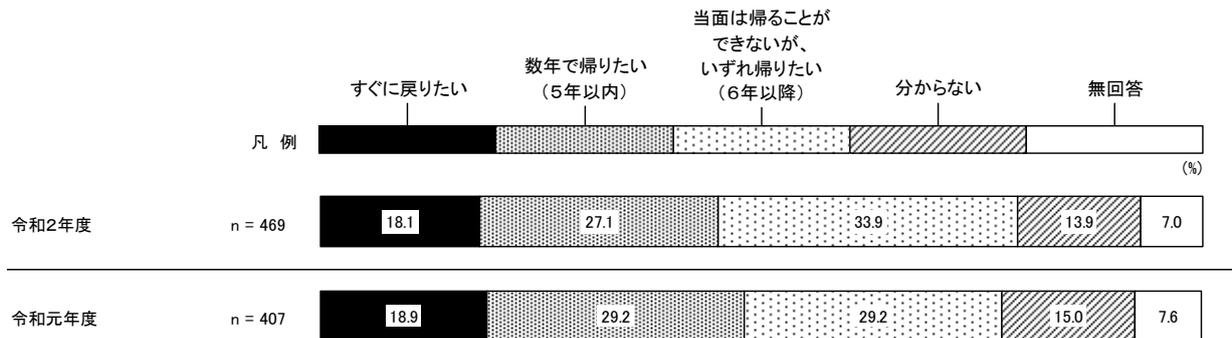


※問9で「戻りたいと考えている」と回答した方のみ

2-2-6 浪江町への帰還時期（問17）

浪江町への帰還時期については、「当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」が33.9%と最も高く、次いで「数年で帰りたい（5年以内）」が27.1%、「すぐに戻りたい」が18.1%となっている。

<図表2-2-6 浪江町への帰還時期>

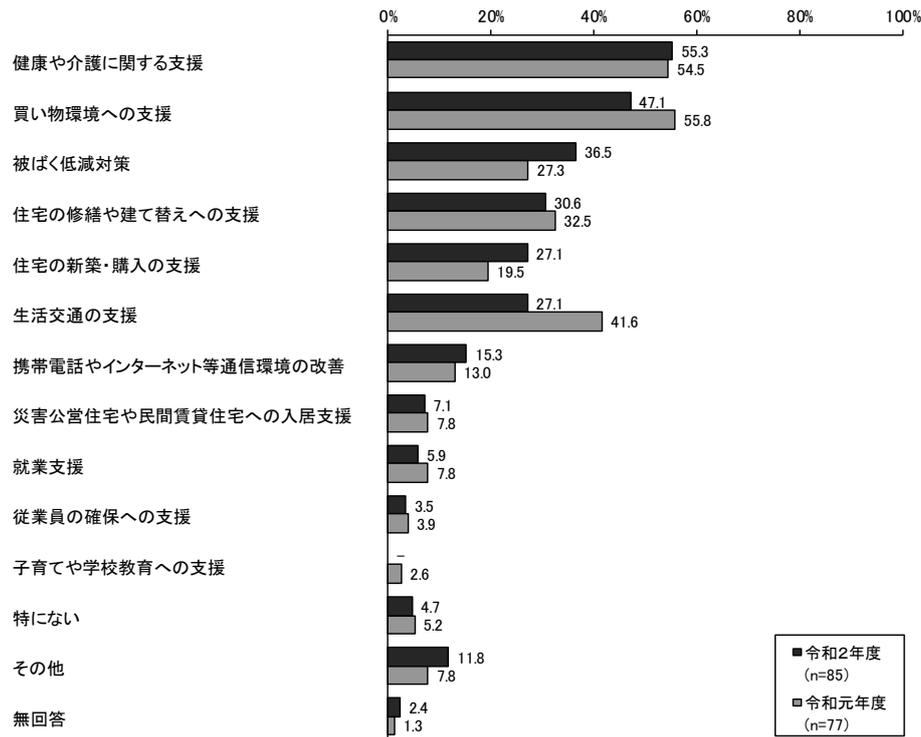


※問9で「戻りたいと考えている」と回答した方のみ

2-2-7 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること（問 17-1）

浪江町へ帰還する場合に不足していると感じることについては、「健康や介護に関する支援」が55.3%と最も高く、次いで「買い物環境への支援」が47.1%、「被ばく低減対策」が36.5%となっている。

<図表2-2-7 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>

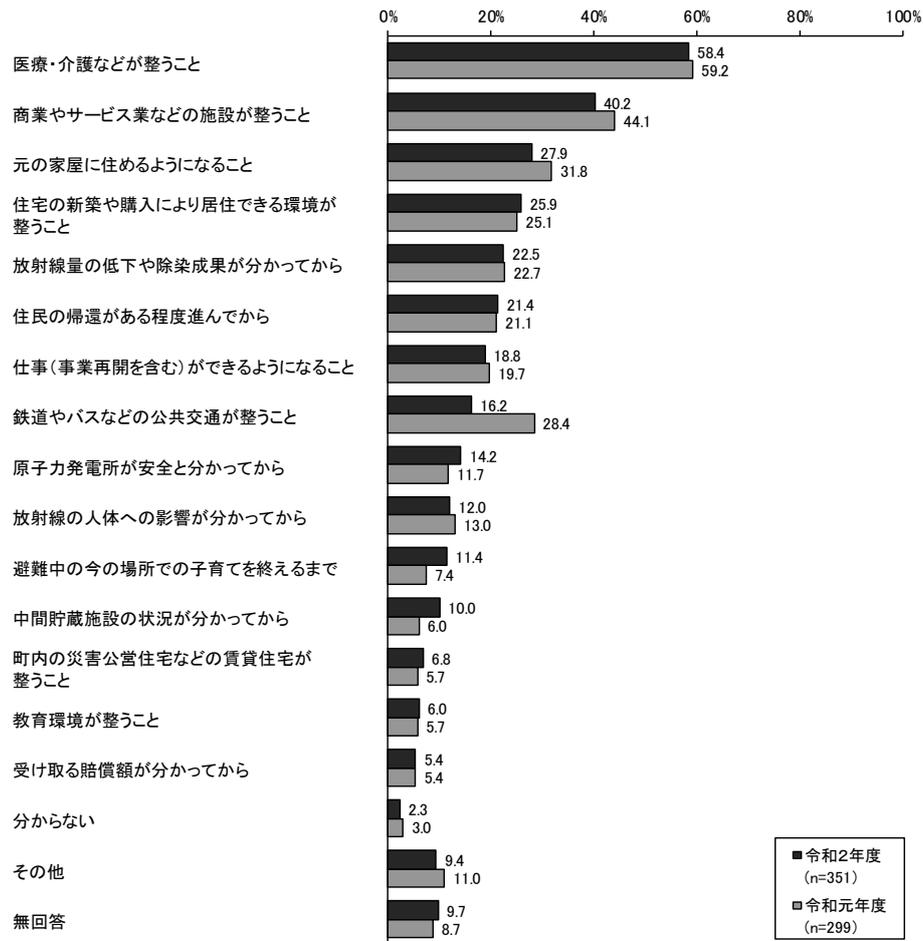


※問 17 で「すぐに戻りたい」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-8 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件（問 17-3）

浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件については、「医療・介護などが整うこと」が58.4%と最も高く、次いで「商業やサービス業などの施設が整うこと」が40.2%、「元の家屋に住めるようになること」が27.9%となっている。

<図表2-2-8 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件>



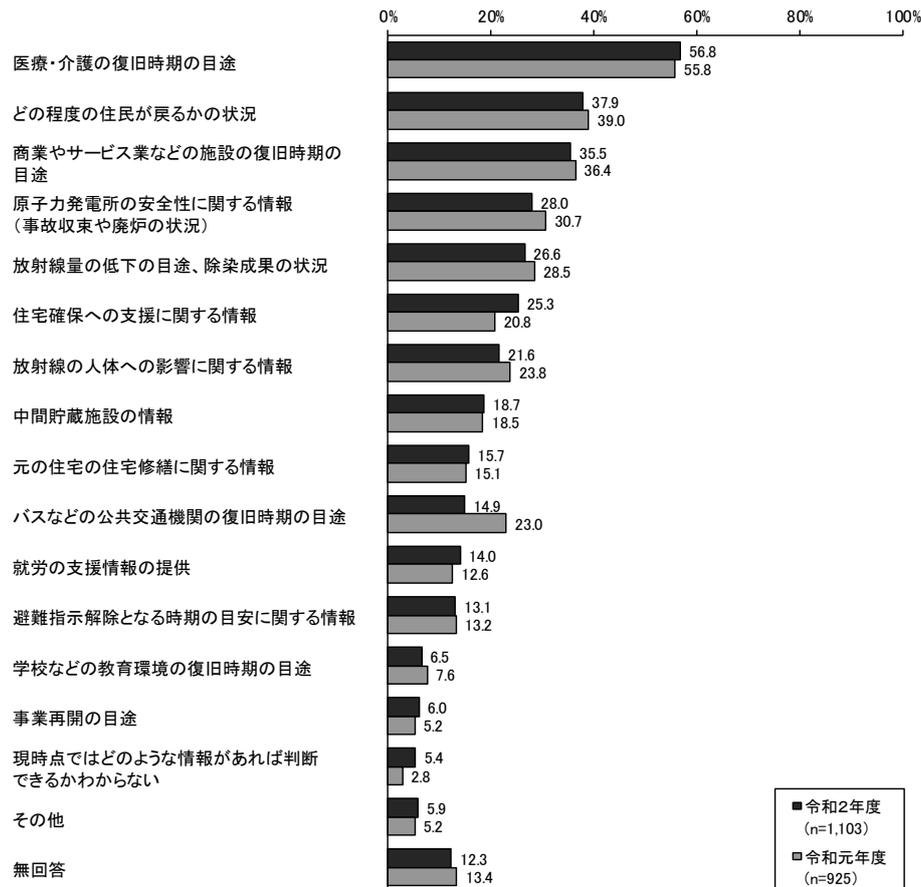
※問 17 で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-9 浪江町への帰還を判断するために必要なこと（問19）

浪江町への帰還を判断するために必要なことについては、「医療・介護の復旧時期の目途」が56.8%と最も高く、次いで「どの程度の住民が戻るかの状況」が37.9%、「商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途」が35.5%となっている。

<図表2-2-9 浪江町への帰還を判断するために必要なこと>



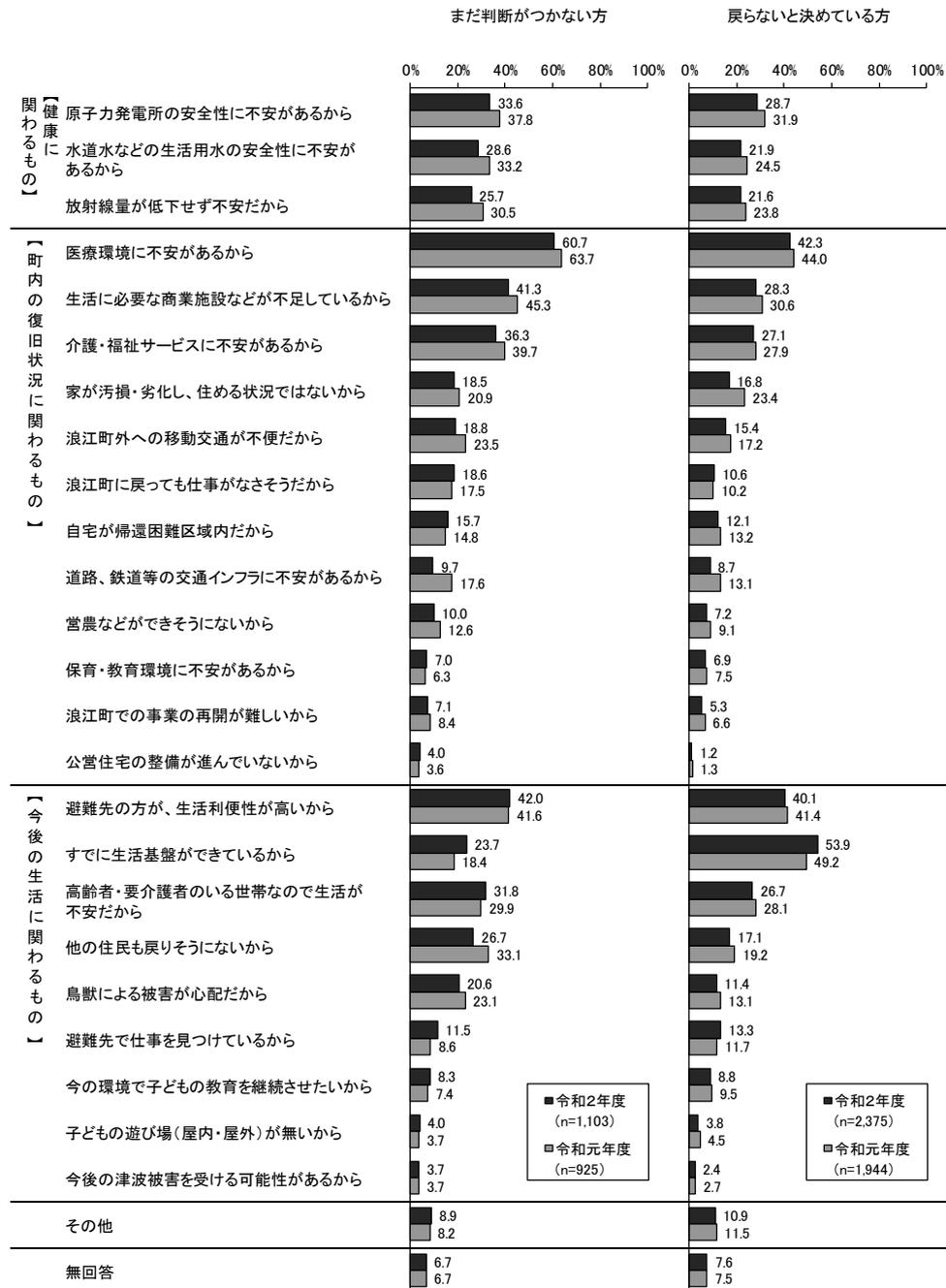
※問9で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-10 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・帰還しない理由
(問 18・問 22)

浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由は、「医療環境に不安があるから」が60.7%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が42.0%、「生活に必要な商業施設などが不足しているから」が41.3%となっている。

帰還しない理由は、「すでに生活基盤ができているから」が53.9%と最も高く、次いで「医療環境に不安があるから」が42.3%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が40.1%となっている。

<図表2-2-10 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・帰還しない理由（浪江町への帰還意向別）>



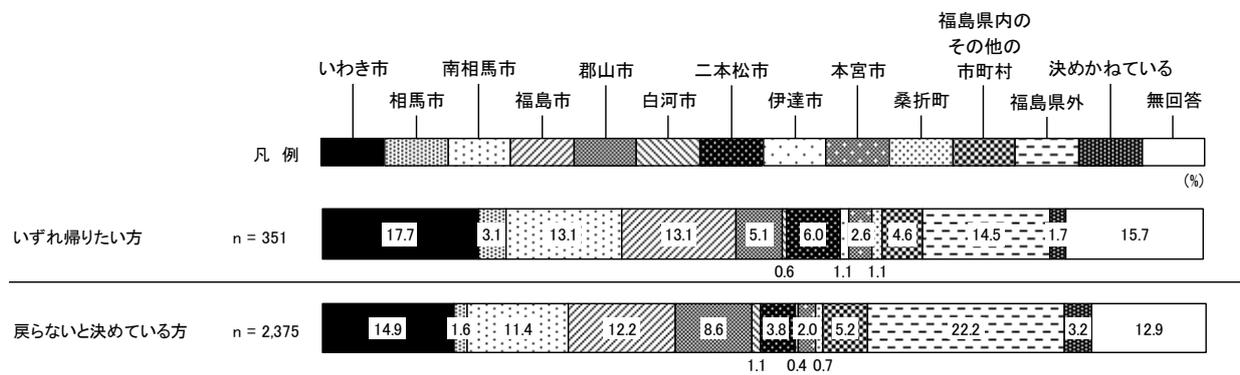
※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※複数回答可

2-2-11 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体 (問 17-4・問 23)

帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体について、いずれ帰りたい方では、「いわき市」が17.7%と最も高く、次いで「福島県外」が14.5%、「南相馬市」と「福島市」がともに13.1%となっている。

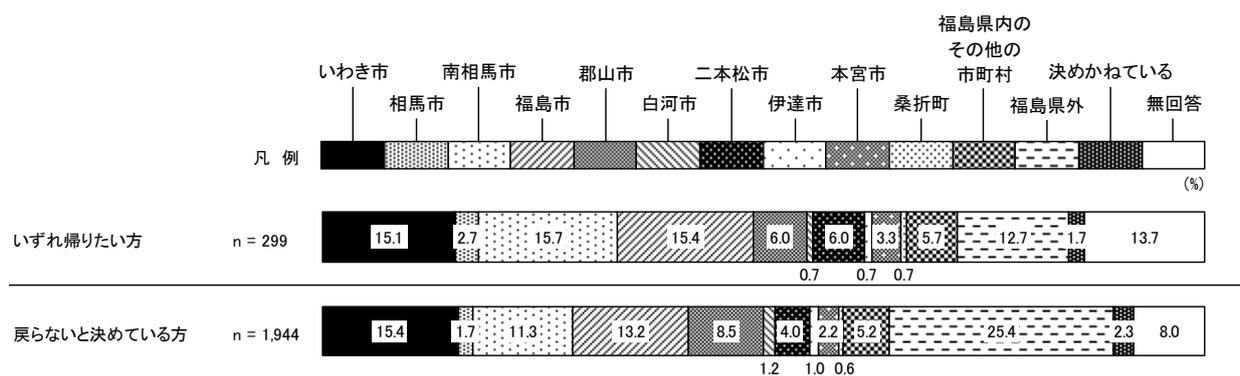
戻らないと決めている方では、「福島県外」が22.2%と最も高く、次いで「いわき市」が14.9%、「福島市」が12.2%となっている。

<図表2-2-11-1 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体：令和2年度（浪江町への帰還意向別）>



※問9で「戻らないと決めている」、問17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

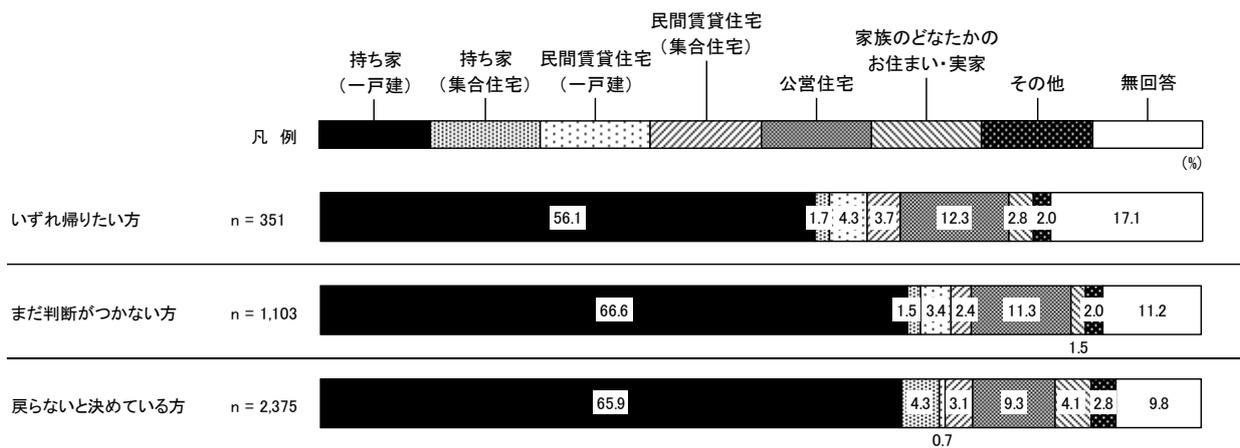
<図表2-2-11-2 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体：令和元年度（浪江町への帰還意向別）>



2-2-12 帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問 17-5・問 20・問 24）

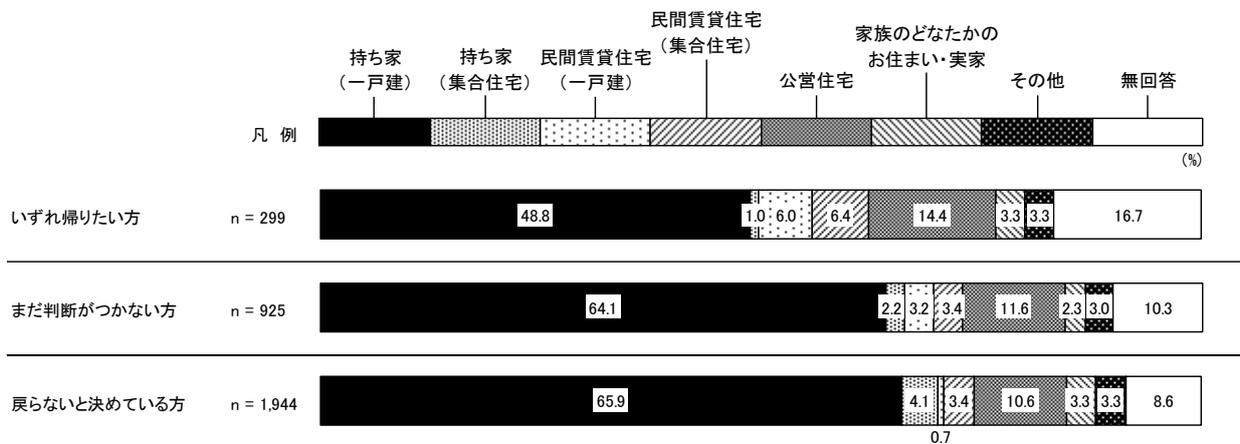
帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、どの帰還意向の方においても「持ち家（一戸建）」が6割前後と最も高く、次いで「公営住宅」が約1割となっている。

<図表2-2-12-1 帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態：令和2年度（浪江町への帰還意向別）>



※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」、問17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

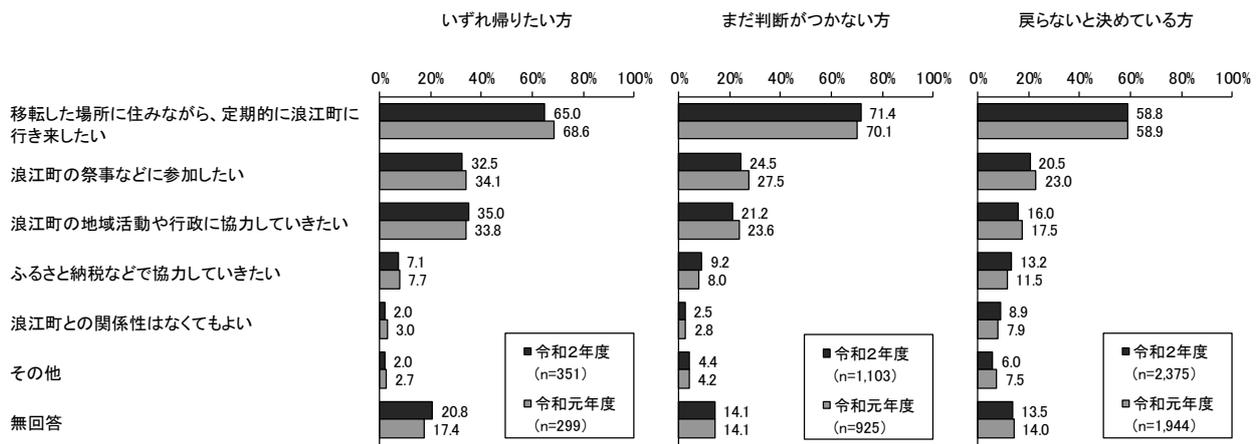
<図表2-2-12-2 帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態：令和元年度（浪江町への帰還意向別）>



2-2-13 帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係 (問 17-6 (1)・問 21 (1)・問 25 (1))

帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係については、どの帰還意向の方においても「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」が約6～7割と最も高く、次いで「浪江町の祭事などに参加したい」と「浪江町の地域活動や行政に協力していきたい」が約2～3割となっている。

<図表2-2-13 帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係（浪江町への帰還意向別）>



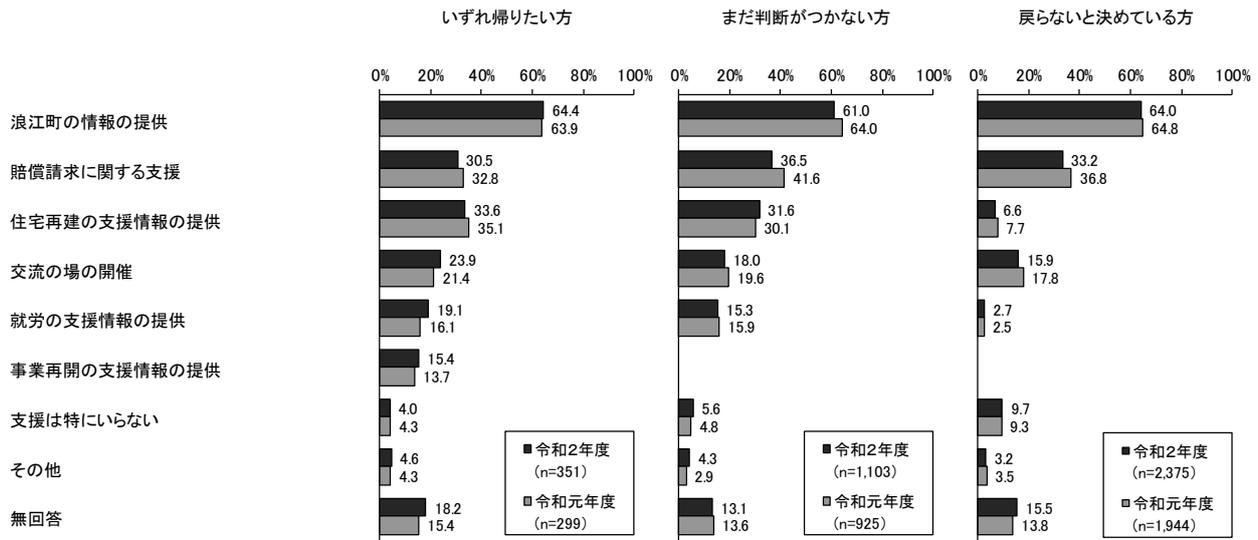
※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」、問 17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ
※複数回答可

II 調査結果（主要項目）

2-2-14 帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援 （問 17-6 (2)・問 21 (2)・問 25 (2)）

帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援については、どの帰還意向の方においても「浪江町の情報の提供」が6割以上と最も高く、「賠償請求に関する支援」が約3～4割となっている。

<図表2-2-14 帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援（浪江町への帰還意向別）>



※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」、問17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

※「事業再開の支援情報の提供」の選択肢は「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

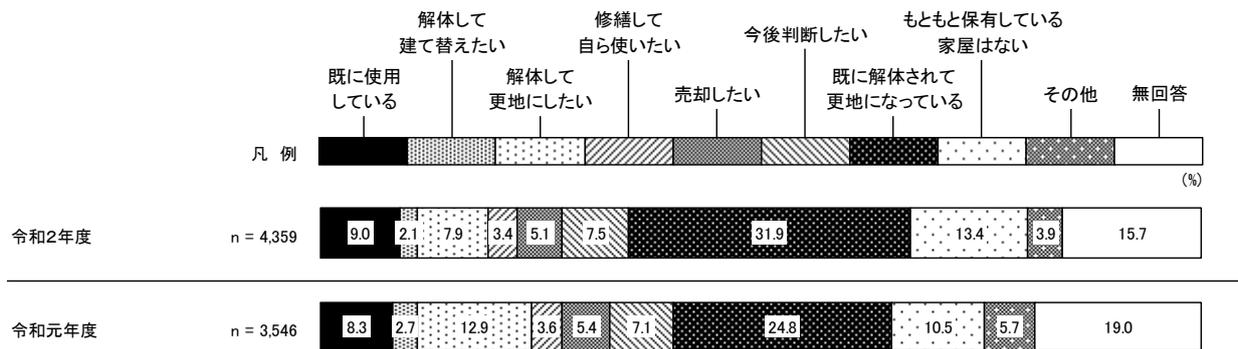
※複数回答可

2-3 不動産の取り扱い

2-3-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向（問 28）

浪江町内に保有する家屋の利用意向については、「既に解体されて更地になっている」が31.9%と最も高く、次いで「もともと保有している家屋はない」が13.4%、「既に使用している」が9.0%となっている。

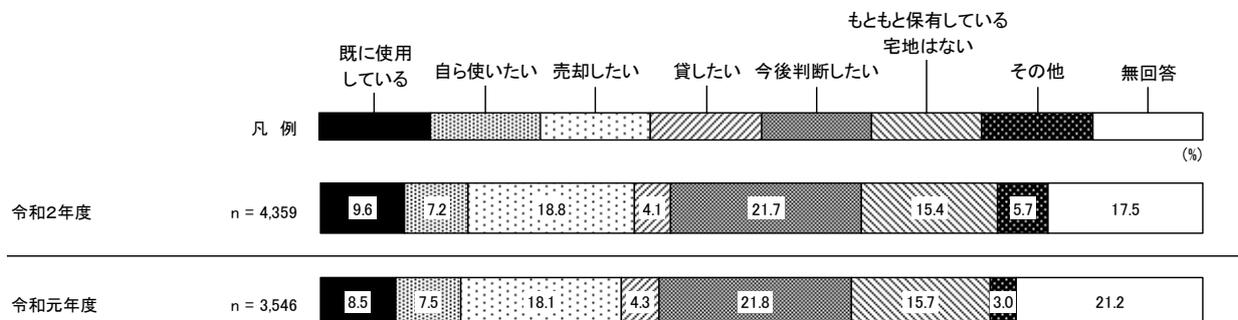
<図表2-3-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向>



2-3-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向（問 29）

浪江町内に保有する宅地の利用意向については、「今後判断したい」が21.7%と最も高く、次いで「売却したい」が18.8%、「もともと保有している宅地はない」が15.4%となっている。

<図表2-3-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向>



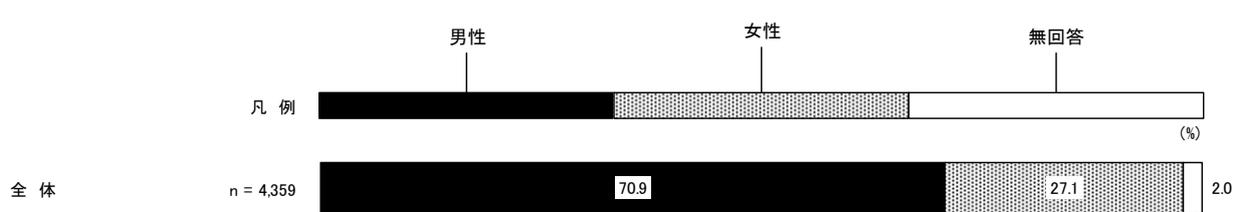
Ⅲ 調査結果（全項目）

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。
 (1) 性別（○は1つ）

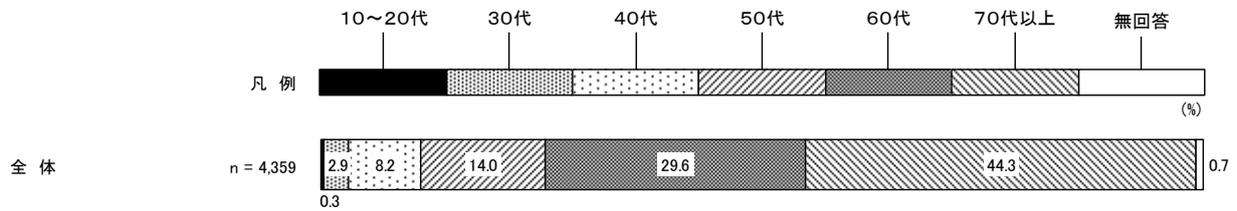
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。
 (2) 年齢（○は1つ）

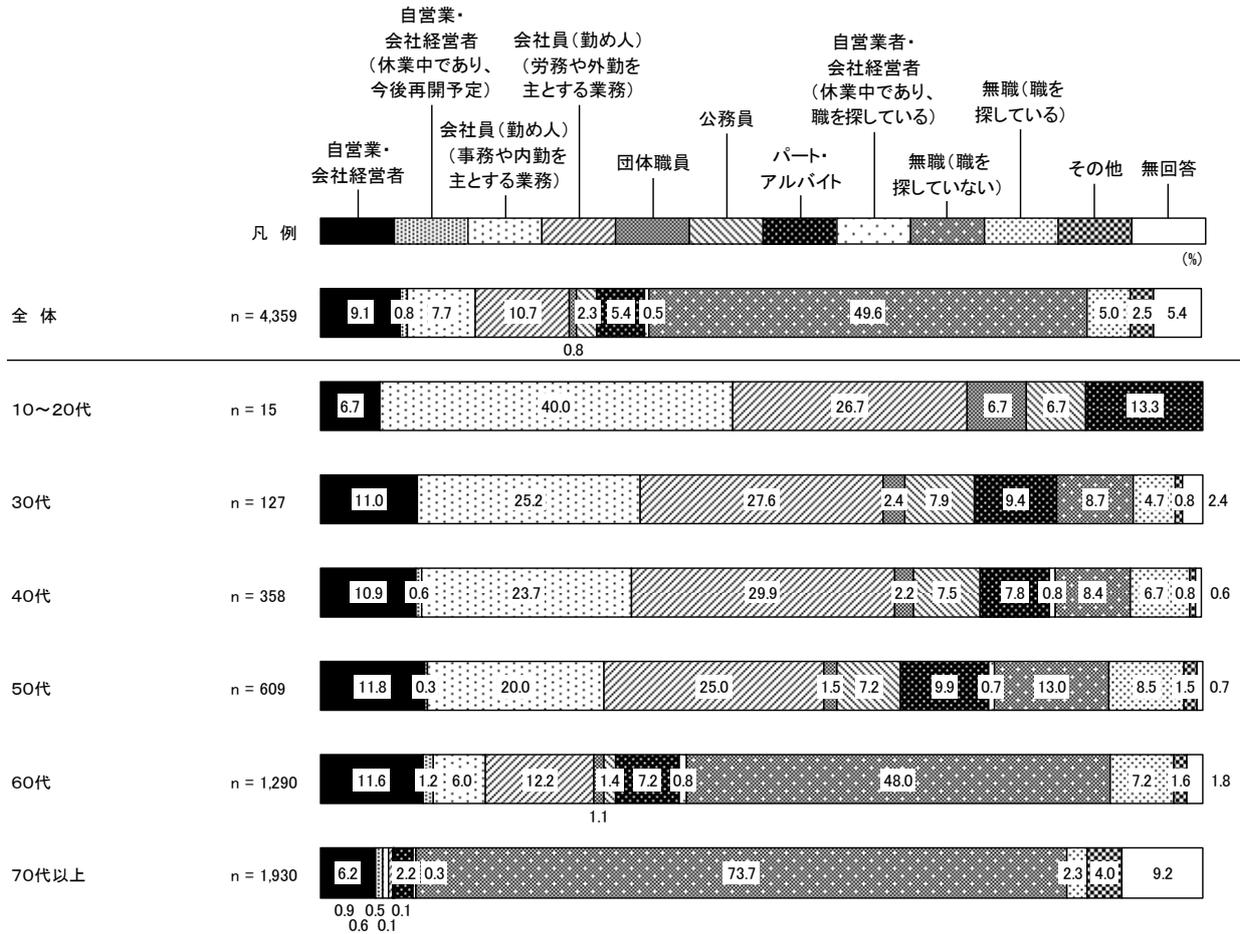
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。
 なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。
 (1) 就業形態（○は1つ）

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



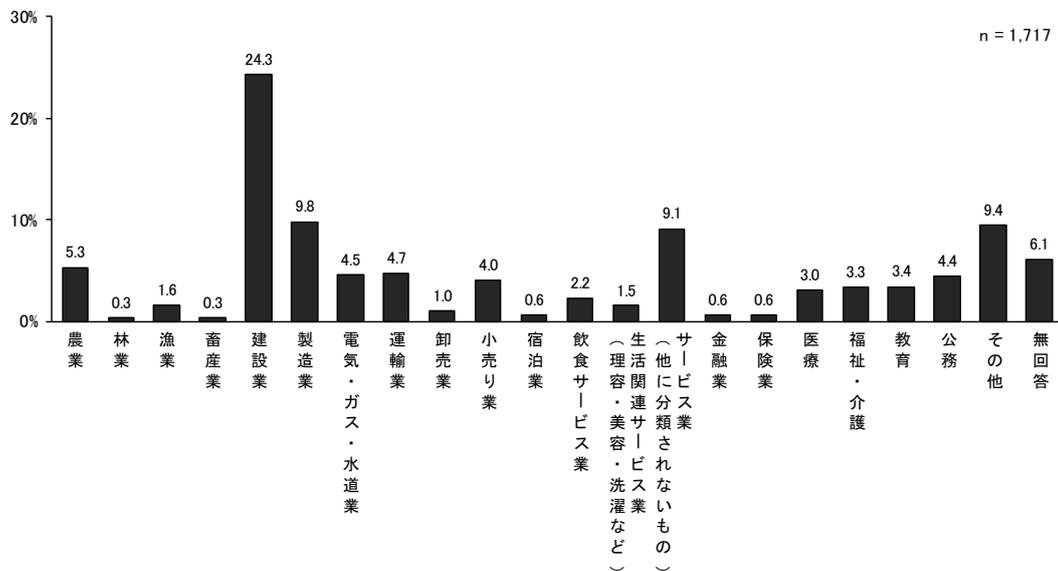
3-1-4 現在の業種

【*問2(1)で「1」～「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。
 なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。
 (2) 業種（〇は1つ）

- *問2(1) : 1. 自営業・会社経営者
 2. 自営業・会社経営者（休業中であり、今後再開予定）
 3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）
 4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）
 5. 団体職員
 6. 公務員
 7. パート・アルバイト
 11. その他

<図表3-1-4-1 現在の業種>



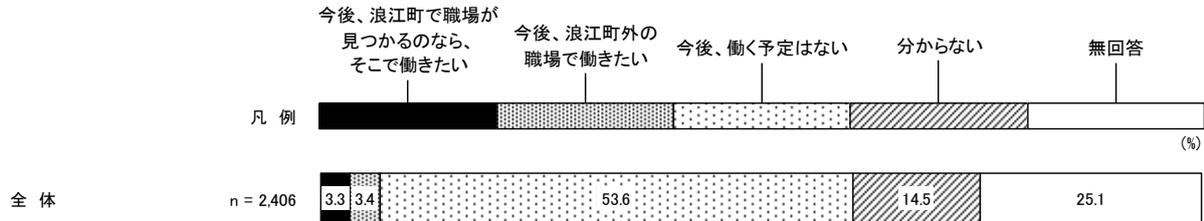
<図表3-1-4-2 現在の業種（年齢別）>

	農業	林業	漁業	畜産業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス業（理容・美容・洗濯など）	サービス業（他に分類されないもの）	金融業	保険業	医療	福祉・介護	教育	公務	その他	無回答
全体	5.3	0.3	1.6	0.3	24.3	9.8	4.5	4.7	1.0	4.0	0.6	2.2	1.5	9.1	0.6	0.6	3.0	3.3	3.4	4.4	9.4	6.1
10~20代	-	-	-	-	20.0	13.3	-	6.7	-	-	-	6.7	-	6.7	-	-	20.0	6.7	-	-	6.7	13.3
30代	0.9	-	0.9	-	19.6	15.9	7.5	4.7	0.9	7.5	-	0.9	3.7	7.5	0.9	-	7.5	3.7	4.7	6.5	5.6	0.9
40代	1.3	-	1.0	0.3	26.8	15.7	6.0	5.7	0.7	2.3	1.0	3.7	0.7	7.0	1.3	0.3	5.0	4.7	4.0	6.4	4.0	2.0
50代	1.7	0.2	1.9	0.4	23.0	12.1	5.3	5.5	1.7	3.8	0.6	1.3	1.5	10.9	0.6	0.6	1.9	3.4	5.5	5.5	9.1	3.2
60代	7.2	0.6	1.7	0.6	29.2	6.1	4.4	4.6	0.9	3.9	-	2.6	1.7	9.7	0.6	0.6	1.7	3.5	2.4	3.5	10.5	4.6
70代以上	13.9	0.4	1.8	-	16.8	4.3	1.1	2.5	0.7	5.0	1.4	1.8	1.1	8.2	-	1.1	2.5	1.1	0.7	1.4	14.6	19.6

3-1-5 今後の就業意向

【問 2 (1) で「8. 自営業者・会社経営者（休業中であり、職を探している）」「9. 無職（職を探していない）」「10. 無職（職を探している）」と回答した方にうかがいます。】
 問 2-1 今後の就業意向を教えてください。（〇は1つ）

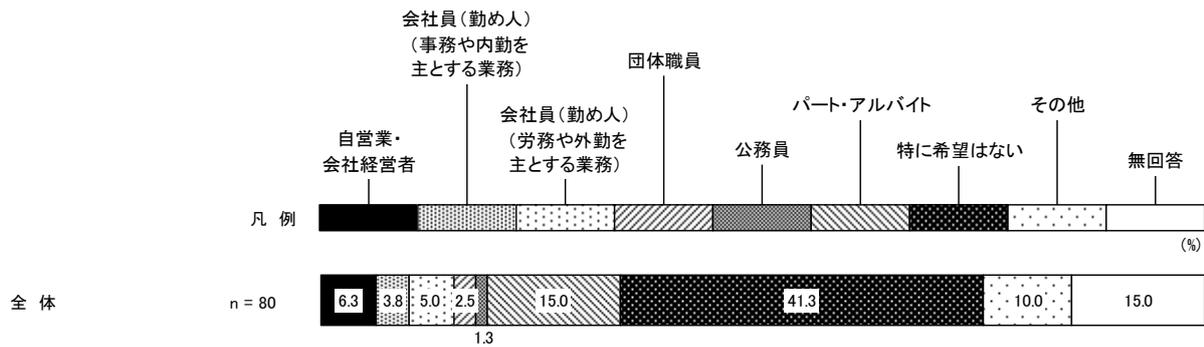
<図表3-1-5 今後の就業意向>



3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業（就業形態）

【問 2-1 で「1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】
 問 2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。
 (1) 就業形態（〇は1つ）

<図表3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業（就業形態）>



3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種

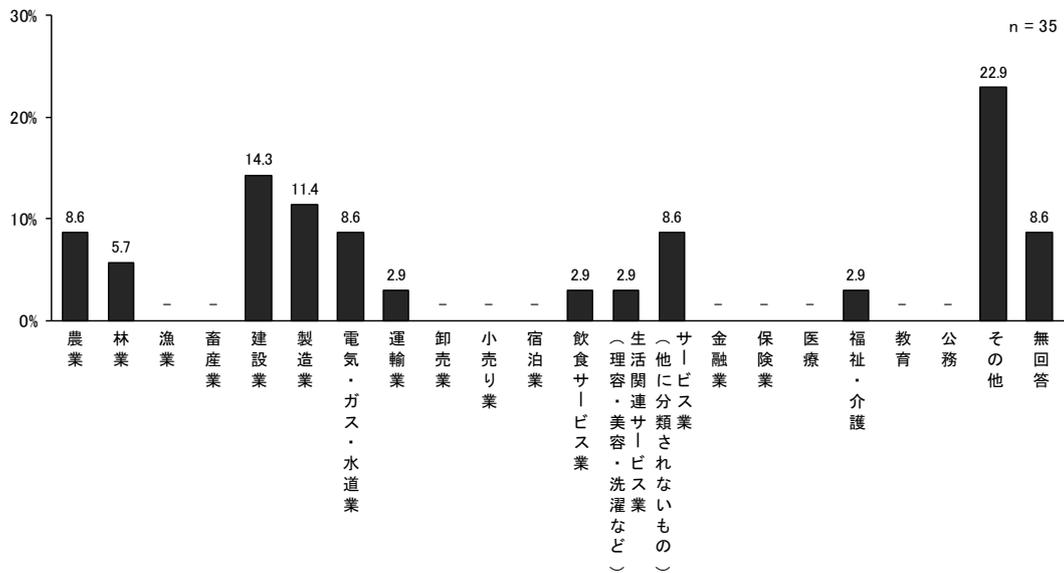
【*問 2-2 (1) で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

問 2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(2) 業種 (〇は1つ)

- *問 2-2 (1):
- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 2. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務） |
| 3. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務） | 4. 団体職員 |
| 5. 公務員 | 6. パート・アルバイト |
| 8. その他 | |

<図表 3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種>

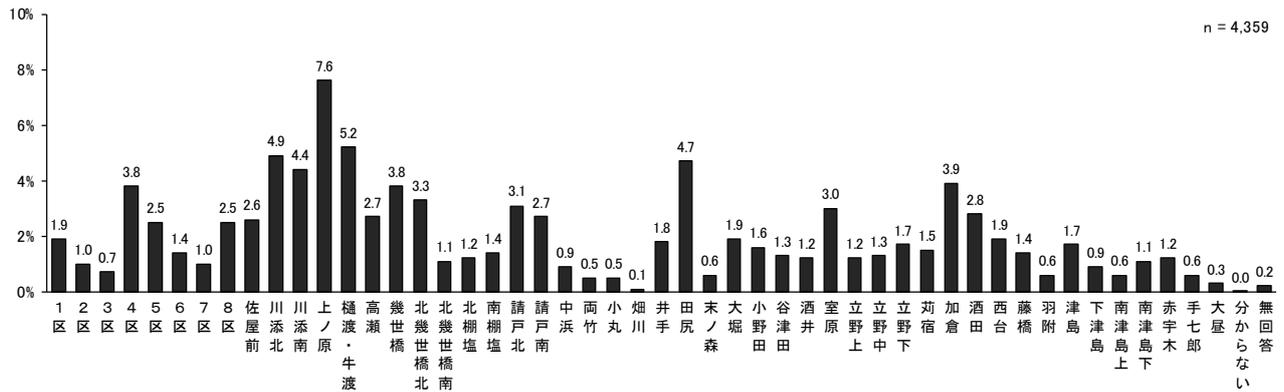


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（〇は1つ）

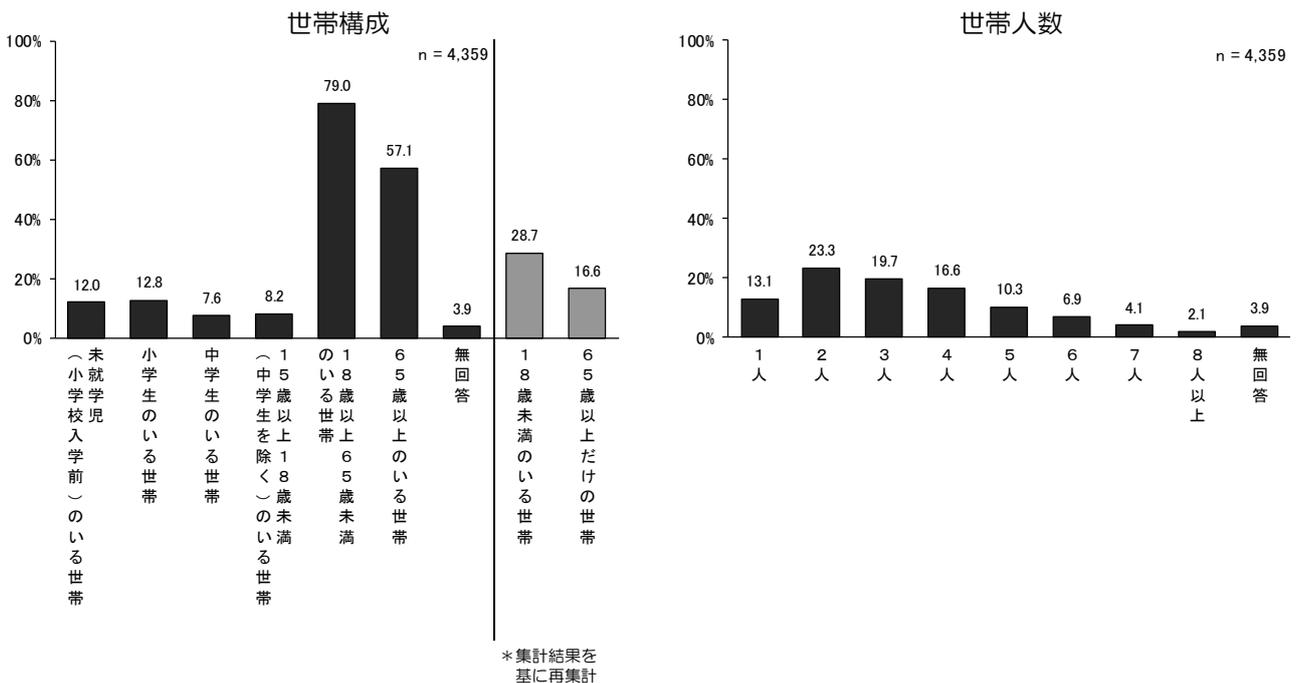
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

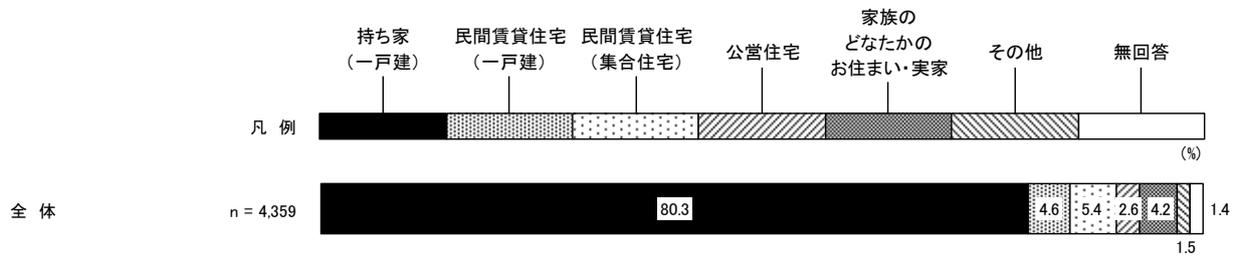
<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。（〇は1つ）

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



〔その他の内訳〕

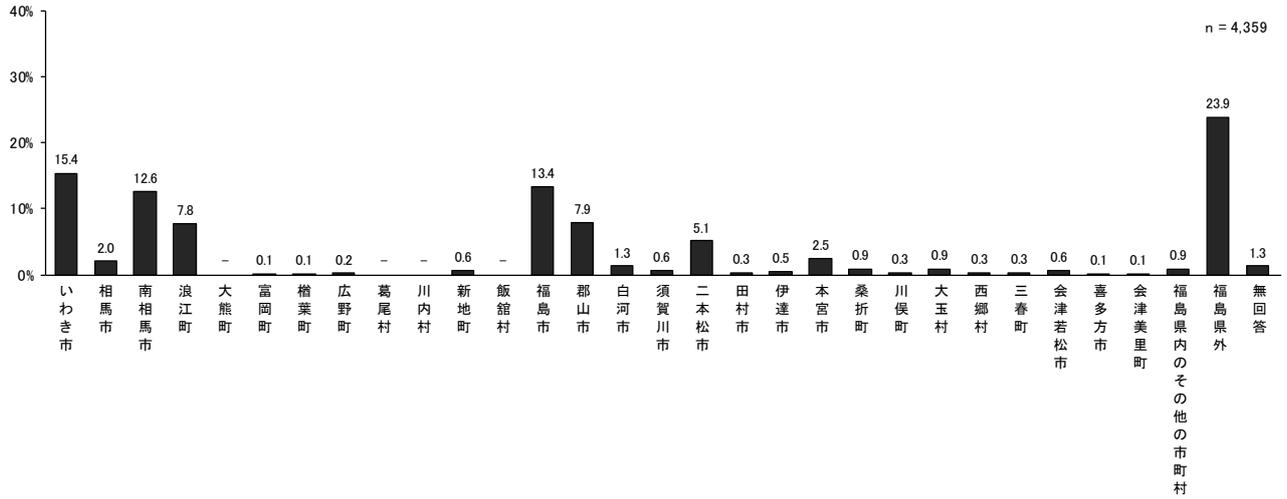
持ち家（集合住宅）	0.2%
給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.8%
親戚・知人宅	0.2%
その他	0.3%

3-3 現在の状況

3-3-1 現在の居住自治体

問6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。（〇は1つ）

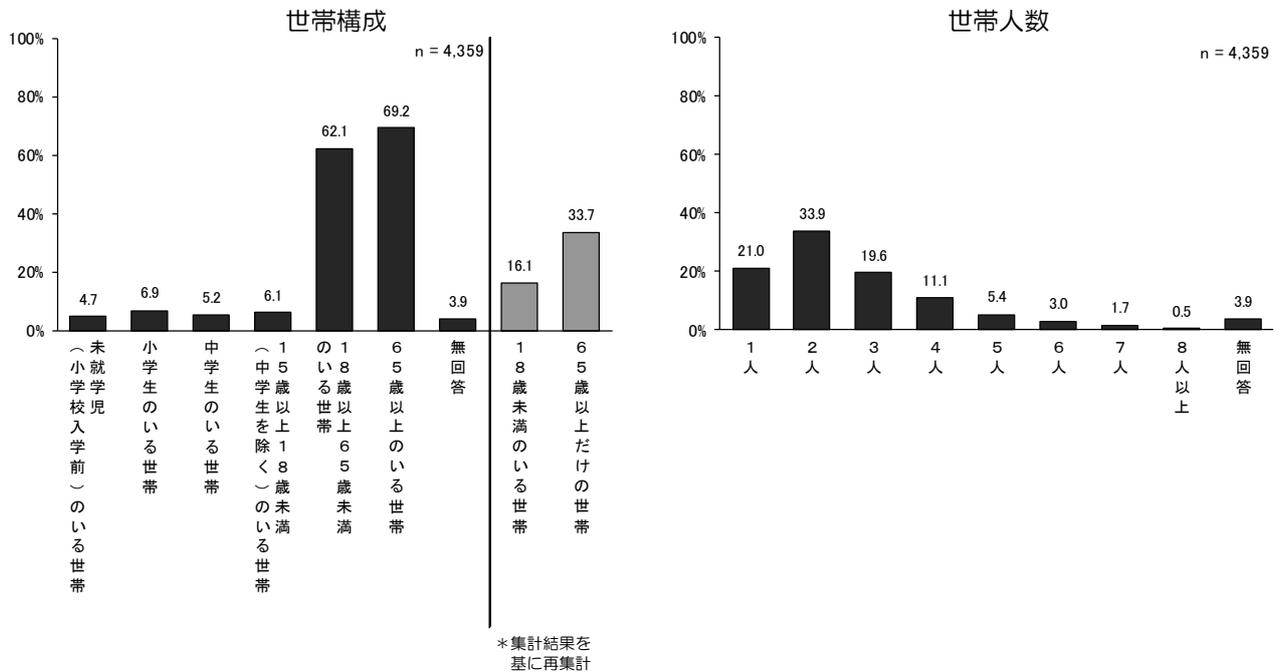
<図表3-3-1 現在の居住自治体>



3-3-2 現在の世帯構成・人数

問7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

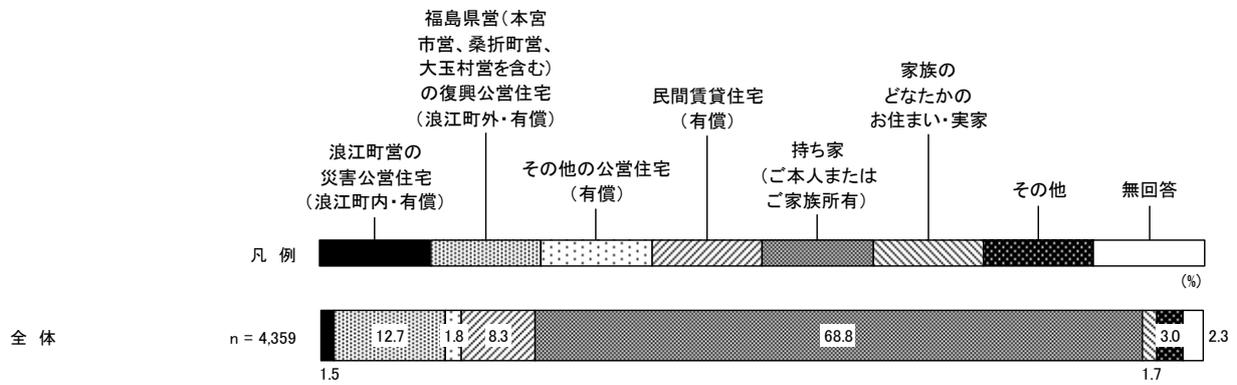
<図表3-3-2 現在の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の住居形態

問8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-3-3 現在の住居形態>



〔その他の内訳〕

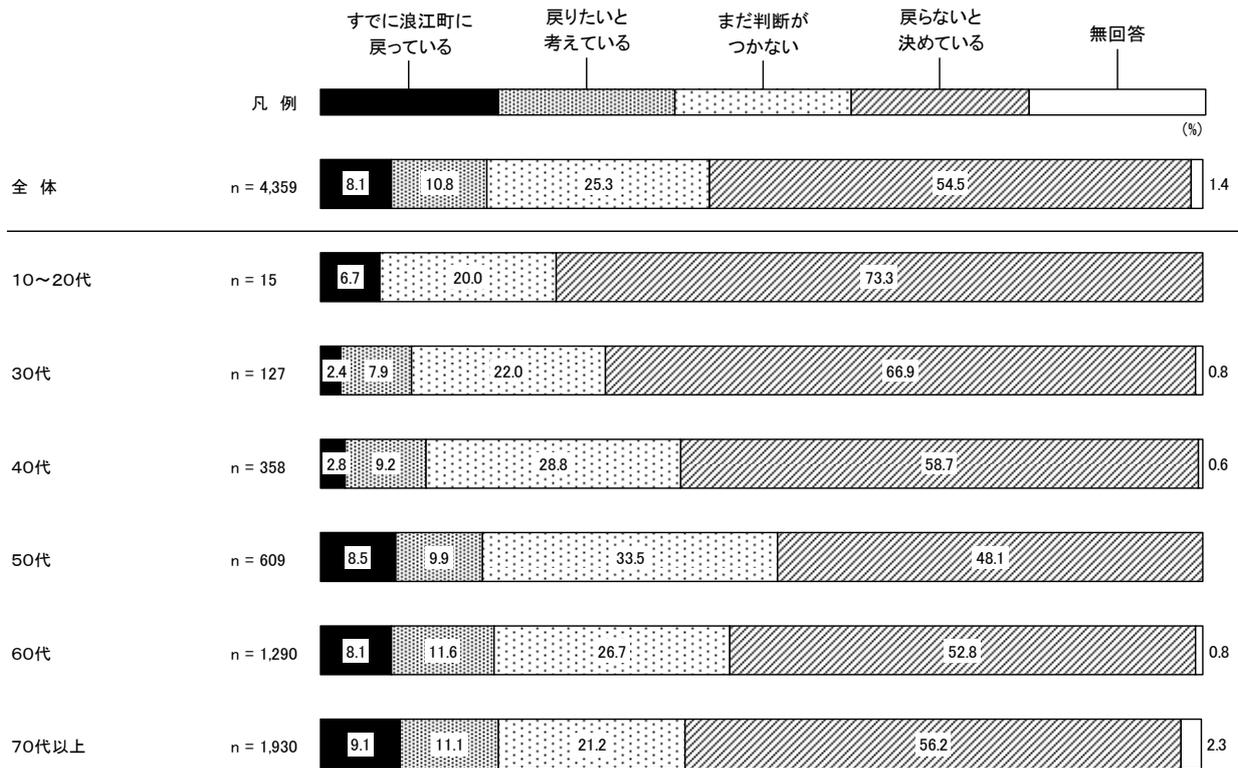
給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.6%
親戚・知人宅	0.7%
その他	1.7%

3-4 将来の意向

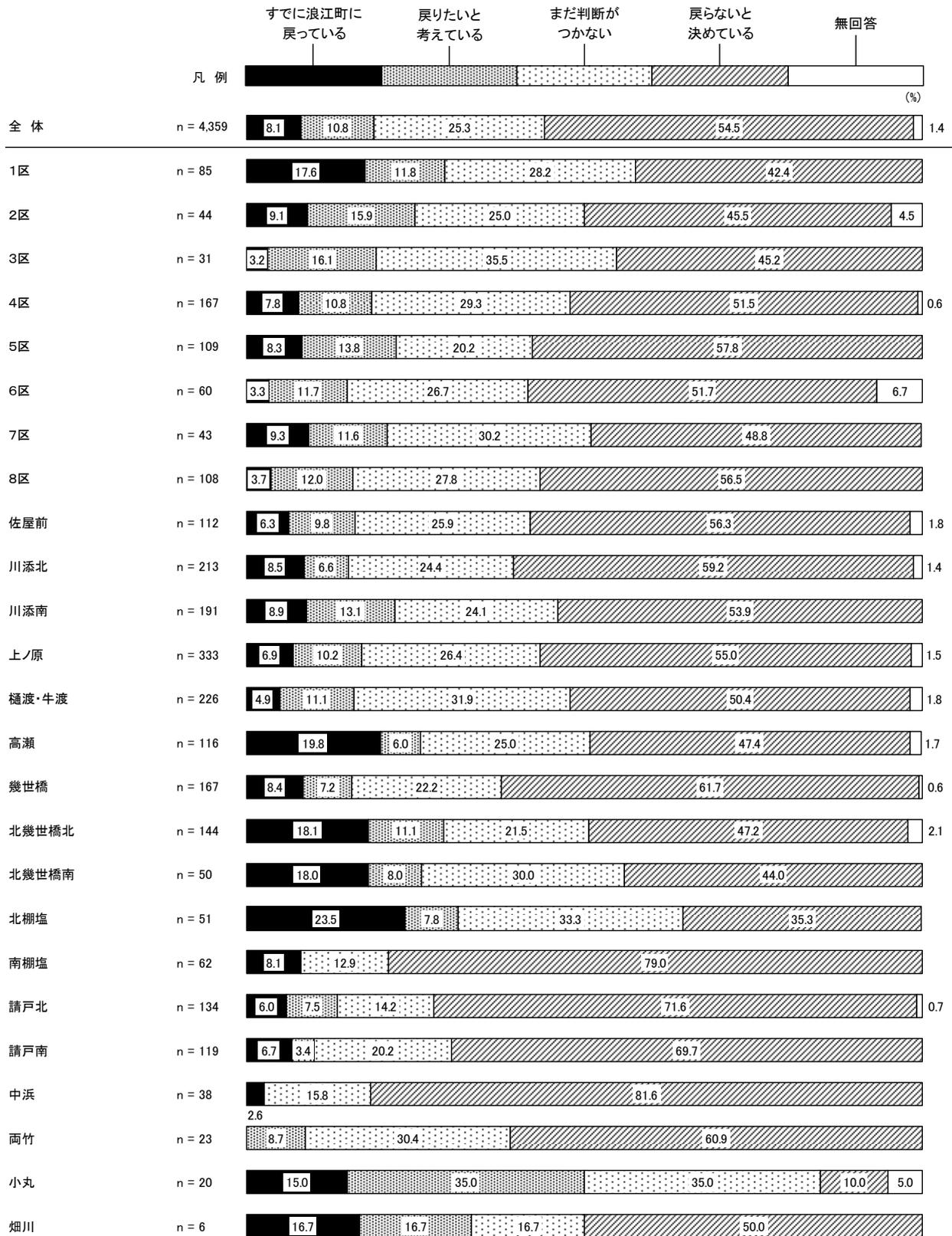
3-4-1 浪江町への帰還意向

問9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。
「1」～「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。（○は1つ）

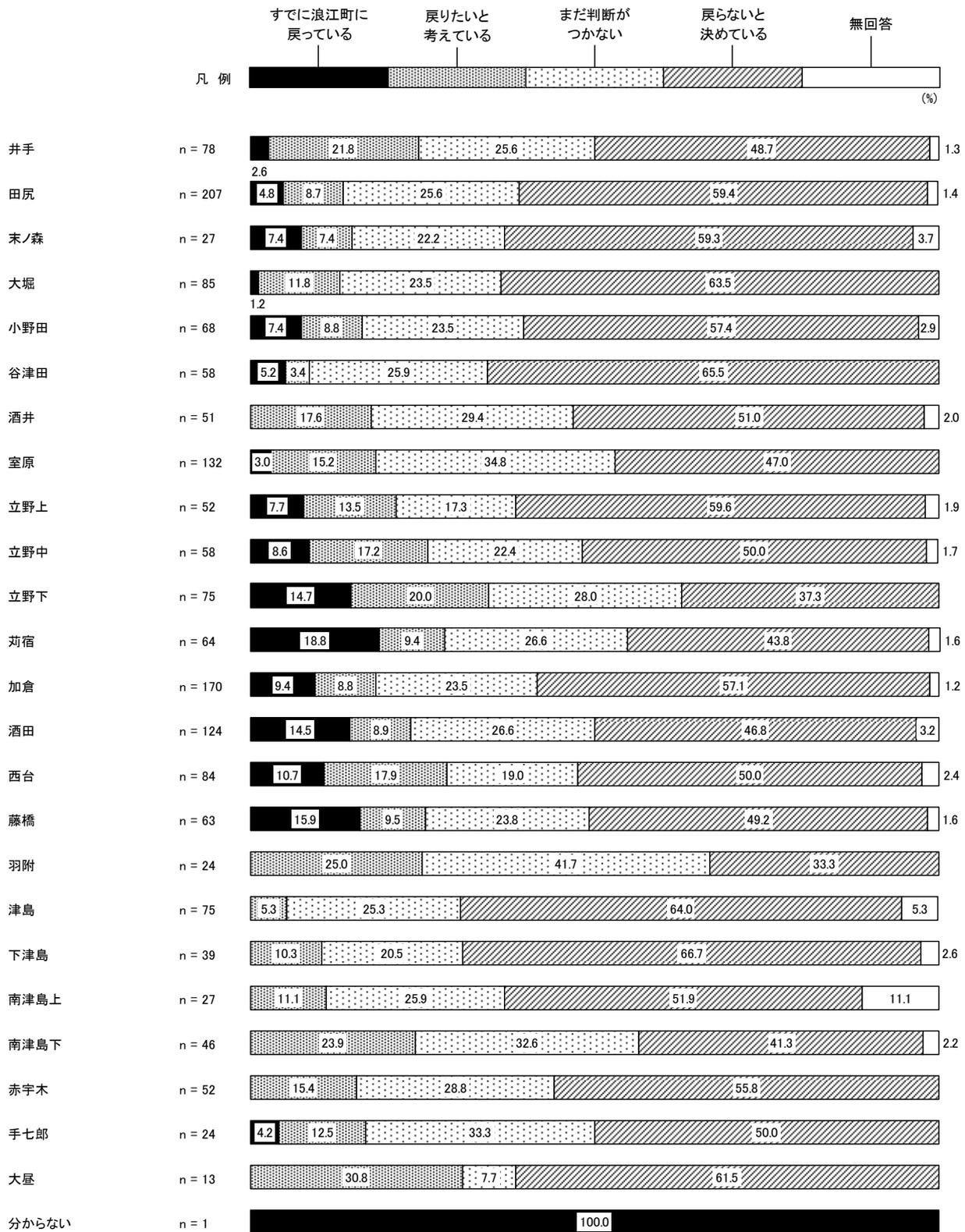
<図表3-4-1-1 浪江町への帰還意向（年齢別）>



<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>

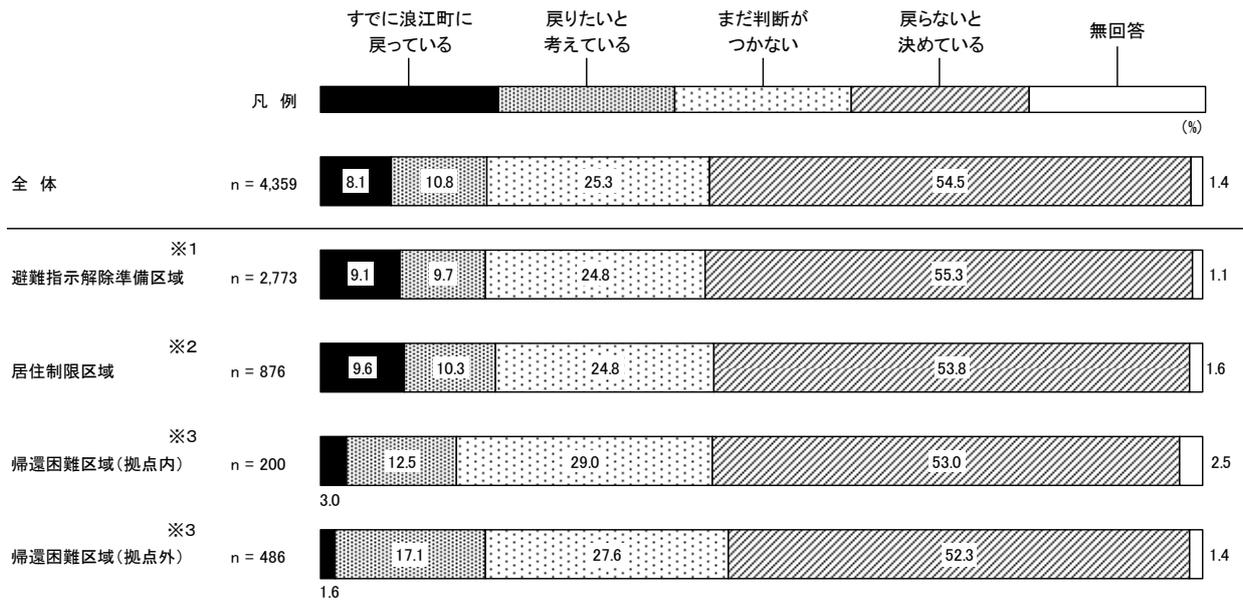


<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き>



III 調査結果（全項目）

＜図表3-4-1-3 浪江町への帰還意向（避難指示区域別）＞

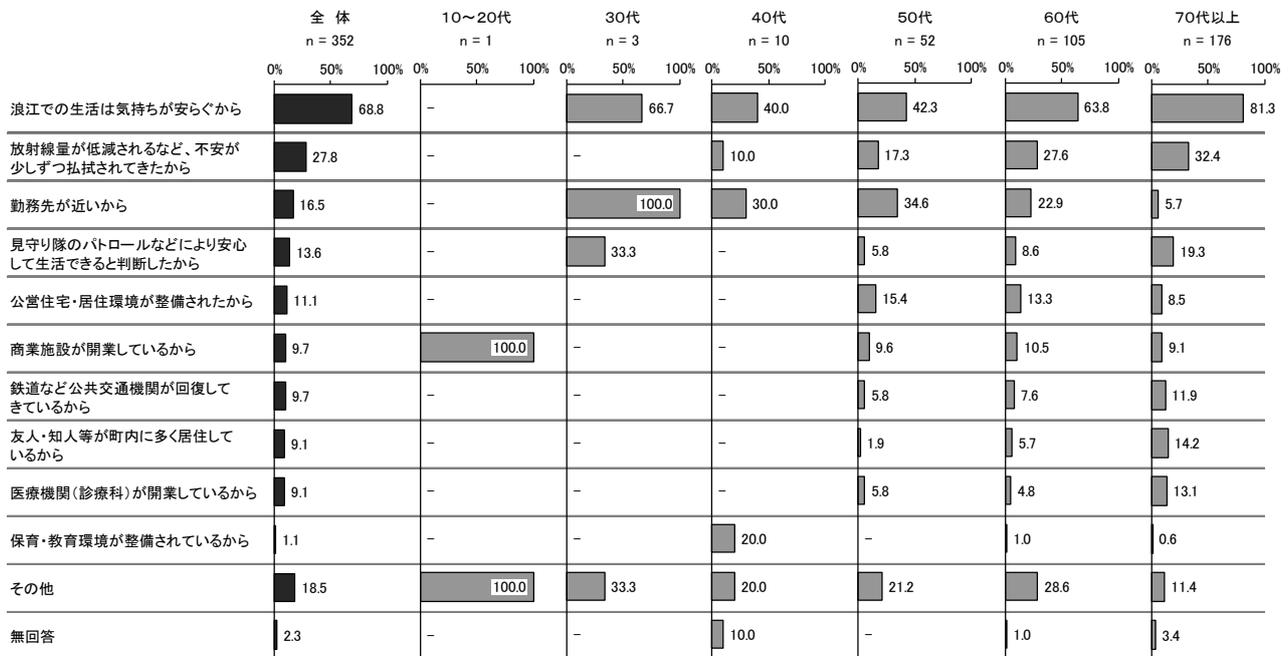


- ※1 平成29年3月31日に避難指示解除済み
- ※2 平成29年3月31日に避難指示解除済み
- ※3 「拠点」とは特定復興再生拠点のこと

3-4-2 浪江町への帰還を決めた理由

【問9で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】
 問10 浪江町内に戻られた判断材料はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-2 浪江町への帰還を決めた理由（年齢別）>

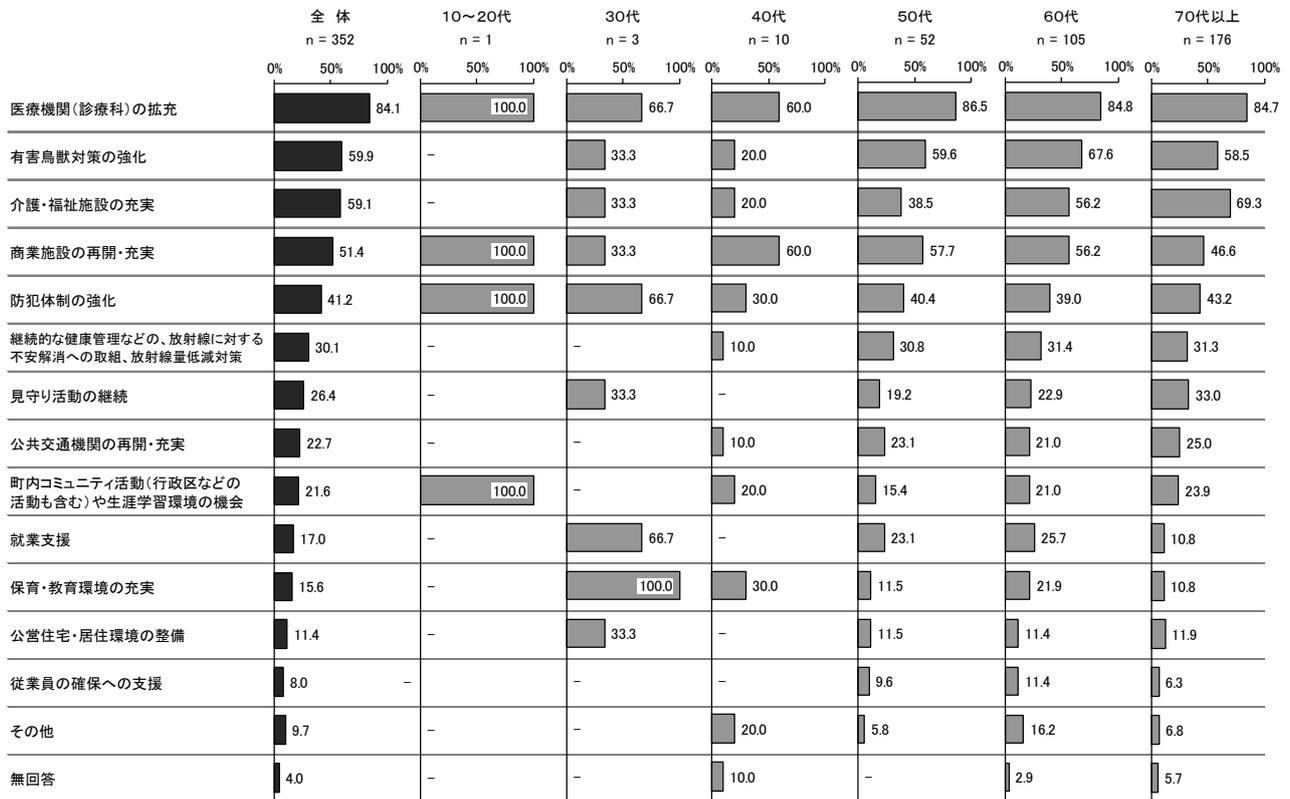


3-4-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問9で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問11 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（年齢別）>



3-4-4 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な内容

【問9で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問11-1 問11で選択した「必要だと感じていること」のうち、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。

そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

<浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な内容（上位項目の主な意見）>

【医療機関（診療科）の拡充】

- 小児科や皮膚科、耳鼻科が浪江町に無く、急な子どもの発熱の時、遠方まで行っているため看病と距離が負担になる。（30代）
- 病院が遠くて困る。（50代）
- 救急医療の充実。（60代）
- 急に体調が悪くなったりした場合、日曜日なども含め、連絡が取れる様にしていきたいです。（70代以上）
- 眼科、整形外科、小児科、産婦人科の診療科が欲しい。（70代以上）

【有害鳥獣対策の強化】

- 有害鳥獣の駆除をして欲しい。（40代）
- 農作物がサルやイノシシの被害に遭っているので強化してほしい。（50代）
- 定期的な有害鳥獣の捕獲、駆除の実施（イノシシは特に）。（60代）
- 今後管理耕作する上で、イノシシ・サル対策必須である。（70代以上）
- カボチャの収穫時期に一瞬にしてサルの軍団に食べ荒らされました。以前の様に何も心配しなくて良い状態になって欲しいです。（70代以上）

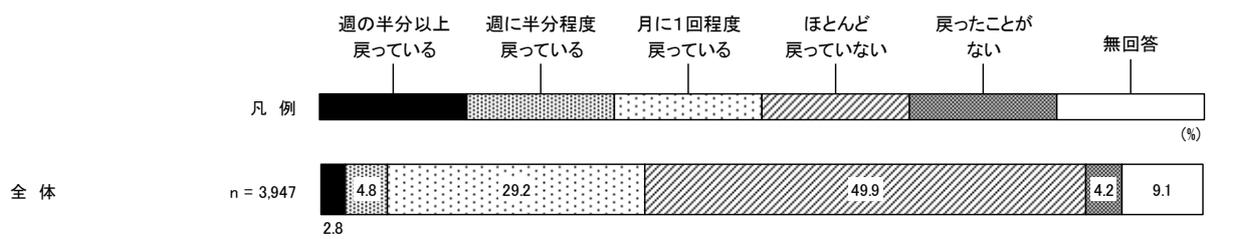
【介護・福祉施設の充実】

- デイサービスの充実。（50代）
- 障がい者の福祉事業所がほしい。（60代）
- 老人ホームがあれば安心して浪江町に住めます。（60代）
- 介護タクシーを設けてほしい。（70代以上）
- 老後の介護福祉サービスに不安。（70代以上）

3-4-5 浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕

【問9で「2. 戻りたいと考えている」「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問12 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。（〇は1つ）

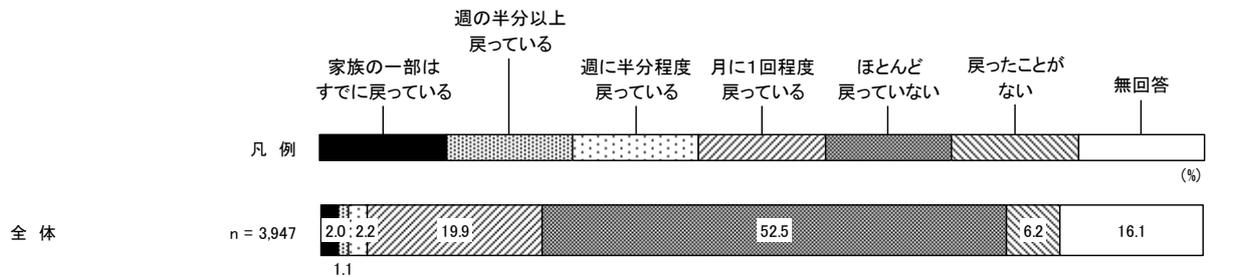
<図表3-4-5 浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕>



3-4-6 浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕

【問9で「2. 戻りたいと考えている」「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問13 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。（〇は1つ）

<図表3-4-6 浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕>

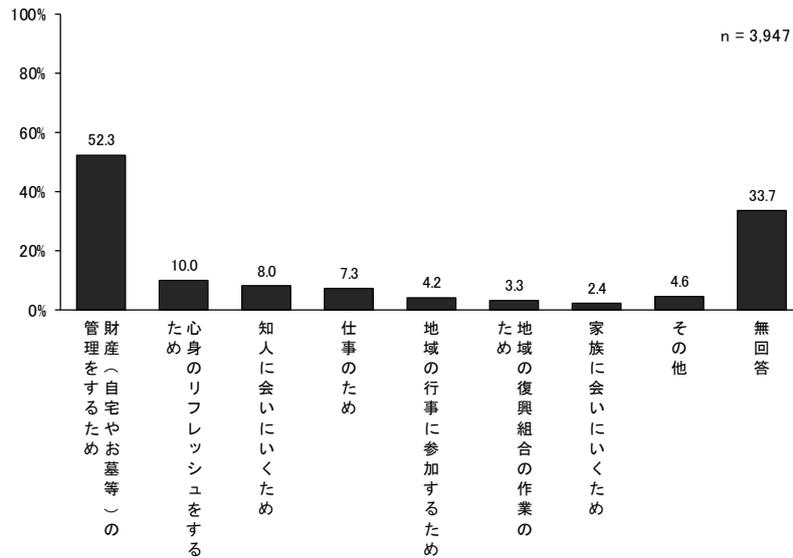


3-4-7 回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由

【問9で「2. 戻りたいと考えている」「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問14 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻られる理由は何ですか。（〇はいくつでも）

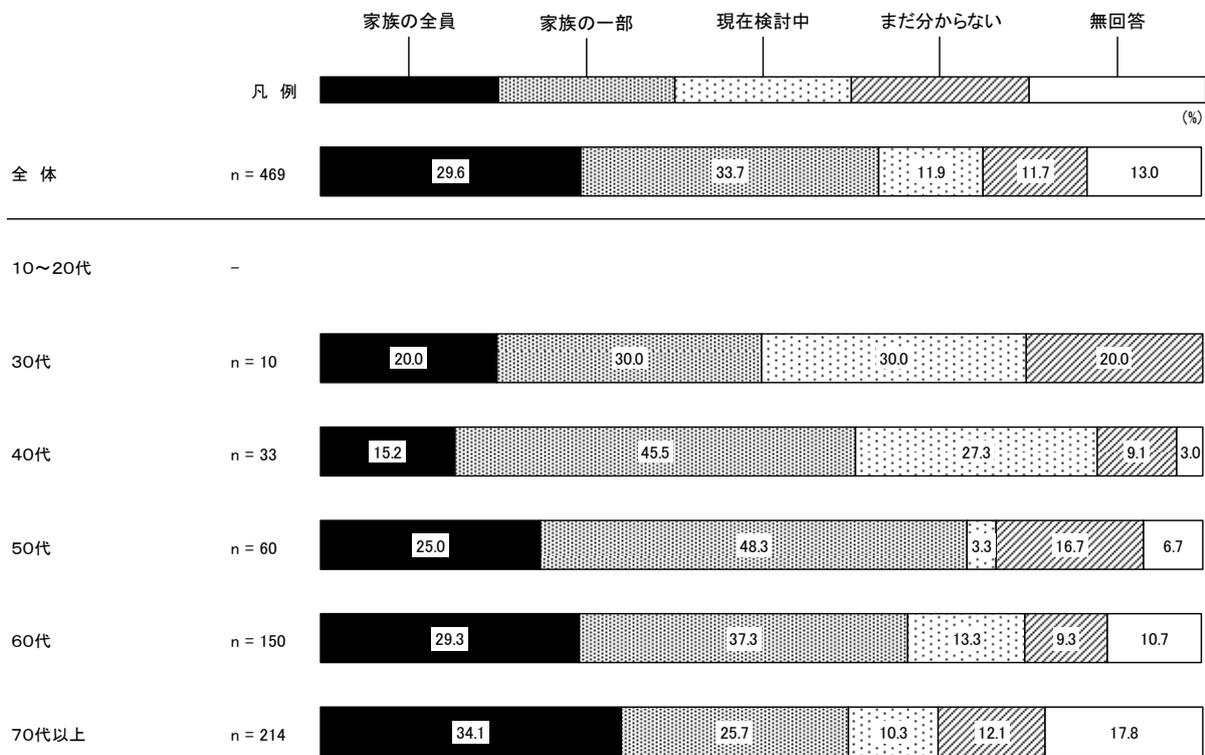
<図表3-4-7 回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由>



3-4-8 浪江町へ帰還する場合の家族

【問9で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】
 問15 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-8 浪江町へ帰還する場合の家族（年齢別）>

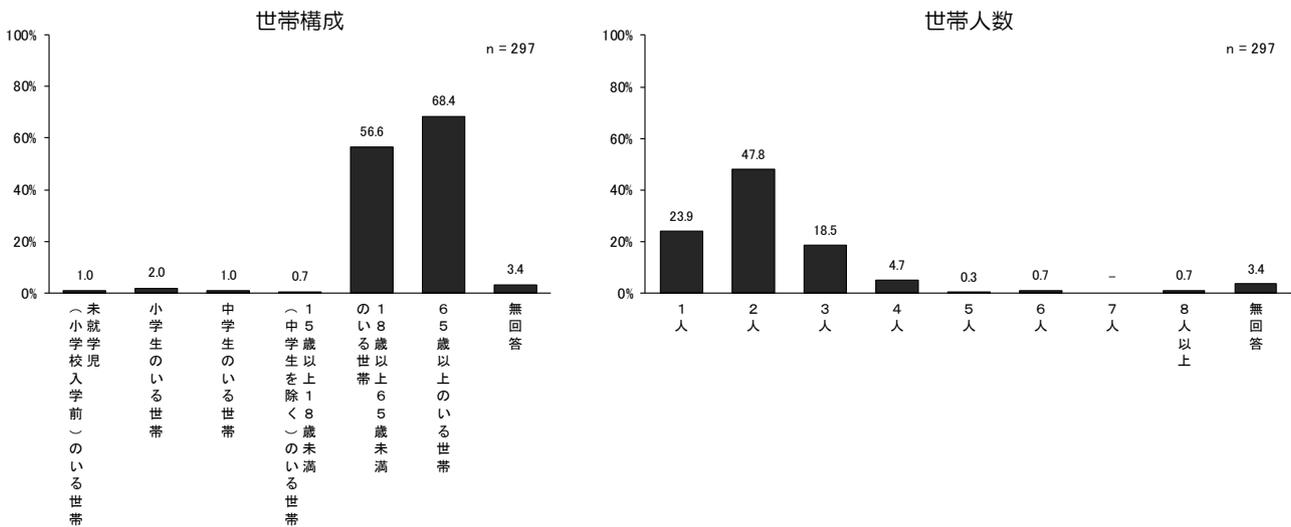


3-4-9 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数

【問 15 で「1. 家族の全員」「2. 家族の一部」と回答した方にうかがいます。】

問 15-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

＜図表3-4-9 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数＞

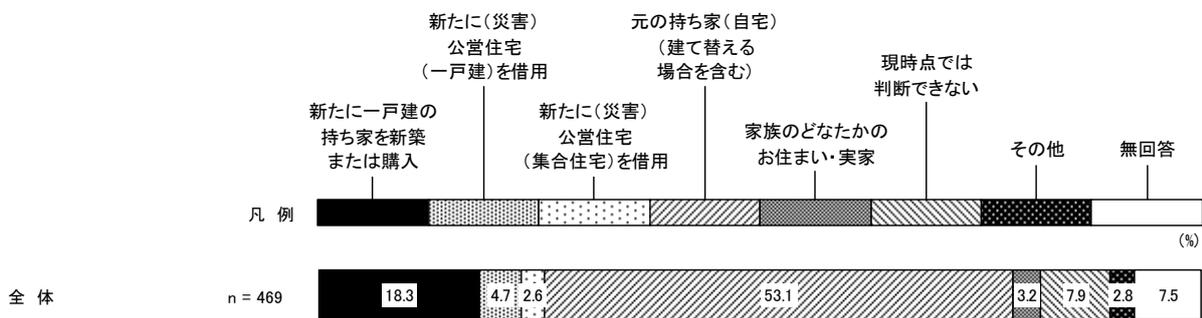


3-4-10 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 16 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

＜図表3-4-10 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態＞



〔その他の内訳〕

新たに民間賃貸住宅（一戸建）を借用	0.9%
新たに民間賃貸住宅（集合住宅）を借用	0.2%
元の民間賃貸住宅（一戸建）	0.4%
元の民間賃貸住宅（集合住宅）	0.2%
元の給与住宅（社宅など）	-
親戚・知人宅	0.2%
その他	0.9%

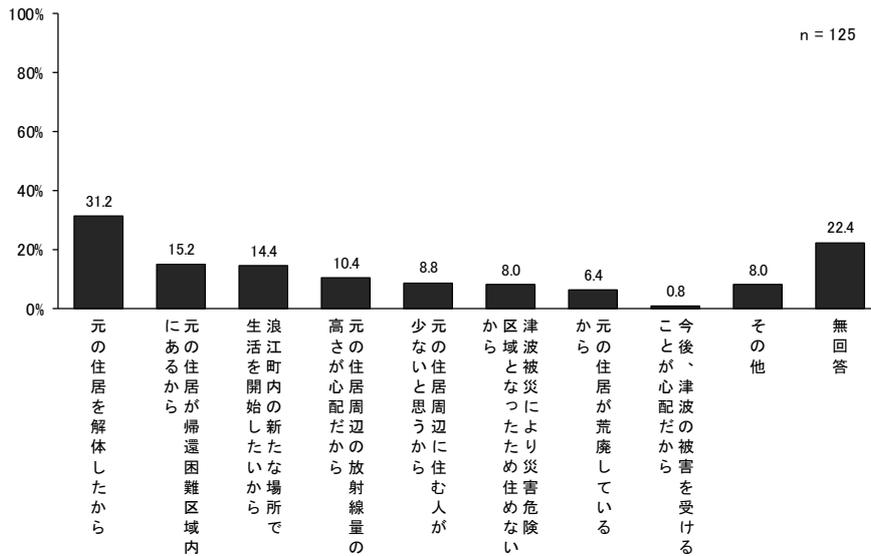
3-4-11 浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由

【*問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問 16-1 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

- *問 16 : 1. 新たに一戸建の持ち家を新築または購入
 2. 新たに民間賃貸住宅（一戸建）を借用
 3. 新たに民間賃貸住宅（集合住宅）を借用
 4. 新たに（災害）公営住宅（一戸建）を借用
 5. 新たに（災害）公営住宅（集合住宅）を借用

<図表3-4-11 浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由>



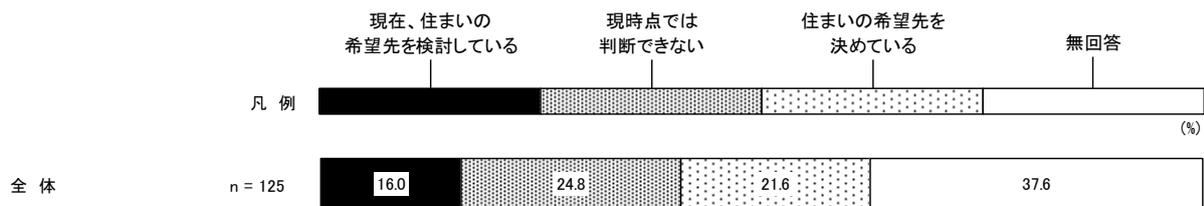
3-4-12 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区

【*問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問 16-2 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。（〇は1つ）

- *問 16 : 1. 新たに一戸建の持ち家を新築または購入
 2. 新たに民間賃貸住宅（一戸建）を借用
 3. 新たに民間賃貸住宅（集合住宅）を借用
 4. 新たに（災害）公営住宅（一戸建）を借用
 5. 新たに（災害）公営住宅（集合住宅）を借用

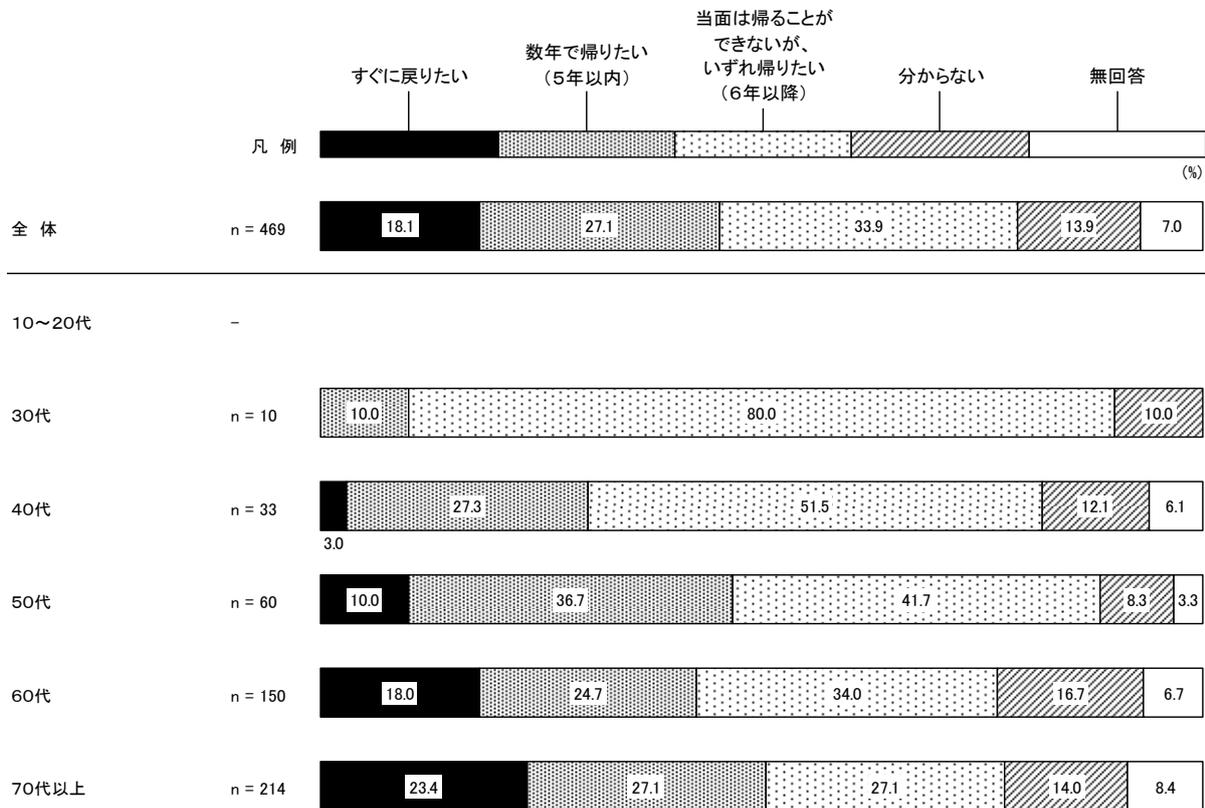
<図表3-4-12 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区>



3-4-13 浪江町への帰還時期

【問9で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。
問17 浪江町へ帰還する時期を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-13 浪江町への帰還時期（年齢別）>

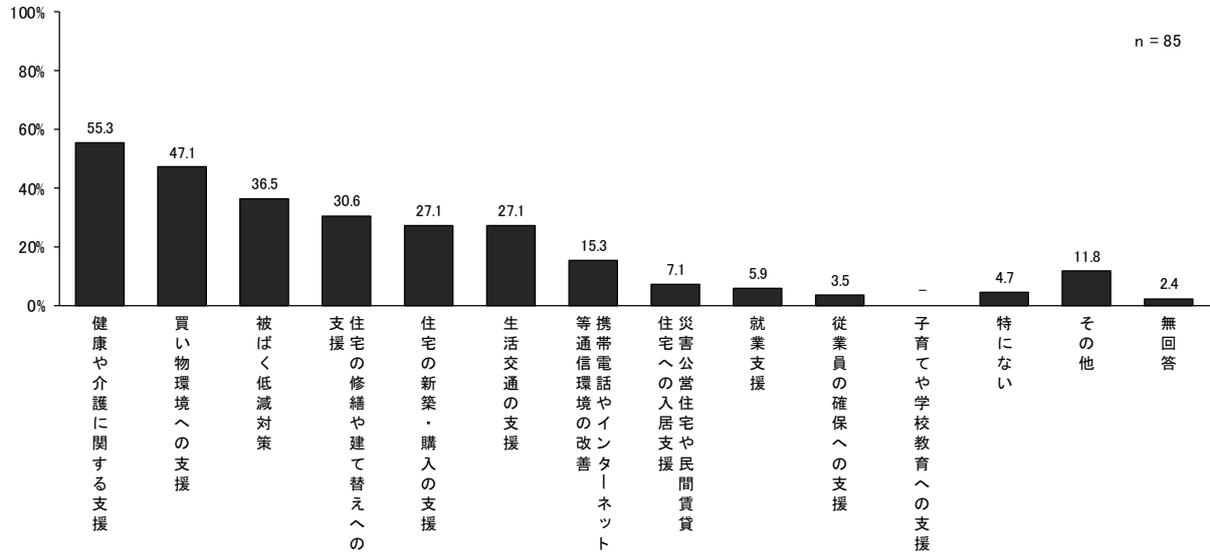


3-4-14 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問 17-1 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。（〇はいくつでも）

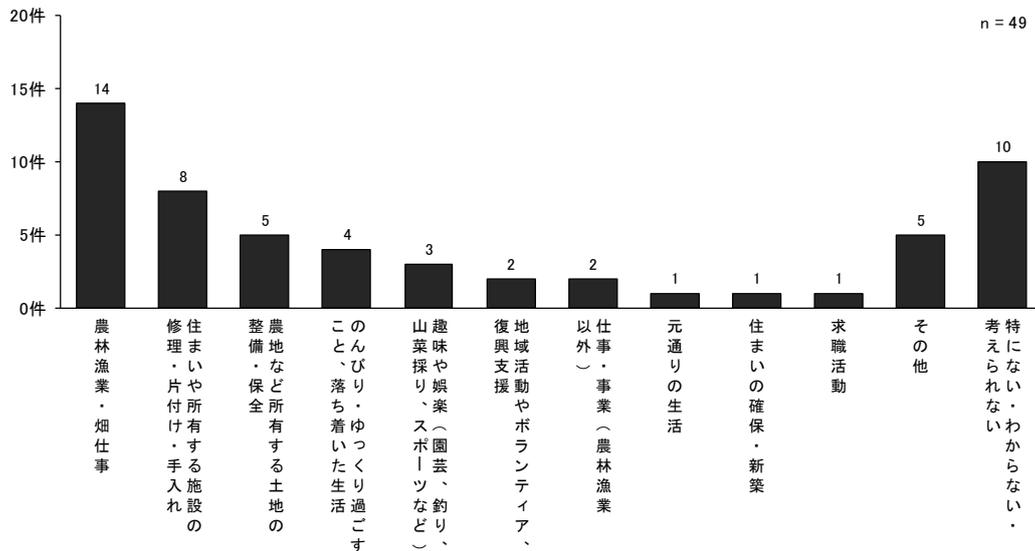
<図表3-4-14 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>



3-4-15 浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】
 問 17-2 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。（自由記載）

<図表3-4-15 浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【農林漁業・畑仕事】

- ・農業の再開。（60代）
- ・農業をしているのでもっと経営面積を増やしたい。（60代）
- ・雑地（林）、畑が有るので活用したい。（70代以上）

【住まいや所有する施設の修理・片付け・手入れ】

- ・自宅の本格的な修繕。（50代）
- ・住宅の周辺の掃除、U字溝の土上げ、家の中の掃除、庭木の手入れ。（70代以上）
- ・氏神の修理、墓の修理、家屋の修理。（70代以上）

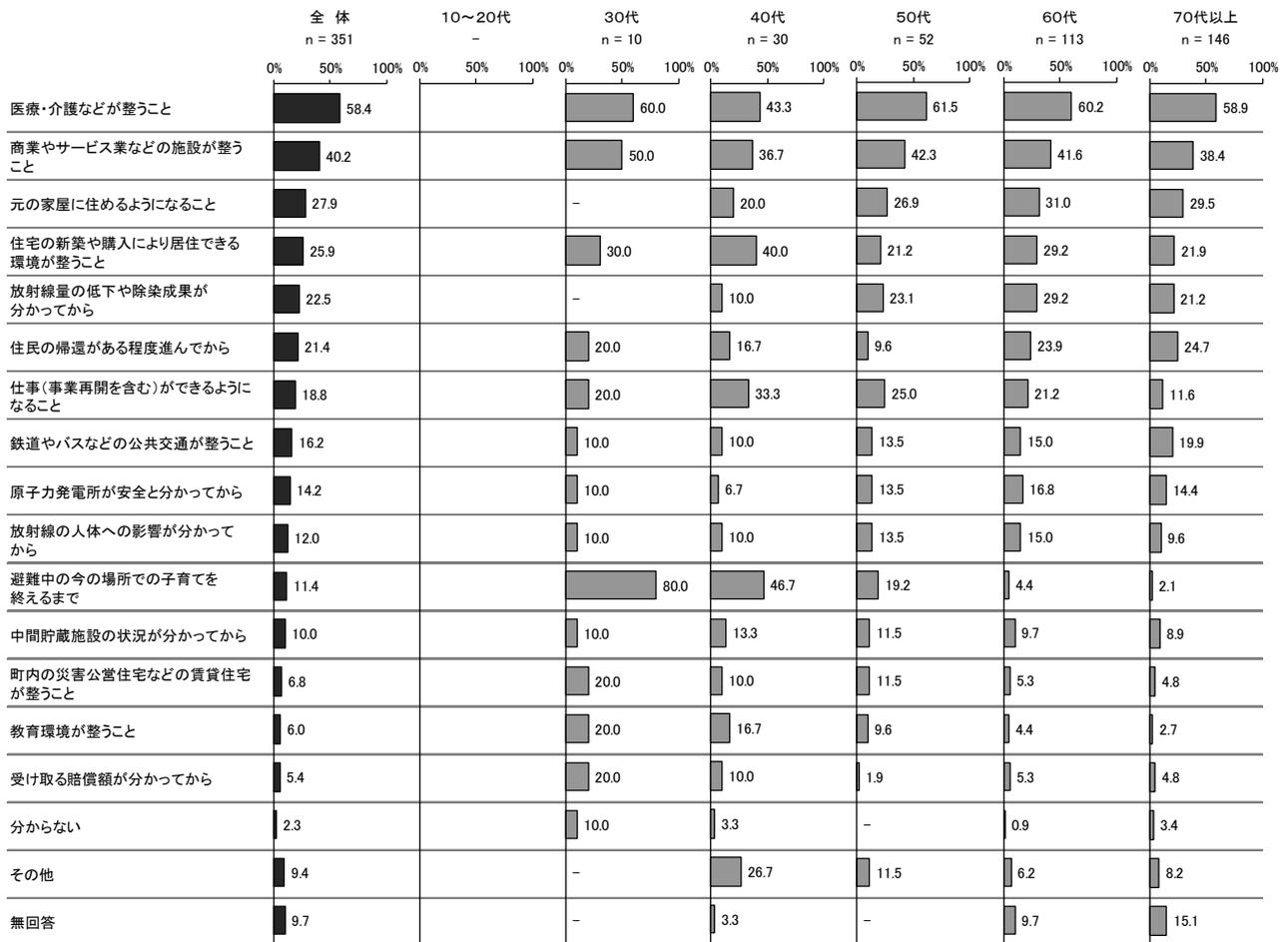
【農地など所有する土地の整備・保全】

- ・自分の土地の管理（家の周りの草刈、田畑の耕起・草刈）。（60代）
- ・荒地を元に戻したい。（70代以上）
- ・屋敷周りの草木の伐採、動物等の侵入対策。（70代以上）

3-4-16 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件

【問 17 で「2. 数年で帰りたい（5年以内）」「3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」
「4. 分からない」と回答した方にうかがいます。
問 17-3 帰還する時期を判断する条件を教えてください。（〇はいくつでも）

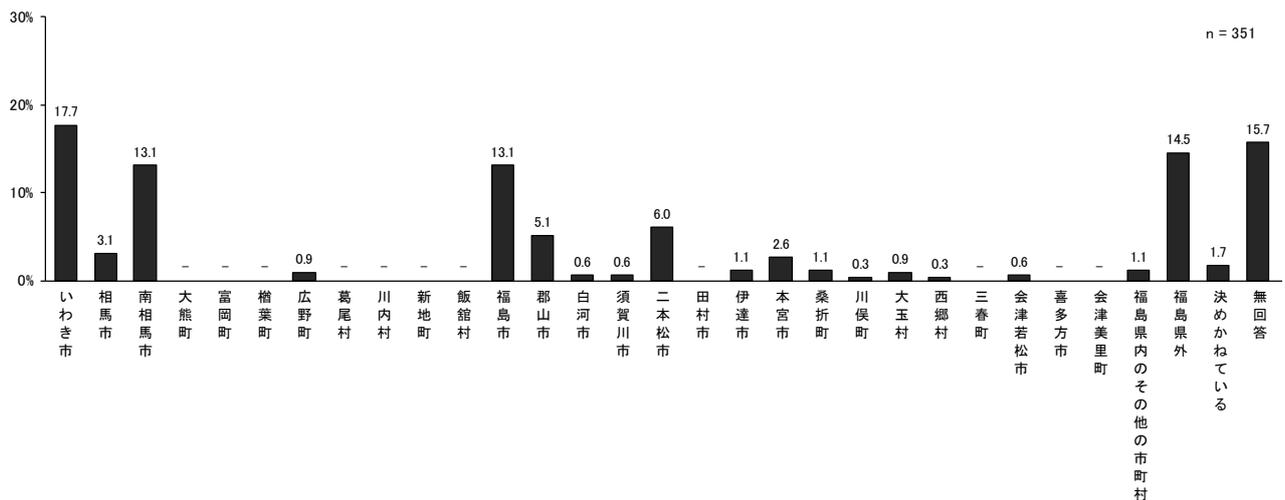
<図表3-4-16 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件（年齢別）>



3-4-17 浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体

【問 17で「2. 数年で帰りたい（5年以内）」「3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」
「4. 分からない」と回答した方にうかがいます。】
問 17-4 帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村はどちらですか。
その市町村を教えてください。（○は1つ）

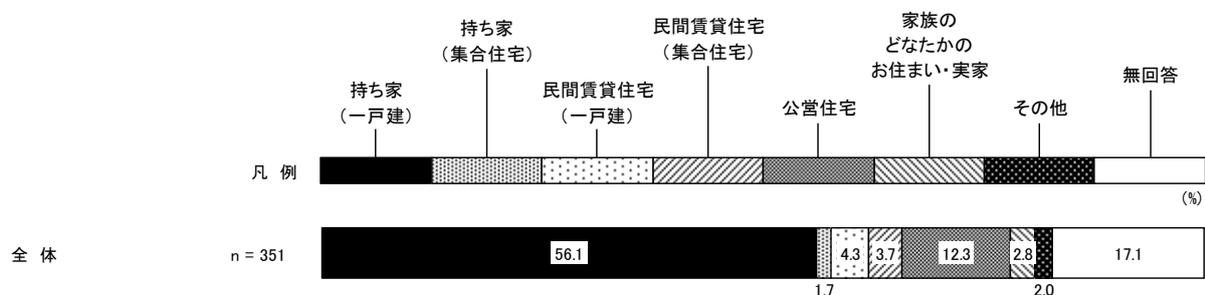
＜図表3-4-17 浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体＞



3-4-18 浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態

【問 17で「2. 数年で帰りたい（5年以内）」「3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」
「4. 分からない」と回答した方にうかがいます。】
問 17-5 帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（○は1つ）

＜図表3-4-18 浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態＞



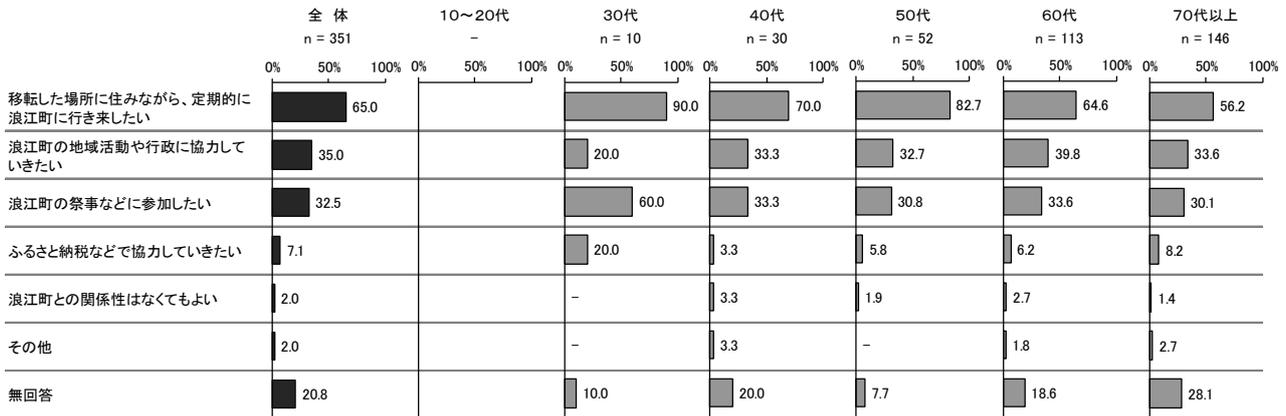
〔その他の内訳〕

給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.6%
親戚・知人宅	0.3%
その他	1.1%

3-4-19 浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係

【問 17で「2. 数年で帰りたい（5年以内）」「3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」
「4. 分からない」と回答した方にうかがいます。】
問 17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
(1) 浪江町との関係（〇はいくつでも）

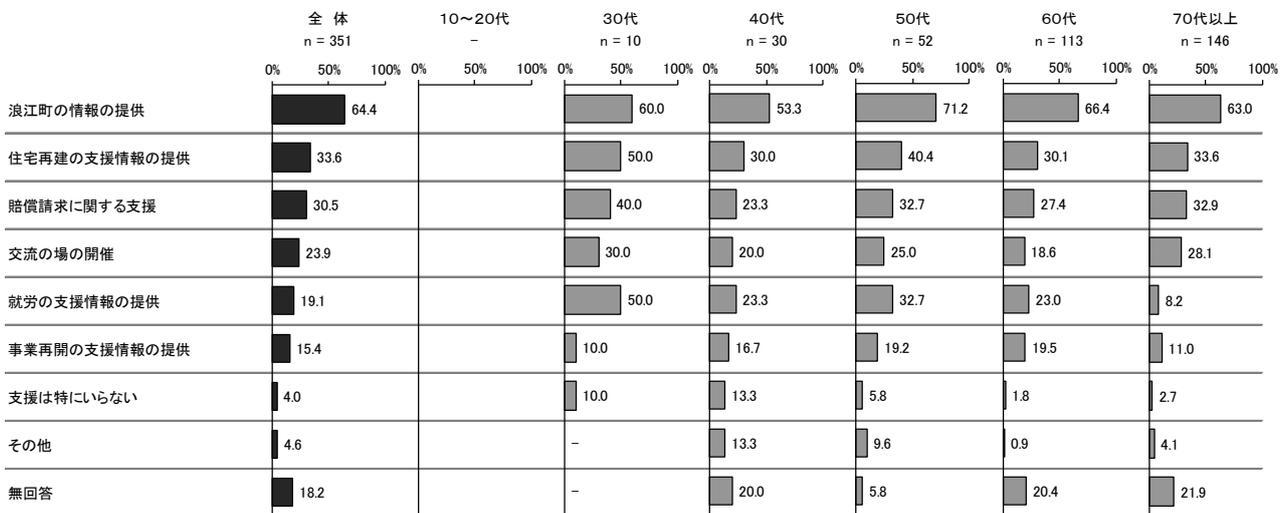
<図表3-4-19 浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係（年齢別）>



3-4-20 浪江町に帰還するまでの間に必要な支援

【問 17で「2. 数年で帰りたい（5年以内）」「3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」
「4. 分からない」と回答した方にうかがいます。】
問 17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
(2) 必要な支援（〇はいくつでも）

<図表3-4-20 浪江町に帰還するまでの間に必要な支援（年齢別）>

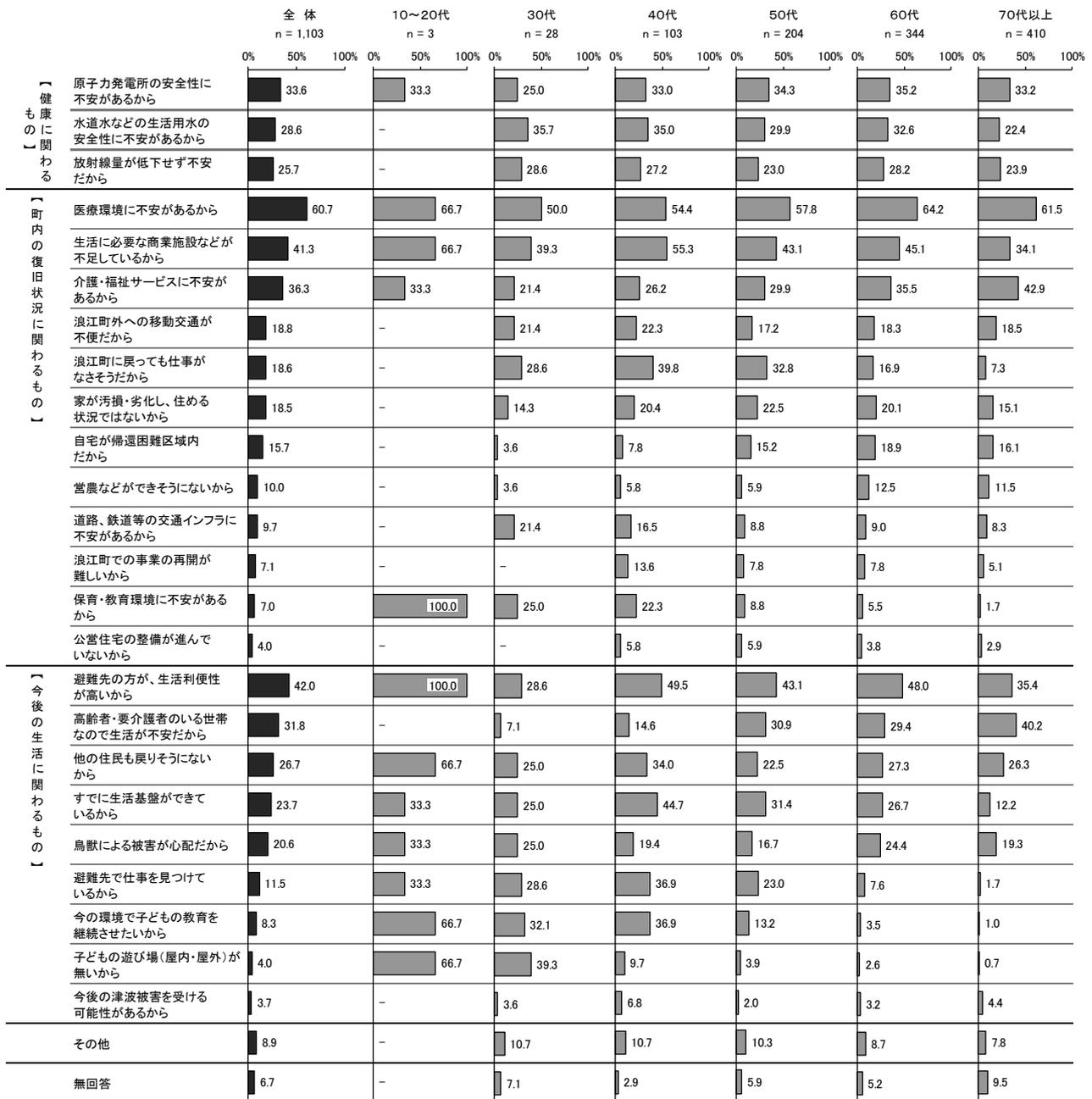


3-4-21 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

問18 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。（〇はいくつでも）

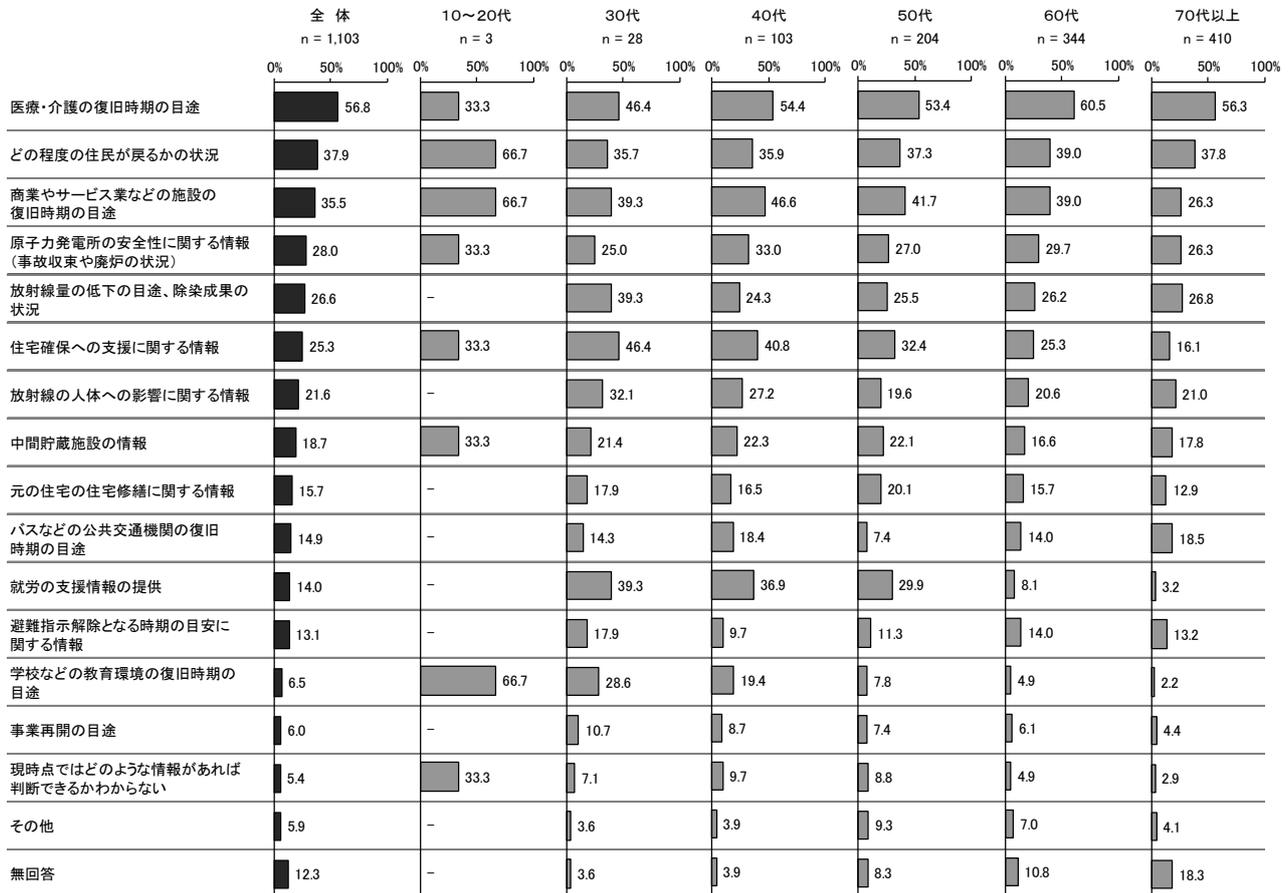
<図表3-4-21 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由（年齢別）>



3-4-22 浪江町への帰還を判断するために必要なこと

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問19 浪江町へ帰還することを判断するために必要なことを教えてください。（〇はいくつでも）

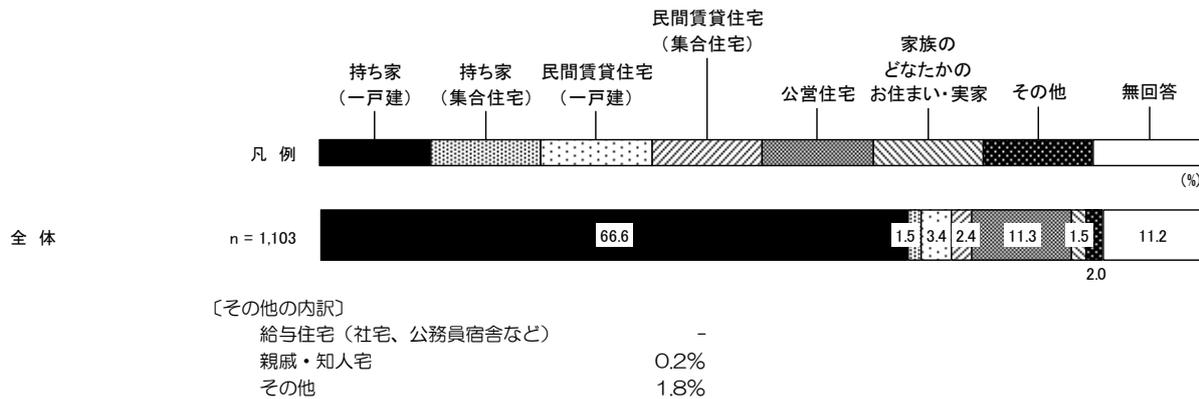
<図表3-4-22 浪江町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>



3-4-23 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問20 今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。
 （〇は1つ）

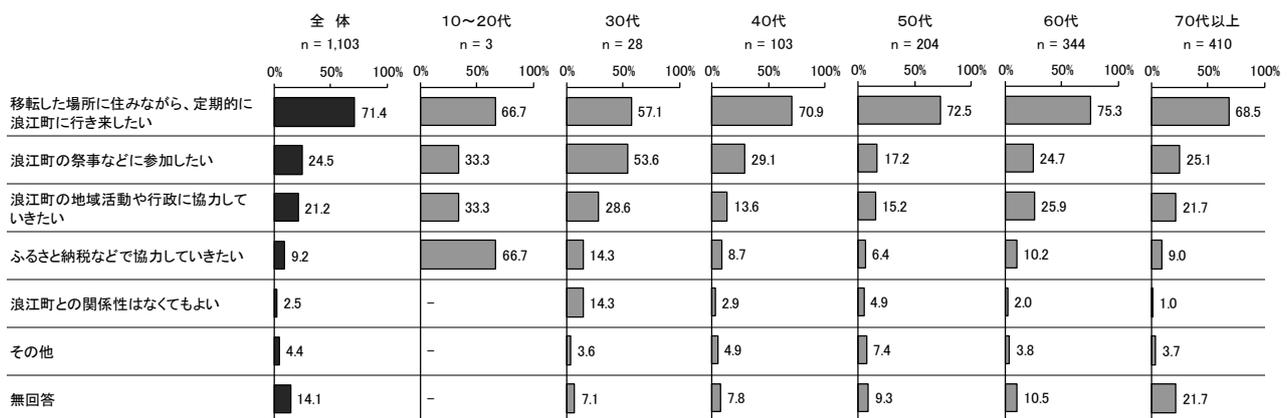
<図表3-4-23 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態>



3-4-24 浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問21 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (1) 浪江町との関係（〇はいくつでも）

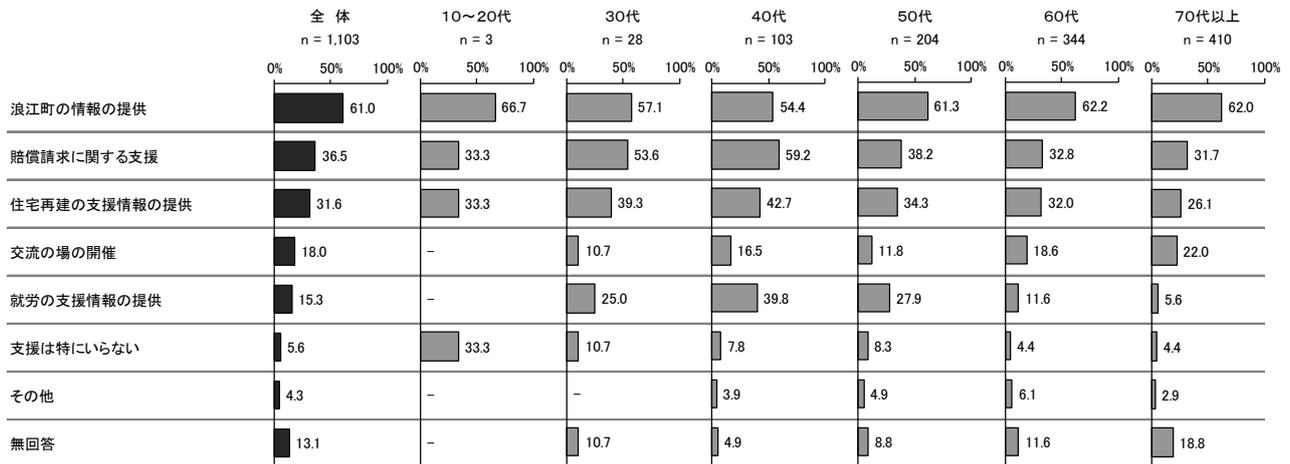
<図表3-4-24 浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係（年齢別）>



3-4-25 浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にかかっています。】
 問21 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (2) 必要な支援（〇はいくつでも）

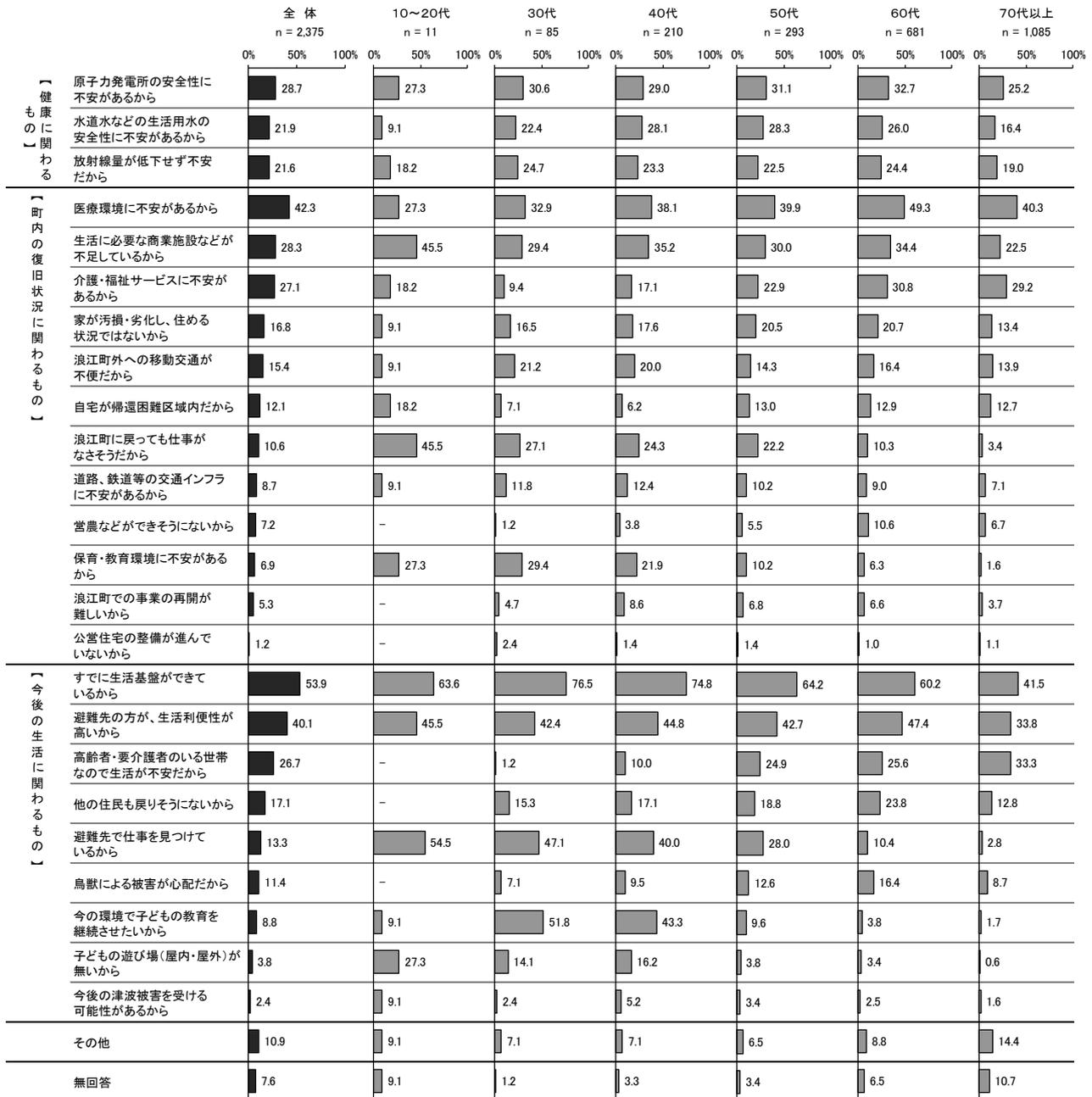
<図表3-4-25 浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援（年齢別）>



3-4-26 浪江町に帰還しない理由

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。
問22 現時点で戻らないと決めている理由を教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-26 浪江町に帰還しない理由（年齢別）>



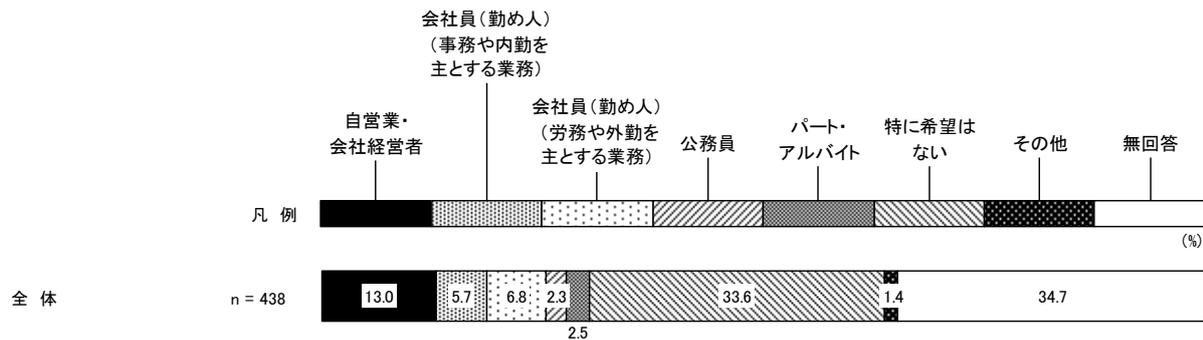
3-4-27 浪江町へ帰還したいと思える職業（就業形態）

【問 22 で「5. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから」「6. 浪江町での事業の再開が難しいから」「7. 営農などができそうにないから」と回答した方にかかいます。】

問 22-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。

(1) 就業形態（○は1つ）

<図表 3-4-27 浪江町へ帰還したいと思える職業（就業形態）>



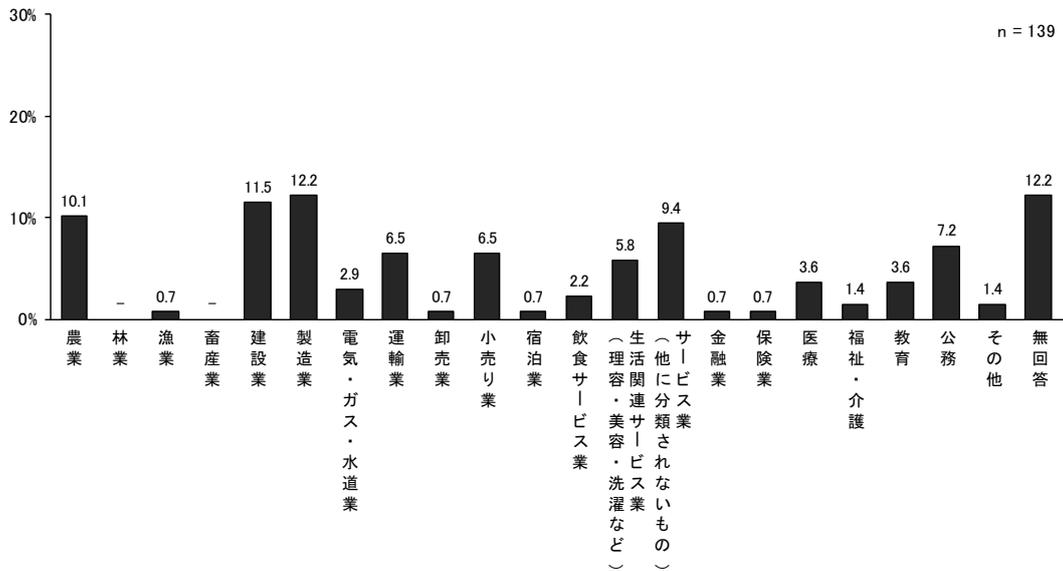
〔その他の内訳〕
 団体職員 -
 その他 1.4%

3-4-28 浪江町へ帰還したいと思える業種

【*問 22-1 (1) で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】
 問 22-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。
 (2) 業種 (〇は1つ)

- *問 22-1 (1) : 1. 自営業・会社経営者
 2. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）
 3. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）
 4. 団体職員
 5. 公務員
 6. パート・アルバイト
 8. その他

<図表3-4-28 浪江町へ帰還したいと思える業種>

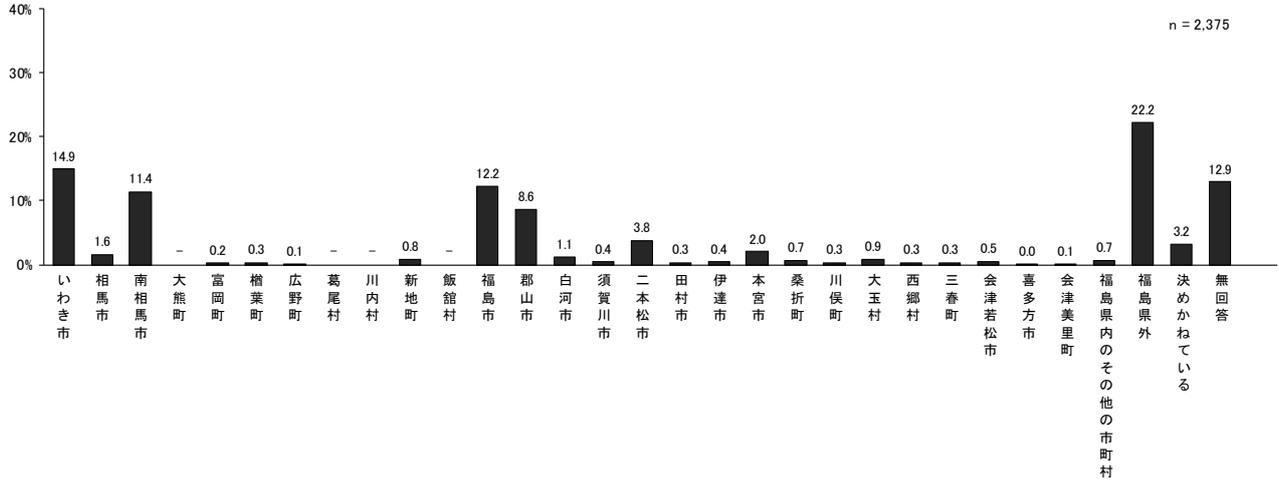


III 調査結果（全項目）

3-4-29 浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問23 今後、居住を希望する市町村はどちらですか。その市町村を教えてください。（〇は1つ）

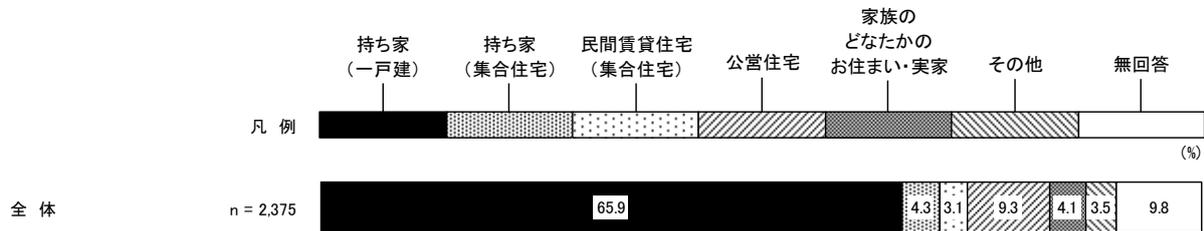
<図表3-4-29 浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体>



3-4-30 浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問24 今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-4-30 浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



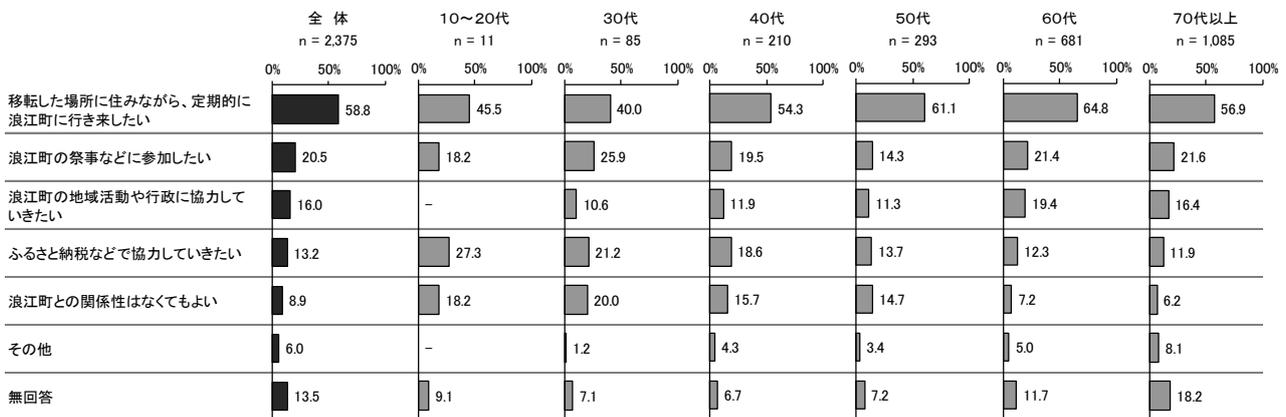
〔その他の内訳〕

民間賃貸住宅（一戸建）	0.7%
給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.2%
親戚・知人宅	0.5%
その他	2.0%

3-4-31 浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問25 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (1) 浪江町との関係（〇はいくつでも）

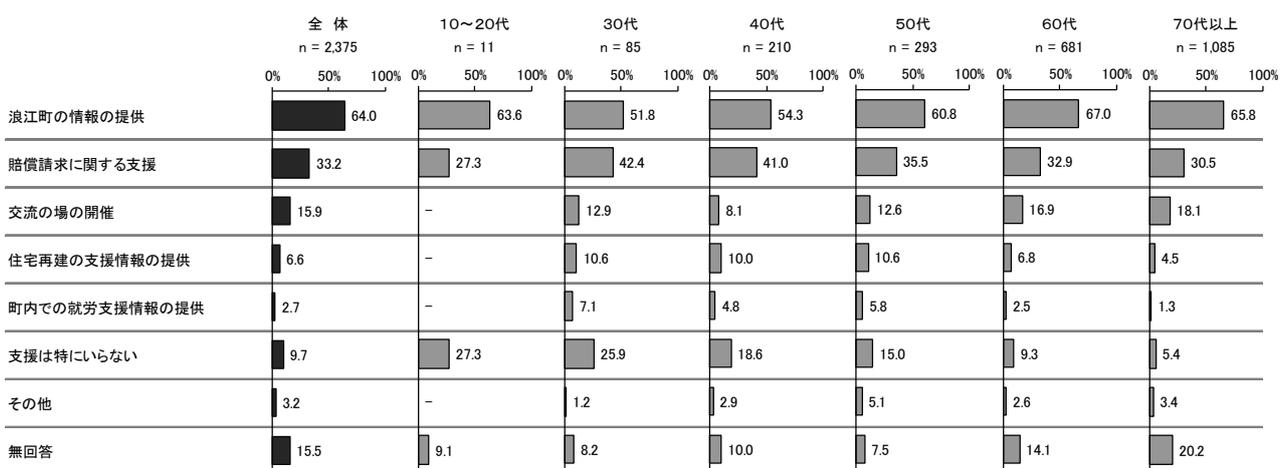
<図表3-4-31 浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係（年齢別）>



3-4-32 浪江町に帰還しない場合に必要な支援

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問25 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (2) 必要な支援（〇はいくつでも）

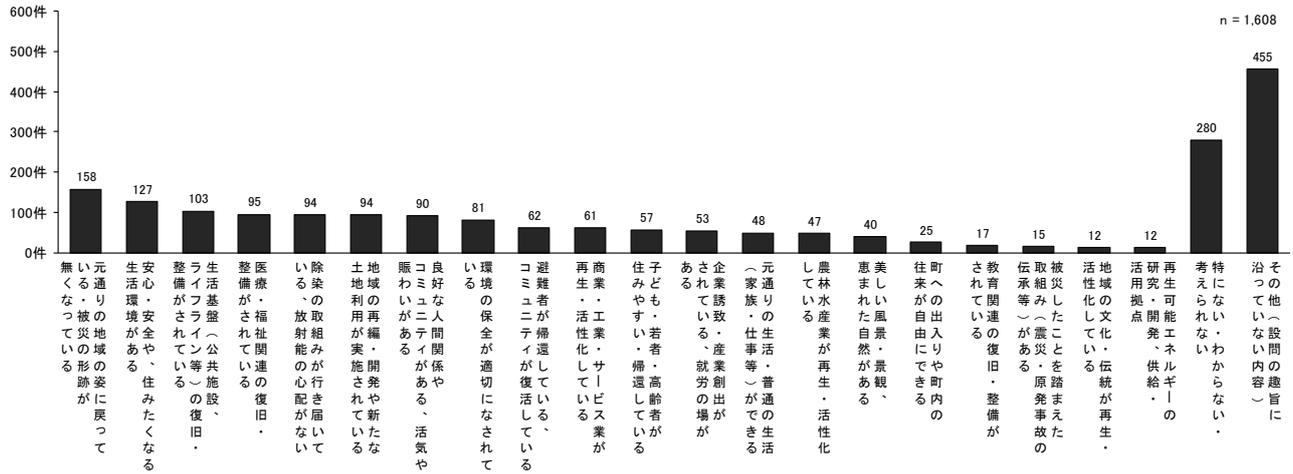
<図表3-4-32 浪江町に帰還しない場合に必要な支援（年齢別）>



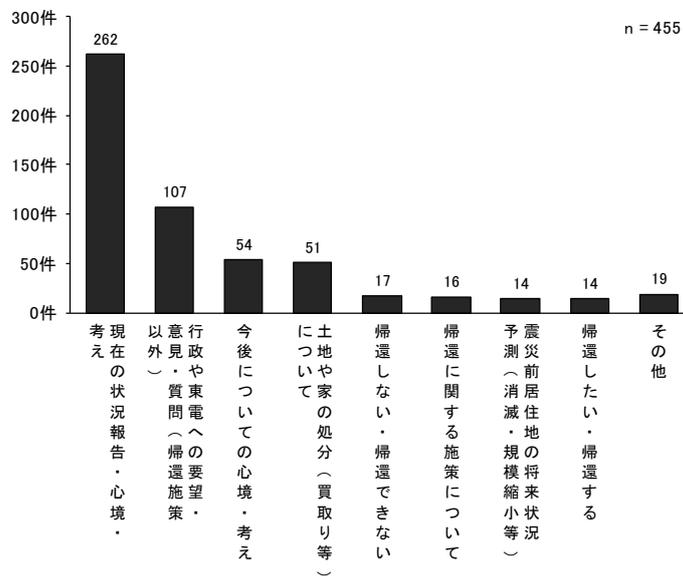
3-4-33 震災発生当時の居住地に望む将来の姿

問 26 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿を教えてください。ご自由にお書きください。

<図表3-4-33-1 震災発生当時の居住地に望む将来の姿（分類結果）>



<図表3-4-33-2 震災発生当時の居住地に望む将来の姿（その他の再分類）>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元通りの地域の姿に戻っている・被災の形跡が無くなっている】

- ・震災前の賑わいある、浪江町に戻ってほしいです。（４０代）
- ・現在は荒れ放題ですので、震災前の緑豊かな地域になって欲しいです。それが叶えば、自身で移動が出来るうちは、避難先と行ったり来たりの生活を送りたいと思っています。（５０代）
- ・元の姿までとはいかないが、なるべく、それに近いものを望みます。改めて浪江町の良さが分かりました。（７０代以上）

【安心・安全や、住みたくなる生活環境がある】

- ・子どもたちが放射能を気にすることなく、外で元気いっぱい遊べる環境の整備。（３０代）
- ・鳥獣による被害がなく、草木の伐採と除染がされた地域で、生活用水が安全に使える・飲める環境。（４０代）
- ・少人数であっても、居住地域、商業地域など、区分し、極力まとまりのある機能的な町並みを望みます。人と人との住まいが離れすぎず、お店や銀行なども近くにあって欲しい。（５０代）

【生活基盤（公共施設、ライフライン等）の復旧・整備がされている】

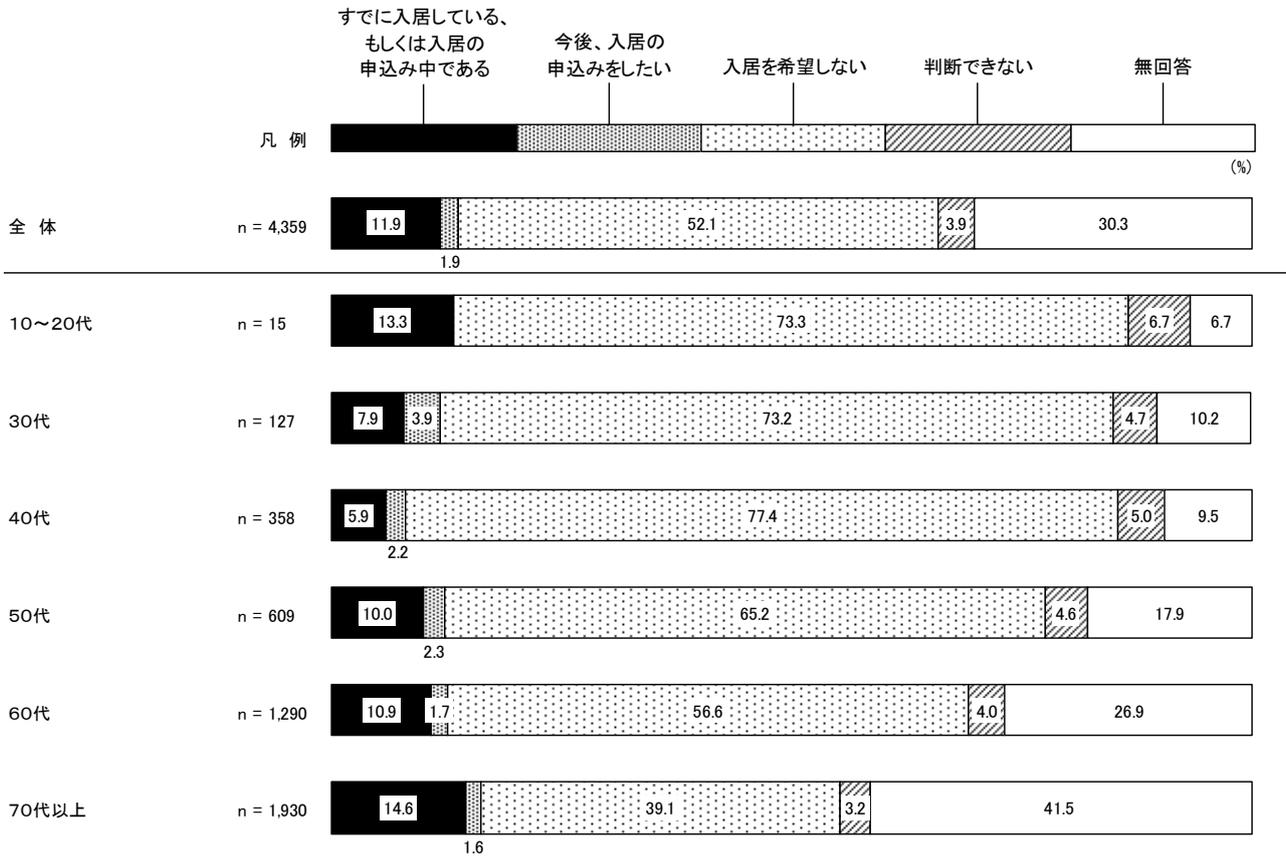
- ・歩道の整備等、子どもやお年寄りに優しいまちづくり。（４０代）
- ・人口が少なくなった分、自然を生かした公園（イメージは福島の花見山）を充実させ、県内外から見に来る人が増え、地元の我々も楽しめる様になると良い。（６０代）
- ・町へ出るにも車の運転が出来ないと何かと不自由な場所であり、高齢者にとっては不便だと思う。まちなかタクシーやバスが安価で利用出来るなどの配慮があれば良いのでは？（７０代以上）

3-5 復興公営住宅

3-5-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向

問 27 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向について教えてください。（○は1つ）

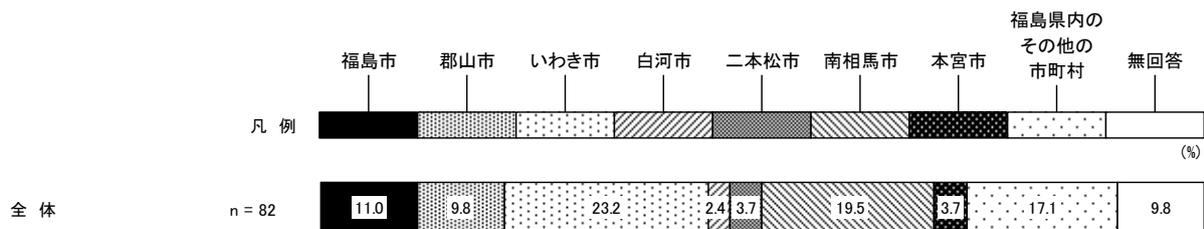
<図表3-5-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向（年齢別）>



3-5-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村

【問 27 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】
 問 27-1 入居を希望する市町村について教えてください。（○は1つ）

<図表3-5-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村>



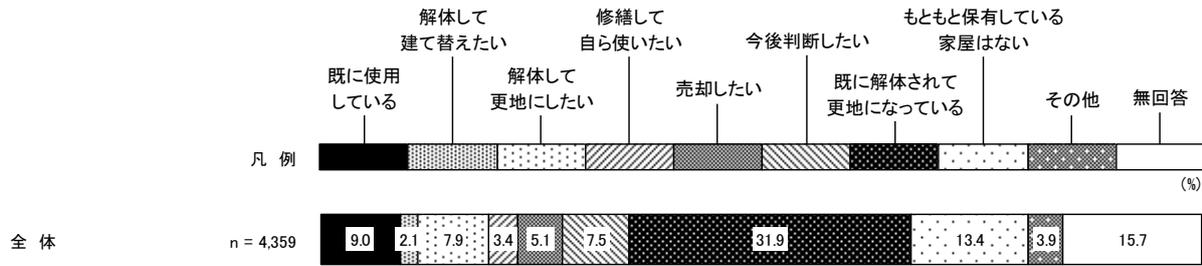
〔福島県内のその他の市町村の内訳〕
 会津若松市 -
 田村市 -
 福島県内のその他の市町村 17.1%

3-6 不動産の取り扱い意向

3-6-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向

問 28 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

<図表3-6-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向>

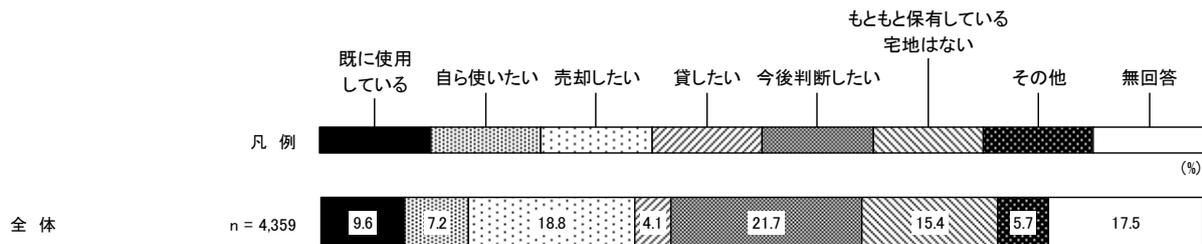


〔その他の内訳〕
貸したい 0.9%
その他 3.0%

3-6-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向

問 29 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

<図表3-6-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向>

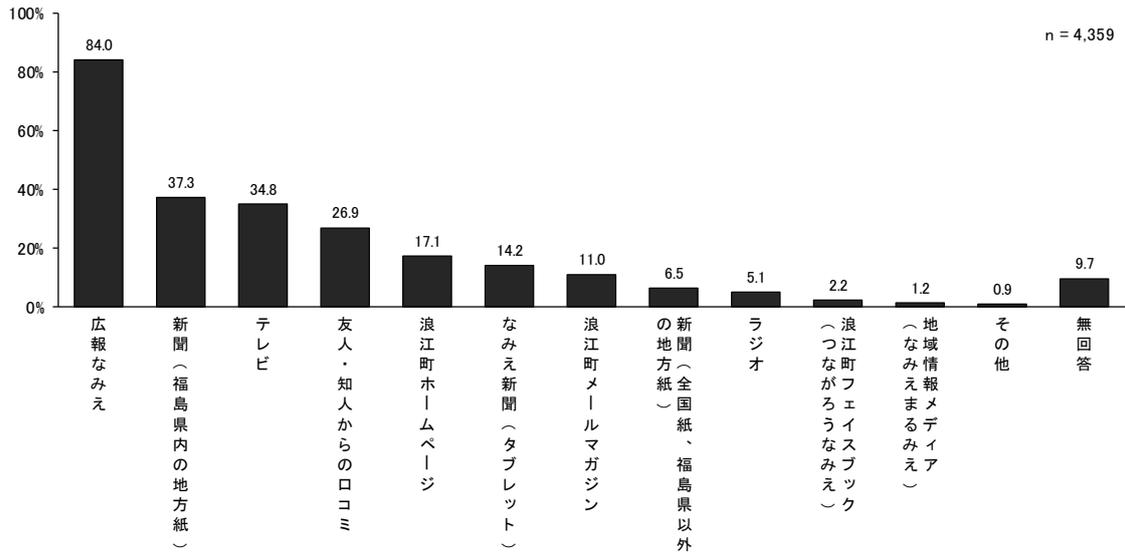


3-7 情報入手

3-7-1 浪江町に関する情報の入手経路

問 30 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。（○はいくつでも）

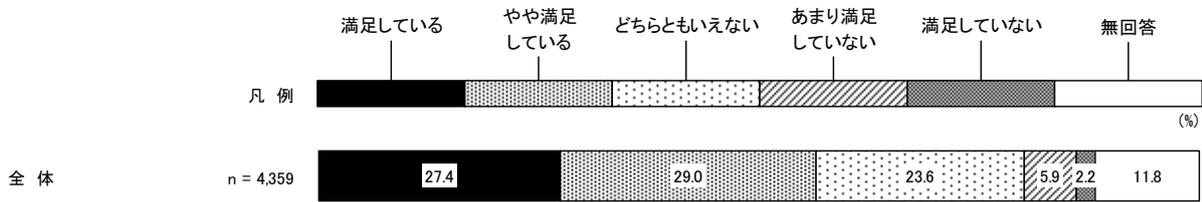
<図表 3-7-1 浪江町に関する情報の入手経路>



3-7-2 浪江町役場からの情報提供に対する満足度

問 31 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。（○は1つ）

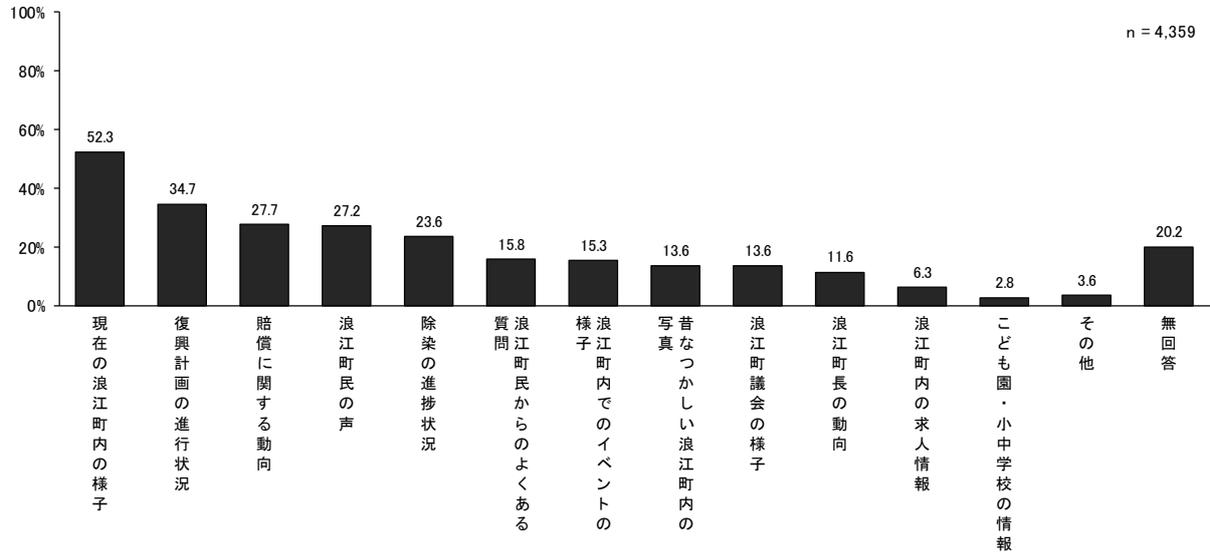
<図表 3-7-2 浪江町役場からの情報提供に対する満足度>



3-7-3 浪江町役場から欲しい情報

問 32 ホームページ、広報なみえ、なみえ新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。
 (〇はいくつでも)

<図表3-7-3 浪江町役場から欲しい情報>

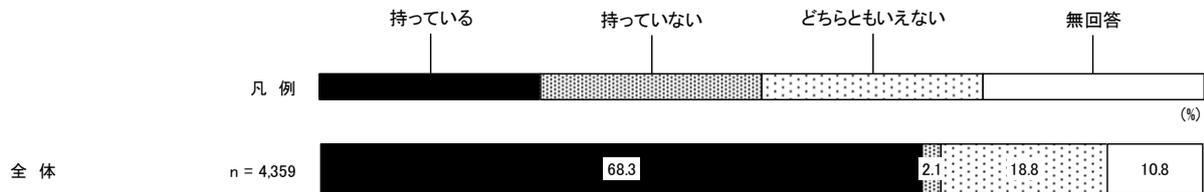


3-8 浪江町に対する思い

3-8-1 浪江町への誇り・愛着を持っているか

問33 浪江町への誇り・愛着を持っていますか。（〇は1つ）

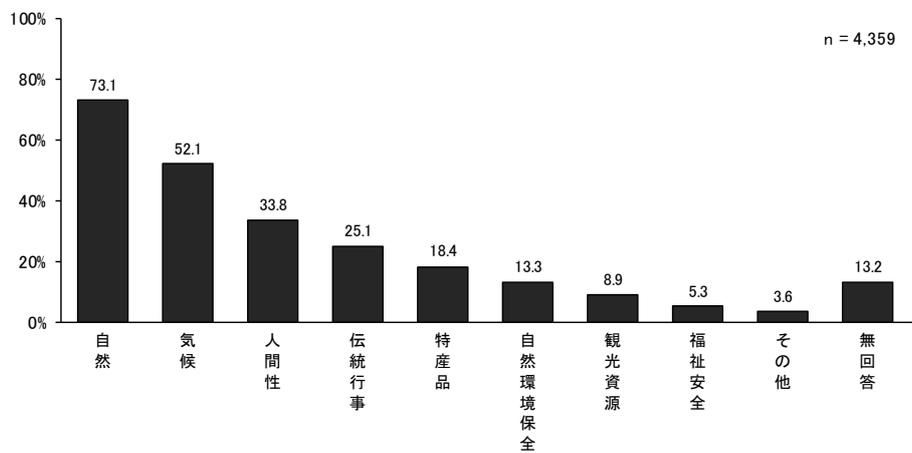
<図表3-8-1 浪江町への誇り・愛着を持っているか>



3-8-2 浪江町の自慢できるところ

問34 浪江町の自慢できるところは何ですか。（〇はいくつでも）

<図表3-8-2 浪江町の自慢できるところ>



3-9 意見・要望

問 35 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどについて、1,254 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

●生活について

- ・避難生活の長期化への不安
- ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安
- ・元の生活、安定した生活の回復
- ・元の生活に戻ることにあきらめ
- ・現在の生活について
- ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて
- ・現在の生活の経済的な不安について
- ・現在の生活の健康に関する不安について
- ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について
- ・現在の生活全般の不安について
- ・将来の生活に関する考えについて
- ・将来の生活の経済的な不安について
- ・将来の生活の健康に関する不安について
- ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について
- ・将来の生活全般の不安について
- ・生活（再建）支援について
- ・その他

●除染について

- ・除染作業の意識について
- ・除染作業にかかる費用の他への活用について
- ・除染作業の効果等について
- ・除染作業の実施箇所等について
- ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について
- ・除染作業スケジュールの明確化について
- ・除染産廃物の処理について
- ・その他

●震災発生前の居住地について

- ・帰還困難区域への立入りについて
- ・帰還困難区域等の設定について
- ・所有する住まい・土地の買取りについて
- ・自宅の現状（被害状況）について
- ・自宅の再建・改築・解体について
- ・元の住居や土地等の管理・処分について
- ・元の住居や土地に対する税について
- ・所有する墓地の維持・管理・移転について
- ・その他

●復旧・復興について

- ・復旧・復興の遅れ、長期化について
- ・復旧・復興のスケジュールについて
- ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について
- ・町村合併について
- ・ライフライン・インフラの整備について
- ・社会福祉施設の整備について
- ・医療施設の復興・充実について
- ・学校の復興・充実について
- ・商業の復興・充実について
- ・住民の参加・自助努力について
- ・早期の原状回復・復興実現について
- ・その他

●賠償について

- ・賠償内容・方法について
- ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について
- ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について
- ・その他

●原発の安全性について

- ・廃炉作業の迅速な実施について
- ・廃炉作業全般について
- ・その他

●帰還について

- ・帰還への不安
- ・帰還可能時期の明確化について
- ・帰還したい
- ・帰還しない
- ・現時点では帰還の判断ができない
- ・帰還に関する施策について
- ・帰還を望まない人への対応について
- ・その他

●原発事故に対する対応について

- ・行政や東電の対応について
- ・対応の長期化、遅れについて
- ・情報の開示・発信について
- ・中長期的スケジュールについて
- ・その他

●避難期間中及び将来の住宅について

- ・復興公営住宅の早期・迅速な建設について
- ・復興公営住宅の建設地・形態等について
- ・復興公営住宅に係る経済的負担について
- ・復興公営住宅への入居について
- ・居住場所の確保について
- ・借上げ住宅について
- ・住宅の購入について
- ・その他

●その他

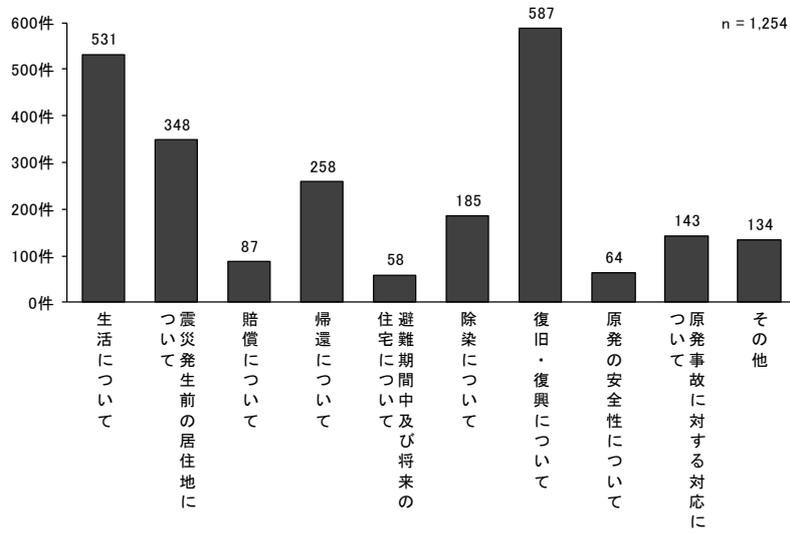
- ・今後のエネルギー政策について
- ・行政に対する謝意、励まし
- ・その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

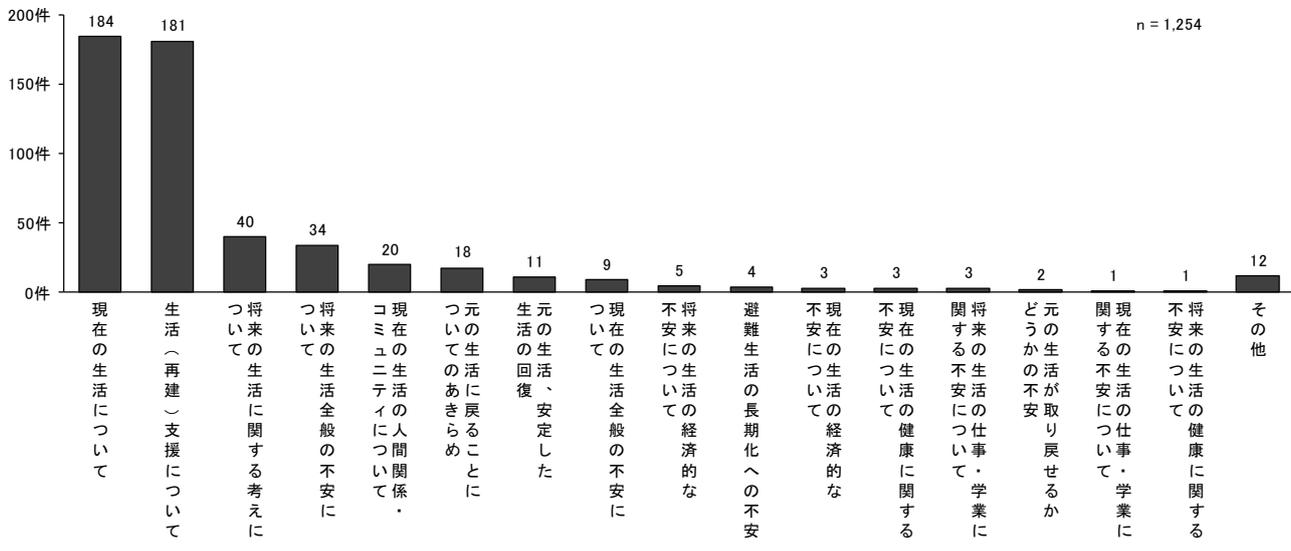
3-9-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-9-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-9-2 生活について

<図表3-9-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【現在の生活について】

- 子どもがまだ小さくて、浪江町どころか、他県へ行くこともなく日々目まぐるしく過ぎていきます。もう少し大きくなったら、定期的に帰り、お墓参りへも行きたいです。（30代）
- 震災以降、考えると悲しみばかりですが、家族が元気に過ごせている事だけでも感謝しています。浪江に帰りたくて心では思っていますが、今の状況を考え、今いる場所で進んで行こうと思っています。年に一回程度しか浪江には行けませんが、その時に元気なエネルギーをもらっています。（40代）
- 現在は浪江町には住んでいませんが、浪江町というだけで気になります。町とのつながりは持ちたいと思っています。（70代以上）

【生活（再建）支援について】

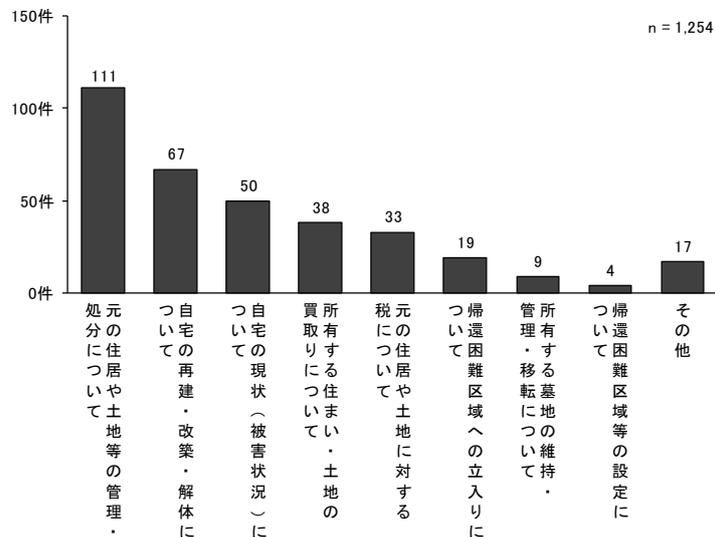
- 現在も医療費免除が続いているが今後も継続していただきたい。（40代）
- 税・社会保険の支援は大変ありがたいと感謝している。ただいつ支援が終了になるのか不安である。（60代）
- 家賃が大変で、子ども達も、自分の生活に必死。何とか、やりくりしてと考えるが、家を買えない者には家賃補助を出してほしい。（70代以上）

【将来の生活に関する考えについて】

- 仕事があり、住宅があり、生活に余裕ができるのであれば戻りたい。（40代）
- 何年後、何十年後になるかわからないが、以前の様に自然が美しい町になった時、放射線を気にしなくてよくなった時、事故後一度も浪江に行っていない子どもを連れて行きたい。（50代）
- 転居先で今後の人生を歩むつもりですが、浪江町民であることに変わりはなく、そういう中で新しい地域で新たなお付き合いをしています。人生、山あり谷ありはどこに住んでも同じです。（60代）

3-9-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-9-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地等の管理・処分について】

- ・家屋解体をしたので、更地になりました。雑草がすぐ伸びてきてしまい、管理が大変です。冬になって枯草に火でもついて火事にならないか、心配です。（50代）
- ・浪江町に所有している宅地の管理や今後の利用方法について、提言してほしい。売却せずに借地の方法で管理したい。（60代）
- ・なかなか住居に帰れないので住居の状態が心配。町で見守りや状態等知らせてくれる機関があれば有難い。（70代以上）

【自宅の再建・改築・解体について】

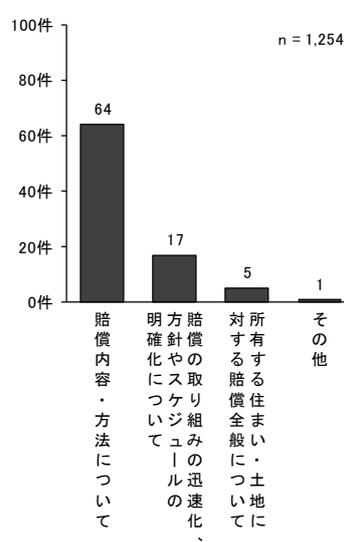
- ・自宅の解体をしたいが手続きが既に終わり、現在解体出来ずにいます（資金がなく）。（40代）
- ・現在、元の自宅の再建を実行しています。住宅の電気、水道、最低限必要な状態に整えようとするときに、非常にお金がかかり、気が滅入ります。（50代）
- ・帰還困難区域の除染家屋の解体はあるのか不安な毎日です。年齢を考えると虚しくなります。獣の住み家になっていて恐ろしくて立入りも出来ません。（70代以上）

【自宅の現状（被害状況）について】

- ・帰還困難区域にある自宅を、今後どうすべきか分からない。腰が悪くなって、草刈り等が出来なくなり、荒れ放題である。将来的に解除された時に、自分だけでは手が付けられない状態になっているのは間違いなく、大変な負の遺産になるかもしれないと危惧している。（50代）
- ・イノシシやサル被害をどうかしてほしいです。草を刈って花を植えても、イノシシにやられてやる気をなくします。花いっぱいの綺麗な土地にしたいのに、ゴミを捨てる人も多いため困ります。（60代）
- ・家は解体し更地になっているが、今、どのような状態になっているか把握できない。遠距離、高齢でなかなか行けない。（70代）

3-9-4 賠償について

<図表3-9-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[賠償内容・方法について]

- ・避難区域が旧区域から再編されてからの区域間の賠償格差を解消してほしい。避難先にせよ、帰還するにせよ、生活再建に大きく差が出ている現状があると感じるから。(50代)
- ・住民票を移動した住民に対しても、浪江町の土地の管理や賠償請求に関する支援は同じにしてほしい。(60代)
- ・国、東京電力はもっと私達住民が納得する様な賠償をしてもらいたいと思います。(70代以上)

[賠償の取組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について]

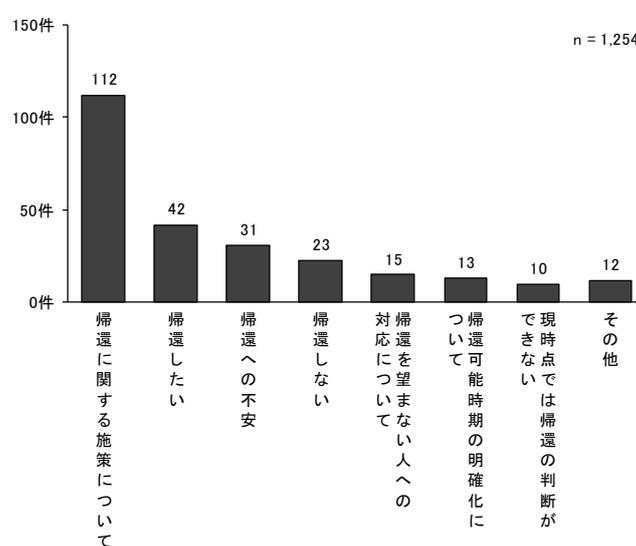
- ・賠償の最終指針を早期に発表し、今後の賠償基準などをはっきりとし、土地等の処分先などの支援をお願いしたい。(50代)
- ・東電の賠償時効など避難者に不利益な状況になりつつある。決して避難後の状況は収束しておらず、今後も避難者が不利益とならないようお願いしたい。(60代)
- ・医療の賠償、もう何年もかかっているけれど、決まらないのですか。(70代以上)

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

- ・土地等の賠償他、そろそろゴール（結果）としたい（決定していない部分も暫定的な指針がみたい）。(50代)
- ・賠償金の家の上限額が残っているのに、父が亡くなったら使えないのはおかしいです。浪江の家を直す為に残っていたのに、相続が孫になった為だめですと言われた。(60代)
- ・避難先でやむを得ず土地を購入し、新築してしまった多くの人達は、浪江町に2軒目の住宅を持つ余力がない。賠償制度を新たに創設し、町内に戻りたい人には再度、土地・建物の賠償をすべきである。(60代)

3-9-5 帰還について

＜図表3-9-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- ・浪江町に戻るとしたら、移住、転職、全てが一からになります。支援があれば戻るきっかけになります。（40代）
- ・商業、医療施設の充実、働く場所の確保。賃貸住宅は相場より高いので、安ければと考える。飲食店ばかり増えても日常の生活には関係無いので、戻ることを考える時の考慮に入らない。（50代）
- ・現在住んでいる方、これから住む方へのきめ細かいサポートをお願いしたいです。（60代）

【帰還したい】

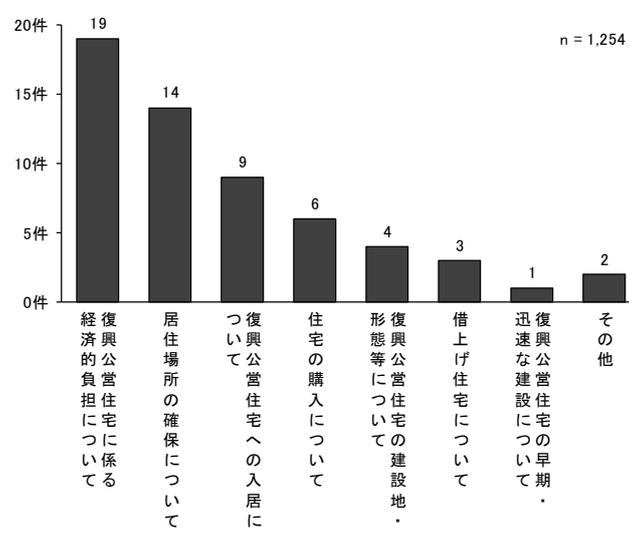
- ・一生懸命子育てをして落ち着いたら旦那と2人で戻りたいです。（30代）
- ・将来、福島浜通りに戻りたいとは考えています。現在の収入が減っても安定した生活ができるなら戻りたい。（40代）
- ・やはり浪江町で生まれた子どもは「ふるさと」です。いつか戻りたいと思っているはず。定年後、住み良い町に！（60代）

【帰還への不安】

- ・今の浪江町で、年を取るのが怖い。安心して、生活が出来る様にしてほしい。子どもたちが、浪江に戻る事をあまり賛成しない。（50代）
- ・避難から10年近くになりますが、国や県には何も期待していません。我が身や地域は自分達で守る考えです。今後町への帰還状況を考えた場合、町の存続が心配です。（60代）
- ・帰町したら町としての対応は大丈夫かな？車の運転が出来なくなったらどうしようか、色々と心配です。（70代以上）

3-9-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-9-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復興公営住宅に係る経済的負担について】

- ・復興公営住宅に住んでいますが、早く公営住宅の買い取り等、生活基盤を充実させたいと思っています。もう移動はしたくないと考えていますが、家賃等の支払いが大変です。（40代）
- ・現在復興住宅へ入居していますがこれから段階的に家賃が上がるのが心配です。（60代）
- ・復興公営住宅は家賃が発生し、年金暮らしの我が身にとって、とても負担になります。その様な者達のために、もっと県や国に対して、家賃の補助等を訴えていってほしい。（70代以上）

【居住場所の確保について】

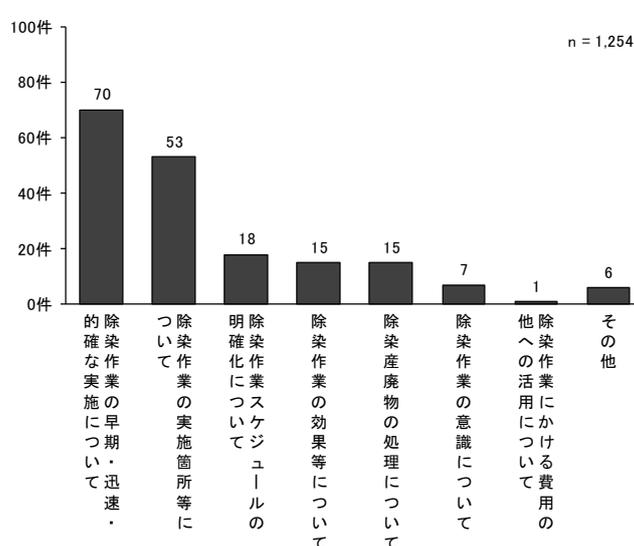
- ・仮設住宅提供が終了し退去を命じられているが、脳疾患があり、続いてコロナ禍になり身動きが取れない。（40代）
- ・住む家がほしい。早く帰りたい。（50代）
- ・心から現在の居住地を決定したつもりはない。どこの住民なのだろうと不安定な気持ちで暮らしている。（60代）

【復興公営住宅への入居について】

- ・浪江町に戻りたいと思うが、住まいもなく、復興住宅に入居したいと思いますが、手続きが面倒すぎます。収入に応じてではなくアパートみたいに一律の金額とか、もっと入居しやすい方法であれば良いと思います。（50代）
- ・復興住宅ができて申し込みをし、当選したが、ペットが飼えず辞退しました。（60代）
- ・復興住宅・町営住宅等が出来ましたが、持ち家のある人は申し込めないとのこと。近くの公営住宅を足がかりにして浪江町での自宅の再建を考えたのですが、手段が断たれてしまいました。先行きが見えないまま遠隔地に家を持った者には冷たい政策としかいいようがありません。（70代以上）

3-9-7 除染について

＜図表3-9-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 何年かかっても、すべての地区の除染を願いたい（山、川含めて）。（50代）
- 復興とは、「完全除染」と考えている。復興拠点を整備しただけでは、完了とはいえない。国に対して、最後まで責任をもって住民を帰してほしい。（60代）
- 帰還困難区域を早く除染してほしいです。住む事が出来なくても、自由に入れる様になる事を望みます。（70代以上）

【除染作業の実施箇所等について】

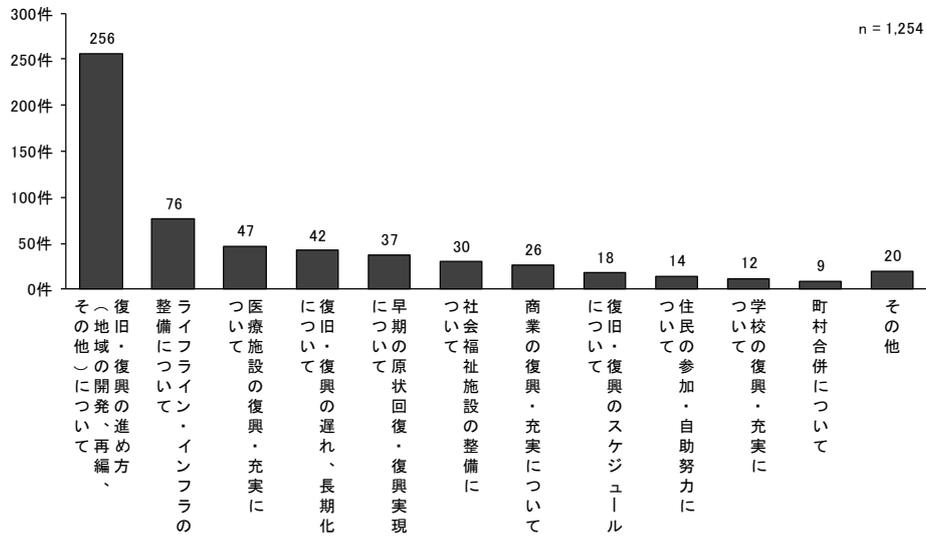
- 荒地の除染支援を継続して下さい。（50代）
- 山林も含めて除染をして、山菜やキノコ、川魚などを食べても安全安心で暮らせるようにしてほしい。（60代）
- 同じ地区でもホットスポットがあり線量の高い所がある。部分的な再除染は出来ないのか。（70代以上）

【除染作業スケジュールの明確化について】

- 線量が低いという理由で帰還困難地区を解除するのは、絶対やめてほしい。国が除染しないのであれば、浪江町が、独自に資金を借りてでも除染してほしい。国には、早期の除染計画を示してほしい。（50代）
- 避難指示は解除になったけれど、家を囲む山林の除染はしていないので線量がなかなか下がらないです。このままで、除染は終わりなのでしょうか？不安です。（60代）
- 復興拠点外の帰還困難区域について震災から10年いまだ除染見通しが立っていない。早く除染計画を示してほしい。除染をしない限り家の取り壊しも何もできない。人の住める環境を取り戻し、次の世代に引き継ぎたい。（70代以上）

3-9-8 復旧・復興について

＜図表3-9-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について〕

- 道の駅なみえの開業などにより、以前よりも人が増えたような気がします。ほとんどが町外の方や仕事の方かと思いますが、そういう面でも交流人口は少しずつですが着実に増えているのかなと。今後は、町民の帰還だけでなく、外からの移住者も増加してくると思いますので、そうした方が町内コミュニティに加わりやすくなるような施策も期待します。（40代）
- 将来の浪江町を見据えて少しでも復興し、色々な状況の中でも浪江町らしく存続しうる事を望みます。（50代）
- 浪江町を今後どうするのか（農林漁業を進めるのか、観光を進めるのか、企業誘致をするのか）。はっきりと示してほしいと思います。（60代）

〔ライフライン・インフラの整備について〕

- 浪江の中心地街は夜の外灯で明るいですが、中心地街から少し離れただけで、夜は真っ暗なので、人が住んでいる付近やメイン道路には外灯があれば気持ち的にもホッとします。（50代）
- JR浪江駅の開発をお願いします。車以外で町に来る人にとっては重要な交通手段で、現在の状況を見れば帰町の気持ちもますます薄れてしまいます。（60代）
- 今後も発生が予想される様々な災害から住民の生命と財産を守るため、避難路の整備、周辺環境・防災に配慮した公園、緑地の整備を要望する。（70代以上）

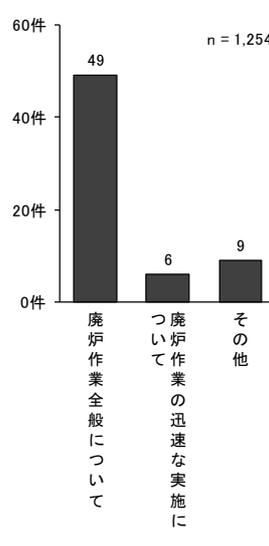
Ⅲ 調査結果（全項目）

〔医療施設の復興・充実について〕

- もっと、小児科、クリニックを再開させて欲しい。特に、浪江町は、歯医者、皮膚科もない。とても不便を感じます。（４０代）
- 浪江町に必要な総合病院を作ってもらいたいです。高齢者や介護が必要な人たちには、一番ほしい物だと思います。（６０代）
- 入院が出来る病院を町営で作れないでしょうか。人口が増えないのは、病気になった時に困るという意見が多いです。（７０代以上）

3-9-9 原発の安全性について

<図表3-9-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

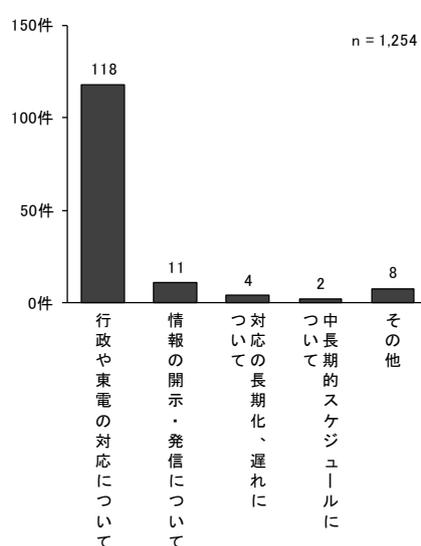
- 廃炉へ向けて安全、着実な工程の遂行。(50代)
- 廃炉作業には、立入禁止エリア、安全エリアを明確に区分し、特に子ども達が近づかない様にすべきと思う。廃水も、海水に流す様な話だが人が住めるような地域では無くなっていると思います。(60代)
- 原発事故の汚染処理水や廃炉で更に問題や事故が発生すると、地域の復興は逆戻りになる。県、国には、毅然とした態度で臨んでほしい。(70代以上)

【廃炉作業の迅速な実施について】

- 震災、原発事故から9年が経ち、未だに、原発廃炉に時間がかかる。出来るだけ早く廃炉にして、元のふるさとへ戻りたい。(50代)
- 原発の早急な廃炉作業。(60代)
- 早く廃炉してもらって、元の故郷に戻してほしい。(60代)

3-9-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-9-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- もうすぐ震災・原発事故から10年になります。国や県には、まだ沢山、困っている人がいる事を忘れないでほしいです。東京電力には、賠償責任を再度、考えて頂きたいです。（40代）
- 国及び県は、浪江町が復興を成し遂げるまで、責任をもって、財源並びに人員について、支援するべきであり、他人事の対応でなく、今後も自分事に対応するよう強く要望する。（50代）
- 原発の風評被害だけは、他の自然災害とは全く異なるものです。一自治体で担えるものではなく、国が主体となって風評の解消に努めるべきです。（70代以上）

【情報の開示・発信について】

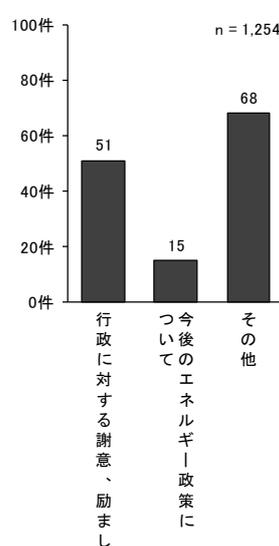
- 全国に向けて、原発事故を風化させないような情報の発信。（50代）
- 全ての計画、除染等についての町としての検証結果を公表してほしい。（60代）
- 県は被災した自治体として、この災害を過小に評価し包み隠す事なく、現実を積極的に発信すべきである。福島発信力について不満を感じています。なぜこのような被害が出たのか？原因や被災地、被災者の現状等々一般災害と違った原発災害の現実を積極的に発信すべきと考えます。（60代以上）

【対応の長期化、遅れについて】

- 原発がある限り復興は無し（浪江町民の心の復興もです）。10年目を迎えるこれからの私達の生活はどうなるのでしょうか。（60代）
- 何に関しても判断が遅い。東電ばかりサポートして、我々は適当にあしらわれている気がしてならない。（70代以上）
- 2011. 3. 11から、どの位の年月が経っているのでしょうか？どうして浪江町に戻れないのでしょうか。どんどん年を取り、身体も心も動けない、やるせない気持ちです。（70代以上）

3-9-11 その他

＜図表3-9-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 浪江町の復興には、期待している。役場のみなさんガンバレ。(30代)
- 広報などで復興の過程を目にする度に携わってくれている方々に感謝の気持ちで一杯です。その様子は、以前浪江町に居住していた私達の心の拠り所でもあると思うし、子ども達の未来への希望にもなると思います。ありがとうございます。(40代)
- 復興に携わる方々に感謝します。これからもよろしくお願いします。(50代)

【今後のエネルギー政策について】

- 原発に頼らないエネルギー政策の実現について真剣に取り組んでもらいたい。(40代)
- もっと再生可能発電を推進してほしい。(60代)
- 今回の原発事故の教訓、更にこれまで国内や諸外国における原発事故の教訓から人類と核は相互依存出来ない事は明らかで、原発はすべて廃炉にすべきだ。更に使用済燃料の再処理はやらない政策に転換すべきだ。(70代以上)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

浪江町 住民意向調査

～「町内のまちづくり」「町外の支援の方向性」へのご意向をお聞かせください～

【この調査について】

●調査対象者：各世帯の代表者

※ 現在の世帯が何カ所かに分かれて避難されている場合は、それぞれの場所にお住まいの代表者の方

●実施主体：復興庁・福島県・浪江町

●提出期限：9月28日（月）まで

※ 記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。
(切手は不要です。)

●ご回答にあたっての注意事項

- ・ご氏名などを記入していただく「記名式」の手法でお願いしています。
- ・次のページに「氏名」、「住所」、「連絡先（電話番号）」の記入をお願いします。

以下の方法でご回答ください。

- ・選択肢のうち、当てはまる番号を選び、その番号に ○ を記入してください。
- ・「その他」に ○ をされた場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- ・内には、具体的な内容（市町村名、人数など）を記入してください。

●この意向調査で得られた情報（個人情報を含む）の取り扱い

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、浪江町、福島県及び復興庁において適切に管理し、各種施策の検討・推進の目的以外には使用いたしません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行いますので、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

※ この意向調査への回答は、あくまでも現在の考えを聞くものであり、町内に戻ることを求めるものではありません。

【お問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-951-342

[設置期間：9月15日（火）～9月28日（月） 平日10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
避難地域復興局 生活拠点課
電話：024-521-8617

浪江町

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7番地2
浪江町役場 企画財政課 企画調整係
電話：0240-34-0240

はじめに、ご記入いただく「あなた」ご自身のことについて教えてください。

本調査は、今後の町内のまちづくりや町外の支援の方向性などに関して、住民のみなさまのご意見やご要望をお伺いすることを目的に実施するものです。

早期に安定的な生活環境を整えるため、ご回答をいただいた内容について、より詳しくお聞きする場合がありますので、ご回答者の氏名と現在のご住所、ご連絡先のご記入にご協力をよろしくお願いいたします。

F1 あなたの氏名を教えてください。

F2 現在と震災前のあなたの住所を教えてください。(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

現在の住所	
震災前の住所	浪江町大字 _____ 字 _____

F3 あなたの連絡先(電話番号)を教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。

(1) 性別 (○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) 年齢 (○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳 | 8. 50~54歳 |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳 |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上 |

【すべての方にうかがいます。】

問 2 現在のあなたの就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。
なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態 (○は1つ)

- | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 7. パート・アルバイト | } ⇒問 2-1 へ |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中であり、
今後再開予定) | 8. 自営業者・会社経営者
(休業中であり、職を探している) | |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) | |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) | |
| 5. 団体職員 | 11. その他(具体的に | |
| 6. 公務員 |) | |

【問 2 (1) で「1」～「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1. 農業 | 13. 生活関連サービス業
(理容・美容・洗濯など) |
| 2. 林業 | 14. サービス業(他に分類されないもの) |
| 3. 漁業 | 15. 金融業 |
| 4. 畜産業 | 16. 保険業 |
| 5. 建設業 | 17. 医療 |
| 6. 製造業 | 18. 福祉・介護 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 19. 教育 |
| 8. 運輸業 | 20. 公務 |
| 9. 卸売業 | 21. その他(具体的に |
| 10. 小売り業 |) |
| 11. 宿泊業 | |
| 12. 飲食サービス業 | |

IV 参考資料

【問 2(1)で「8」～「10」と回答した方にうかがいます。】

問 2-1 今後の就業意向を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい | ⇒問 2-2 へ |
| 2. 今後、浪江町外の職場で働きたい | } ⇒問 3 へ |
| 3. 今後、働く予定はない | |
| 4. 分からない | |

【問 2-1 で「1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問 2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態 (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 6. パート・アルバイト |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 7. 特に希望はない ⇒問 3 へ |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 8. その他(具体的に |
| 4. 団体職員 |) |
| 5. 公務員 | |

【問 2-2 (1) で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業 | 12. 飲食サービス業 |
| 2. 林業 | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 3. 漁業 | 14. サービス業(他に分類されないもの) |
| 4. 畜産業 | 15. 金融業 |
| 5. 建設業 | 16. 保険業 |
| 6. 製造業 | 17. 医療 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 18. 福祉・介護 |
| 8. 運輸業 | 19. 教育 |
| 9. 卸売業 | 20. 公務 |
| 10. 小売り業 | 21. その他(具体的に |
| 11. 宿泊業 |) |

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

1. 1区	14. 高瀬	27. 田尻	40. 西台
2. 2区	15. 幾世橋	28. 末ノ森	41. 藤橋
3. 3区	16. 北幾世橋北	29. 大堀	42. 羽附
4. 4区	17. 北幾世橋南	30. 小野田	43. 津島
5. 5区	18. 北棚塩	31. 谷津田	44. 下津島
6. 6区	19. 南棚塩	32. 酒井	45. 南津島上
7. 7区	20. 請戸北	33. 室原	46. 南津島下
8. 8区	21. 請戸南	34. 立野上	47. 赤字木
9. 佐屋前	22. 中浜	35. 立野中	48. 手七郎
10. 川添北	23. 両竹	36. 立野下	49. 大昼
11. 川添南	24. 小丸	37. 荻宿	50. 分からない
12. 上ノ原	25. 畑川	38. 加倉	
13. 樋渡・牛渡	26. 井手	39. 酒田	

【すべての方にうかがいます。】

問 4 震災発生当時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 持ち家(集合住宅)	8. 親戚・知人宅
3. 民間賃貸住宅(一戸建)	9. その他
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)	(具体的に)
5. 公営住宅	
6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。(○は1つ)

<p>【浜通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 浪江町 5. 大熊町 6. 富岡町 7. 檜葉町 8. 広野町 9. 葛尾村 10. 川内村 11. 新地町 12. 飯舘村 	<p>【中通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 福島市 14. 郡山市 15. 白河市 16. 須賀川市 17. 二本松市 18. 田村市 19. 伊達市 20. 本宮市 21. 桑折町 22. 川俣町 23. 大玉村 24. 西郷村 25. 三春町 	<p>【会津】</p> <ol style="list-style-type: none"> 26. 会津若松市 27. 喜多方市 28. 会津美里町 <p>【福島県内のその他の市町村(1～28 以外)】</p> <p>29. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・町・村)
<p>【福島県外】</p> <p>30. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・区・町・村)		

【すべての方にうかがいます。】

問 7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 浪江町営の災害公営住宅(浪江町内・有償) 2. 福島県営(本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む)の復興公営住宅(浪江町外・有償) 3. その他の公営住宅(「1」、「2」は除く。有償) 4. 民間賃貸住宅(有償) 	<ol style="list-style-type: none"> 5. 持ち家(ご本人またはご家族所有) 6. 家族のどなたかのお住まい・実家 7. 給与住宅(社宅、公務員宿舍など) 8. 親戚・知人宅 9. その他 (具体的に <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 50px; margin-top: 5px;"></div>
--	--

将来に関するご意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。

「1」～「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. すでに浪江町に戻っている | ⇒問 10～11 へ |
| 2. 戻りたいと考えている | ⇒問 12～17 へ |
| 3. まだ判断がつかない | ⇒問 12～14、問 18～21 へ |
| 4. 戻らないと決めている | ⇒問 12～14、問 22～25 へ |

問 10～11 は、問 9 で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問 10 浪江町内に戻られた判断材料はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 浪江での生活は気持ちが安らぐから | 8. 勤務先が近いから |
| 2. 友人・知人等が町内に多く居住しているから | 9. 見守り隊のパトロールなどにより安心して生活できると判断したから |
| 3. 商業施設が開業しているから | 10. 公営住宅・居住環境が整備されたから |
| 4. 保育・教育環境が整備されているから | 11. その他 |
| 5. 医療機関(診療科)が開業しているから | 〔具体的に〕 |
| 6. 鉄道など公共交通機関が回復してきているから | |
| 7. 放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから | |

IV 参考資料

【問9で「1.すでに浪江町に戻っている」と回答した方にかがいます。】

問 11 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。

(○はいくつでも)

1. 医療機関(診療科)の拡充	10. 公共交通機関の再開・充実
2. 介護・福祉施設の充実	11. 町内コミュニティ活動(行政区などの活動も含む)や生涯学習環境の機会
3. 保育・教育環境の充実	12. 公営住宅・居住環境の整備
4. 見守り活動の継続	13. 継続的な健康管理などの、放射線に対する不安解消への取組、放射線量低減対策
5. 就業支援	14. その他
6. 従業員の確保への支援	(具体的に
7. 防犯体制の強化)
8. 有害鳥獣対策の強化	
9. 商業施設の再開・充実	

【問9で「1.すでに浪江町に戻っている」と回答した方にかがいます。】

問 11-1 問 11 で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

問 11 の 選択肢番号	お考え
(例) 5	町内で就職する際のサポートをして欲しい。

➤ 問 26 へ

問12～14は、問9で「2. 戻りたいと考えている」「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問12 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。(○は1つ)

1. 週の半分以上戻っている
2. 週に半分程度戻っている
3. 月に1回程度戻っている
4. ほとんど戻っていない
5. 戻ったことがない

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問13 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。

(○は1つ)

1. 家族の一部はすでに戻っている
2. 週の半分以上戻っている
3. 週に半分程度戻っている
4. 月に1回程度戻っている
5. ほとんど戻っていない
6. 戻ったことがない

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問14 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻られる理由は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 財産(自宅やお墓等)の管理をするため
2. 地域の行事に参加するため
3. 心身のリフレッシュをするため
4. 地域の復興組合の作業のため
5. 家族に会いにいくため
6. 知人に会いにいくため
7. 仕事のため
8. その他(具体的に)

問9で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方は問15へ
 問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方は問18へ
 問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方は問22へ

IV 参考資料

問 15～17 は、問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 15 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

1. 家族の全員	} ⇒問 15-1 へ	3. 現在検討中	} ⇒問 16 へ
2. 家族の一部		4. まだ分からない	

【問 15 で「1. 家族の全員」「2. 家族の一部」と回答した方にうかがいます。】

問 15-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15 歳以上 18 歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18 歳以上 65 歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 16 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

1. 新たに一戸建の持ち家を新築または購入	} ⇒問 16-1 へ	} ⇒問 17 へ
2. 新たに民間賃貸住宅(一戸建)を借用		
3. 新たに民間賃貸住宅(集合住宅)を借用		
4. 新たに(災害)公営住宅(一戸建)を借用		
5. 新たに(災害)公営住宅(集合住宅)を借用		
6. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)	} ⇒問 17 へ	
7. 元の民間賃貸住宅(一戸建)		
8. 元の民間賃貸住宅(集合住宅)		
9. 元の給与住宅(社宅など)		
10. 家族のどなたかのお住まい・実家		
11. 親戚・知人宅		
12. 現時点では判断できない		
13. その他(具体的に)		

【問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問 16-1 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 元の住居が帰還困難区域内にあるから
2. 元の住居周辺の放射線量の高さが心配だから
3. 元の住居周辺に住む人が少ないと思うから
4. 浪江町内の新たな場所で生活を開始したいから
5. 今後、津波の被害を受けることが心配だから
6. 津波被災により災害危険区域となったため住めないから
7. 元の住居が荒廃しているから
8. 元の住居を解体したから
9. その他(具体的に)

【問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問 16-2 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(○は1つ)

1. 現在、住まいの希望先を検討している
2. 現時点では判断できない
3. 住まいの希望先を決めている(具体的な行政区 :)

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 17 浪江町へ帰還する時期を教えてください。(○は1つ)

1. すぐに戻りたい ⇒問 17-1 へ
 2. 数年で帰りたい(5年以内)
 3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい(6年以降)
 4. 分からない
- } ⇒問 17-3 へ

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問 17-1 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。(○はいくつでも)

1. 被ばく低減対策
2. 住宅の修繕や建て替えへの支援
3. 住宅の新築・購入の支援
4. 災害公営住宅や民間賃貸住宅への入居支援
5. 買い物環境への支援
6. 健康や介護に関する支援
7. 子育てや学校教育への支援
8. 生活交通の支援
9. 就業支援
10. 従業員の確保への支援
11. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善
12. 特にない
13. その他(具体的に)

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問 17-2 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。(自由記載)

 問 26 へ

【問 17 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問 17-3 帰還する時期を判断する条件を教えてください。(○はいくつでも)

1. 仕事(事業再開を含む)ができるようになること
2. 元の家屋に住めるようになること
3. 住宅の新築や購入により居住できる環境が整うこと
4. 町内の災害公営住宅などの賃貸住宅が整うこと
5. 鉄道やバスなどの公共交通が整うこと
6. 医療・介護などが整うこと
7. 商業やサービス業などの施設が整うこと
8. 教育環境が整うこと
9. 避難中の今の場所での子育てを終えるまで
10. 住民の帰還がある程度進んでから
11. 放射線量の低下や除染成果が分かってから
12. 放射線の人体への影響が分かってから
13. 中間貯蔵施設の状況が分かってから
14. 原子力発電所が安全と分かってから
15. 受け取る賠償額が分かってから
16. 分からない
17. その他(具体的に)

【問 17 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問 17-4 帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村はどちらですか。その市町村を教えてください。(○は1つ)

【浜通り】	【中通り】	【会津】
1. いわき市	12. 福島市	25. 会津若松市
2. 相馬市	13. 郡山市	26. 喜多方市
3. 南相馬市	14. 白河市	27. 会津美里町
4. 大熊町	15. 須賀川市	
5. 富岡町	16. 二本松市	【福島県内のその他の市町村(1～27 以外)】
6. 檜葉町	17. 田村市	28. 福島県内のその他の市町村
7. 広野町	18. 伊達市	→具体的にご記入ください
8. 葛尾村	19. 本宮市	<input type="text"/> (市・町・村)
9. 川内村	20. 桑折町	
10. 新地町	21. 川俣町	【福島県外】
11. 飯舘村	22. 大玉村	29. 福島県外
	23. 西郷村	→具体的にご記入ください
	24. 三春町	<input type="text"/> (都・道・府・県)
		<input type="text"/> (市・区・町・村)
		【その他】
		30. 決めかねている

【問 17 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問 17-5 帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 持ち家(集合住宅)	8. 親戚・知人宅
3. 民間賃貸住宅(一戸建)	9. その他
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)	【具体的に
5. 公営住宅	】
6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	

IV 参考資料

【問 17 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問 17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (○はいくつでも)

1. 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい
2. 浪江町の祭事などに参加したい
3. 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい
4. ふるさと納税などで協力していきたい
5. 浪江町との関係性はなくてもよい
6. その他(具体的に)

(2) 必要な支援 (○はいくつでも)

1. 浪江町の情報の提供
2. 賠償請求に関する支援
3. 住宅再建の支援情報の提供
4. 就労の支援情報の提供
5. 事業再開の支援情報の提供
6. 交流の場の開催
7. 支援は特にいない
8. その他(具体的に)

 [問 26 へ](#)

問 18～21 は、問 9 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 18 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 浪江町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 浪江町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 保育・教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他 (具体的に

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 19 浪江町へ帰還することを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

1. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報
2. 事業再開の目途
3. 就労の支援情報の提供
4. 元の住宅の住宅修繕に関する情報
5. 住宅確保への支援に関する情報
6. バスなどの公共交通機関の復旧時期の目途
7. 医療・介護の復旧時期の目途
8. 商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途
9. 学校などの教育環境の復旧時期の目途
10. どの程度の住民が戻るかの状況
11. 放射線量の低下の目途、除染成果の状況
12. 放射線の人体への影響に関する情報
13. 中間貯蔵施設の情報
14. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
15. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない
16. その他(具体的に)

IV 参考資料

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 20 今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 〔具体的に〕 |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

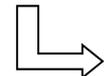
問 21 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい |
| 2. 浪江町の祭事などに参加したい |
| 3. 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい |
| 4. ふるさと納税などで協力していきたい |
| 5. 浪江町との関係性はなくてもよい |
| 6. その他(具体的に) |

(2) 必要な支援 (○はいくつでも)

- | |
|-----------------|
| 1. 浪江町の情報の提供 |
| 2. 賠償請求に関する支援 |
| 3. 住宅再建の支援情報の提供 |
| 4. 就労の支援情報の提供 |
| 5. 交流の場の開催 |
| 6. 支援は特にいない |
| 7. その他(具体的に) |

 [問 26 へ](#)

問 22～25 は、問 9 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 22 現時点で戻らないと決めている理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 浪江町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 浪江町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 保育・教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他

(具体的に)



問 22 で「5」～「7」を回答しなかった方は問 23 へ

【問 22 で「5」～「7」と回答した方にうかがいます。】

問 22-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。

(1) 就業形態 (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 6. パート・アルバイト |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 7. 特に希望はない ⇒問 23 へ |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 8. その他 |
| 4. 団体職員 | (具体的に) |
| 5. 公務員 | |

IV 参考資料

【問 22-1 (1) で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

1. 農業	12. 飲食サービス業
2. 林業	13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など)
3. 漁業	14. サービス業(他に分類されないもの)
4. 畜産業	15. 金融業
5. 建設業	16. 保険業
6. 製造業	17. 医療
7. 電気・ガス・水道業	18. 福祉・介護
8. 運輸業	19. 教育
9. 卸売業	20. 公務
10. 小売り業	21. その他 (具体的に
11. 宿泊業)

【問 9 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 23 今後、居住を希望する市町村はどちらですか。その市町村を教えてください。(○は1つ)

<p>【浜通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> いわき市 相馬市 南相馬市 大熊町 富岡町 檜葉町 広野町 葛尾村 川内村 新地町 飯舘村 	<p>【中通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 田村市 伊達市 本宮市 桑折町 川俣町 大玉村 西郷村 三春町 	<p>【会津】</p> <ol style="list-style-type: none"> 会津若松市 喜多方市 会津美里町 <p>【福島県内のその他の市町村(1～27 以外)】</p> <p>28. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (市・町・村)</p> <p>【福島県外】</p> <p>29. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (都・道・府・県)</p> <p><input type="text"/> (市・区・町・村)</p> <p>【その他】</p> <p>30. 決めかねている</p>
--	--	---

【問 9 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 24 今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 持ち家(一戸建) 持ち家(集合住宅) 民間賃貸住宅(一戸建) 民間賃貸住宅(集合住宅) 公営住宅 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) 	<ol style="list-style-type: none"> 家族のどなたかのお住まい・実家 親戚・知人宅 その他 <p>(具体的に</p> <p>)</p>
--	--

【問9で「4.戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 25 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

1. 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい
2. 浪江町の祭事などに参加したい
3. 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい
4. ふるさと納税などで協力していきたい
5. 浪江町との関係性はなくてもよい
6. その他(具体的に)

(2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

1. 浪江町の情報の提供
2. 賠償請求に関する支援
3. 住宅再建の支援情報の提供
4. 町内での就労支援情報の提供
5. 交流の場の開催
6. 支援は特にいらない
7. その他(具体的に)

問 26 は、すべての方にうかがいます。

【すべての方にうかがいます。】

問 26 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿を教えてください。ご自由にお書きください。

復興公営住宅についてうかがいます。

◆復興公営住宅とは◆

将来の帰還に向け、仮設住宅等から安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するため、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※浪江町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

【すべての方にうかがいます。】

問 27 福島県営の復興公営住宅(浪江町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. すでに入居している、もしくは入居の申込み中である | 3. 入居を希望しない |
| 2. 今後、入居の申込みをしたい
⇒ <u>問 27-1</u> へ | 4. 判断できない (判断できない理由) |

問 27 で「1」「3」「4」と回答した方は問 28 へ

【問 27 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 27-1 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|----------------------------------|
| 1. 福島市 | 6. 二本松市 | 10. 福島県内のその他の市町村
→具体的にご記入ください |
| 2. 会津若松市 | 7. 田村市 | <input type="text"/> (市・町・村) |
| 3. 郡山市 | 8. 南相馬市 | |
| 4. いわき市 | 9. 本宮市 | |
| 5. 白河市 | | |

※この質問への回答により、入居申込み等に影響があるものではありません。

◆ 福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ ◆

福島県 生活拠点課 TEL : 024-521-8617

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 28 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 既に使用している 2. 解体して建て替えたい 3. 解体して更地にしたい 4. 修繕して自ら使いたい 5. 売却したい 6. 貸したい | <ul style="list-style-type: none"> 7. 今後判断したい 8. 既に解体されて更地になっている 9. もともと保有している家屋はない 10. その他
 〔具体的に〕 |
|---|--|

【すべての方にうかがいます。】

問 29 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 既に使用している 2. 自ら使いたい 3. 売却したい 4. 貸したい 5. 今後判断したい | <ul style="list-style-type: none"> 6. もともと保有している宅地はない 7. その他
 〔具体的に〕 |
|---|---|

浪江町からの情報入手についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 30 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 広報なみえ | 7. 新聞(福島県内の地方紙) |
| 2. 浪江町メールマガジン | 8. 新聞(全国紙、福島県以外の地方紙) |
| 3. なみえ新聞(タブレット) | 9. テレビ |
| 4. 浪江町ホームページ | 10. ラジオ |
| 5. 浪江町フェイスブック(つながろうなみえ) | 11. 友人・知人からの口コミ |
| 6. 地域情報メディア(なみえまるみえ) | 12. その他〔具体的に |

【すべての方にうかがいます。】

問 31 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 4. あまり満足していない |
| 2. やや満足している | 5. 満足していない |
| 3. どちらともいえない | |

【すべての方にうかがいます。】

問 32 ホームページ、広報なみえ、なみえ新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 現在の浪江町内の様子 | 8. 浪江町民の声 |
| 2. 復興計画の進行状況 | 9. 除染の進捗状況 |
| 3. 浪江町内の求人情報 | 10. 浪江町長の動向 |
| 4. 浪江町民からのよくある質問 | 11. 浪江町議会の様子 |
| 5. 昔なつかしい浪江町内の写真 | 12. 賠償に関する動向 |
| 6. 浪江町内でのイベントの様子 | 13. その他〔具体的に |
| 7. こども園・小中学校の情報 | |

浪江町に対する思いについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 33 浪江町への誇り・愛着を持っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 持っている | 3. どちらともいえない |
| 2. 持っていない | |

【すべての方にうかがいます。】

問 34 浪江町の自慢できる場所は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|-------------|
| 1. 自然 | 6. 福祉安全 |
| 2. 気候 | 7. 人間性 |
| 3. 観光資源 | 8. 自然環境保全 |
| 4. 特産品 | 9. その他〔具体的に |
| 5. 伝統行事 | 〕 |

国や福島県、浪江町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 35 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
9月28日（月）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**浪江町 住民意向調査
報告書**

令和3年3月

復興庁 福島県 浪江町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

